

消 防 年 報

令和 6 年度版



久 万 高 原 町 消 防 本 部

令和 7 年刊行

はじめに

1 この年報は、久万高原町消防本部の消防行政の現状を一般に紹介するとともに、近年ますます多様化現象にある災害に対処するための資料として、令和6年中の消防現勢及び消防業務の内容・火災・救急統計等を収録編さんしたものであります。

2 この年報は、人事・予算・予防・警防・救急等は会計年度及び暦年とし、一部を令和6年4月1日で集計し、令和5年中の統計を収録しました。

※会計年度 令和6年4月1日～令和7年3月31日

※暦 年 令和6年1月1日～令和6年12月31日

上記、ことわりのない限り同じ。

令和7年9月1日

久万高原町消防本部

目 次

久万高原町消防の現勢

久万高原町の概要	1
面積・人口・世帯数	2
消防・救急機関配置図	2
消防本部・署所の所在地 及び庁舎等の現況	3
消防本部の組織	4
久万高原町長	5
歴代組合長	5
歴代消防長	5
歴代消防署長	5
消防本部重点施策	6
消防力の現況	7
消防職員	8
消防予算	9

火災履歴の検証

火災の実態	11
-------	----

災害を未然に防止するために

火災予防	15
住宅防火対策	16
危険物	17

災害から住民を守るために

消防活動体制及び消防隊の活動状況	19
消防相互応援体制の状況	20
緊急消防援助隊	21
情報通信	22
無線局一覧表	23
Net119	23
消防水利	25
訓練	26
消防団	27
久万高原町消防警察捜索推進協議会	28
救急体制	29
救助体制	36

総務編

令和6年度おもな行事	37
職員の年齢別状況	39
消防職員研修状況	40
消防職員特殊技能有資格者状況	41
消防職員諸手当支給状況	42
予算概況	42

予防編

年間のおもな行事	43
危険物施設数	44
危険物関係事務の処理状況	44
危険物手数料の徴収状況	45
危険物施設に対する査察状況	45
防火対象物数・立入検査状況	46
消防用設備の設置状況	47
防火管理者の選任状況・消防計画 の届出状況	48
各種届出事務の処理状況	49

クラブ広報編

幼年消防クラブ	51
少年消防クラブ	53
女性防火クラブ	57
表彰及び助成事業状況	59
少年消防クラブ助成事業	60
少年消防クラブ コミュニティ助成事業	61

警防編

保有消防車両	63
消防機械器具の保有状況(抜粋)	64
化学消火薬剤保有状況	65
油処理剤保有状況	65
消防水利の状況	66
耐震性防火水槽設置状況	66
年間出動状況及び燃料消費量	67
月別出動状況	69
緊急通報受信状況	70
携帯 119 転送受信状況	70
覚知方法別受信状況	70
携帯電話別受信件数	70
久万高原町における気象記録	71
気象観測年報	72

火災統計編

火災発生状況	73
火災一覧表	74
地区別火災発生状況	75
月別火災発生状況	76
時間帯別火災発生状況	77
地区別火災発生一覧表	78

救急編

年別救急活動状況	79
月別救急活動状況	80
署・地区別救急活動状況	81
覚知方法別状況	81
曜日別発生件数状況	82
時間帯別発生件数状況	82
居住区別搬送人員の対人口比	82
年齢別区分搬送人員状況	83
医療機関別収容人員の状況	84
収容機関別状況	85
事故種別・傷病程度	85
急病疾患別内訳	86
事故種別・理由別不搬送	86
緊急電話受信時における口頭指導内容	87
応急処置及び拡大処置件数	87

現場到着所要時間	88
収容所要時間状況	88
平均出場時間	88
ドクターヘリの運行・ドクターカー運用状況	89
ドクターヘリ運航状況	90

救助編

救助出動及び活動状況	91
救助関係資器材の保有状況	92
ヘリコプター新離着陸場一覧	93

消防団編

消防団の沿革	95
階級別消防団員数	100
消防団員の職業構成	100
年齢別消防団員数	101
在職年数別消防団員数	101
消防団員の退職・新任状況	101
消防団年俸調べ	101
消防団手当調べ	101
久万高原町消防団組織図	101
各方面隊別出動範囲	101
本部消防隊	102
久万方面隊	103
消防ポンプ自動車調査表	104
消防積載自動車調査表	104
小型(可搬)ポンプ配置調査表	104
面河方面隊	104
消防積載自動車調査表	104
小型(可搬)ポンプ配置調査表	105
美川方面隊	105
消防積載自動車調査表	105
小型(可搬)ポンプ配置調査表	106
柳谷方面隊	106
消防積載自動車調査表	106
小型(可搬)ポンプ配置調査表	106
方面隊別消防団保有資器材	107
消防団幹部調べ	108
久万高原町消防団長	108
久万高原町消防操法大会成績表	109
愛媛県消防操法大会成績表	110

久万高原町
消防の現勢

久万高原町の概要

〔位 置〕

四国山脈は石鎚山から西と南西に主脈を分けて走り、久万高原町はこの主脈に挟まれた標高 400～800m の山岳丘陵地域です。北に松山市、伊予郡、東温市、東に西条市、南に高知県、西に喜多郡、西予市と接し、県下でも数少ない海を持たない地域です。

〔気 候〕

夏は冷涼多雨、冬は寒気厳しく平均して 12 月下旬から 3 月初旬まで降雪があり、10 月下旬に初霜、5 月初旬に晩霜を見るという内陸高冷地型の気候です。そのため、夏には「四国の軽井沢」、冬は「四国の北海道」と呼ばれています。

〔産 業〕

基幹産業は農林業であり、厳しい自然条件が育てる杉・檜などの良質な木材や、夏季冷涼な気候を生かしたトマト・ピーマン・清流米などの高原野菜の生産が町の産業を支えています。

〔観 光〕

久万高原町は、平均標高 800m の冷涼な気候に恵まれ、面河溪、石鎚山、御三戸、四国カルスト、皿ヶ嶺など従来より避暑地、行楽地として多く人が訪れます。また、四国霊場 88 ヶ所の札所 44 番大宝寺、45 番岩屋寺があり、遍路姿の巡礼者も多く訪れています。

〔町村合併〕

平成 16 年 8 月 1 日、1 町 3 村（久万町、面河村、美川村、柳谷村）の合併により久万高原町が誕生しました。

〔消防業務〕

平成 16 年 12 月 31 日、町村合併に伴い昭和 48 年から 31 年続いた『上浮穴郡生活環境事務組合』の歴史に幕を閉じ、平成 17 年 1 月 1 日から久万高原町を管轄とする『久万高原町消防本部・署』として業務を継承しています。

また、平成 17 年 4 月 1 日から消防団事務も新たに加わりました。平成 28 年 6 月 23 日には、久万高原町下野尻に消防本部・署新庁舎が完成し、運用を開始しました。



面積・人口・世帯数

令和2年の国勢調査での総人口は7,404人で、その後、人口の都市集中により、過疎化と高齢化の一途をたどり、令和7年3月31日現在、令和2年の91.8%にあたる6,799人（高齢化率51.0%）まで減少しています。

区分 構成 地区別		面積 km ²	人 口			世 帯 数		
			令和2年 国勢調査	令和6年 3月31日	令和7年 3月31日	令和2年 国勢調査	令和6年 3月31日	令和7年 3月31日
久万高原町	久 万	164.95	7,404	7,069	6,799	3,638	3,972	3,902
	面 河	157.81						
	美 川	134.38						
	柳 谷	126.55						
合 計		583.69	7,404	7,069	6,799	3,638	3,972	3,902

久万高原町消防機関配置図



凡 例

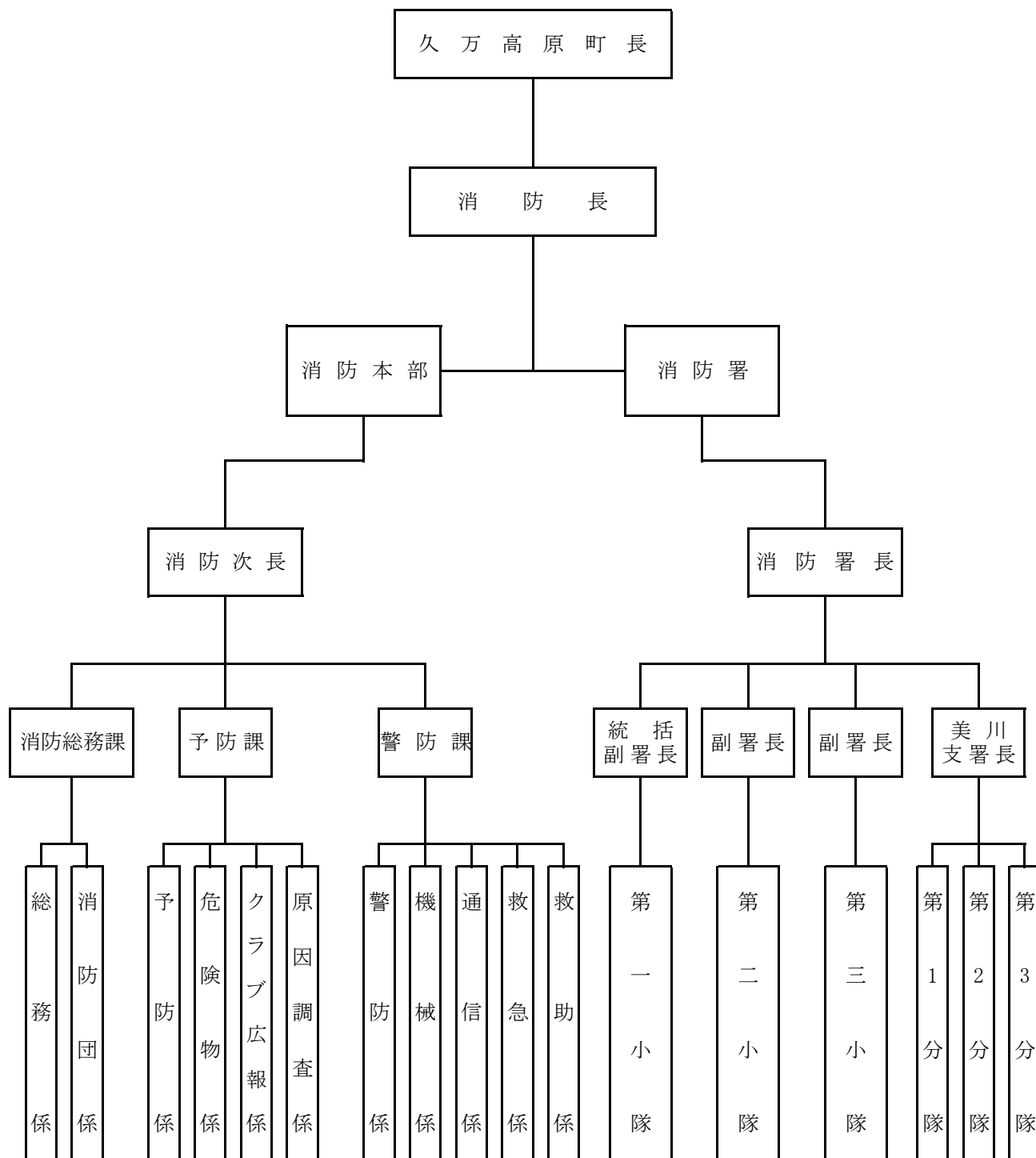
	本部・署
	支 署
	団本部
	無線基地局

消防本部・署所の所在地および庁舎等の現況

名 称		所 在 地			
久万高原町消防本部・消防署	庁舎・車庫棟	上浮穴郡久万高原町下野尻甲33番地			
		建 築 構 造	延べ面積		
		鉄 筋 コ ン ク リ ー ト ・ 3 階 建	1,821.30㎡		
	訓練主塔	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト ・ 3 階 建	122.50㎡		
	車 庫 棟	鉄 骨 造 ・ 1 階 建	148.14㎡		
	土嚢・砂置棟	鉄 骨 造 ・ 1 階 建	22.75㎡		
	特定屋内貯蔵所	鉄 骨 造 ・ 1 階 建	18.11㎡		
	自 転 車 プロパン置場	そ の 他	13.37㎡		
	合計	敷地面積 建築面積 延床面積	9,839.42㎡ 1,307.51㎡ 2,146.17㎡		
消 防 署 美 川 支 署		上浮穴郡久万高原町上黒岩2923番地1			
		建 築 構 造	延べ面積		
		鉄 筋 コ ン ク リ ー ト ・ 4 階 建 (地 下 室 ・ 1 階 の 一 部)	2462.91㎡ (161.05㎡)		
消 防 署 無 線 中 継 所		上浮穴郡久万高原町日野浦4368番地 (大川嶺基地局) 上浮穴郡久万高原町柳井川3537番地 (柳谷基地局) 上浮穴郡久万高原町久万188番地 (久万中継局)			
		建 築 構 造	延べ面積		
		鉄筋コンクリート造 (大川嶺基地局) 軽量鉄骨造 (柳谷基地局) 軽量鉄骨造 (久万中継局)	30.25㎡ 20.00㎡ 12.00㎡		
		久万高原町緊急援護物資		上浮穴郡久万高原町入野1850番地2	
				建 築 構 造	延べ面積
鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造 ・ 2 階 建	238.00㎡				
美 川 支 署 内		上浮穴郡久万高原町上黒岩2923番地1			
		建 築 構 造	延べ面積		
		鉄 筋 コ ン ク リ ー ト (地 下 駐 車 場 内)	15.00㎡		

消防本部の組織

〔組 織〕



歴代組合長・町長

年 代	氏 名	在 任 期 間	在 任 年 数
初 代	日 野 泰	自昭和48年4月1日 至昭和50年4月29日	2年
2 代	河 野 修	自昭和50年5月16日 至平成11年4月29日	24年
3 代	玉 水 寿 清	自平成11年6月1日 至平成20年9月11日	10年
4 代	高 野 宗 城	自平成20年9月12日 至平成28年9月11日	9年
5 代	河 野 忠 康	自平成28年9月12日 至現在	

歴 代 消 防 長

年 代	氏 名	在 任 期 間	在 任 年 数
初 代	山 下 岩 男	自昭和53年4月1日 至昭和58年3月31日	5年
2 代	中 嶋 徹	自昭和58年4月1日 至平成63年3月31日	5年
3 代	平 岡 新太郎	自昭和63年4月1日 至平成5年3月31日	5年
4 代	城 戸 武 士	自平成5年4月1日 至平成17年3月31日	12年
5 代	山 本 進	自平成17年4月1日 至平成20年3月31日	3年
6 代	小 倉 一 幸	自平成20年4月1日 至平成25年3月31日	5年
7 代	織 川 真 二	自平成25年4月1日 至平成31年3月31日	6年
8 代	高 野 貢	自平成31年4月1日 至令和3年3月31日	2年
9 代	大 野 秋 義	自令和3年4月1日 至令和5年3月31日	2年
10 代	大 野 秋 義	自令和5年4月1日 至現在	

歴 代 消 防 署 長

年 代	氏 名	在 任 期 間	在 任 年 数
初 代	山 下 岩 男	自昭和53年4月1日 至昭和58年3月31日	5年
2 代	中 嶋 徹	自昭和58年4月1日 至平成63年3月31日	5年
3 代	城 戸 武 士	自昭和63年4月1日 至平成15年3月31日	15年
4 代	小 倉 一 幸	自平成15年4月1日 至平成20年3月31日	5年
5 代	織 川 真 二	自平成20年4月1日 至平成24年3月31日	4年
6 代	平 岡 幸 夫	自平成24年4月1日 至平成30年3月31日	6年
7 代	高 野 貢	自平成30年4月1日 至平成31年3月31日	1年
8 代	大 野 秋 義	自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	1年
9 代	明 賀 徹	自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	1年
10 代	岡 本 剛	自令和3年4月1日 至令和6年3月31日	3年
11 代	山 口 直 樹	自令和6年04月01日 至現在	

消防本部重点施策

近年、災害や事故に対する不断の備えの重要性はますます増大し、住民の消防に寄せる期待は極めて大きなものがあります。消防行政において第一時的な役割を担っている地方公共団体は安全で安心な地域社会づくりに向け、消防防災行政の推進及びその体制の充実強化を図っています。

また、久万高原町は高齢者が51.0%を占める高齢化社会の進展した町であり、このことを踏まえ職員一人ひとりが社会と住民のニーズに応え得る消防行政に邁進し、毎日が安全であるという確かな手応えが得られるよう職務に精励しなければなりません。

これらの背景を踏まえ、令和6年度においては下記の事項を重点施策として掲げ、「安全で安心して暮らせる地域づくり」と「連携と実践による福祉消防」に努めました。

重 点 施 策	主 な 推 進 策
1 消防防災体制の整備	● 防災対策の充実強化 ・ 地域防災計画の見直しに伴う警防計画の整備 ● 消防体制の充実強化 ・ 消防機関間の柔軟な連携・協力の推進 ・ 自然災害(地震、水害等)の研究と対応能力の向上 ・ トンネル災害を想定した訓練及び隣接消防との連携訓練 ● 救急業務の高度化 ・ 救急救命士再教育及び職員の教育研修 ・ MC体制に伴う業務高度化の方策 ・ 応急手当の普及啓発活動の推進 ・ 救急活動時における安全管理徹底と感染防止対策
2 地域の防災対応能力の向上	● 地域の防災能力の向上 ・ 地域における防災力の強化 ・ 防災ボランティアの育成と自主防災組織の育成強化 ・ 常備・非常備消防活動の一体化 ・ 高齢者を対象とした住宅防火対策の推進 ● 住民の防災意識と行動力の向上 ・ 住宅用火災警報器の設置推進及び適正な維持管理 ・ 災害時要援護者対策 ・ AED普及に伴う救命講習の推進
3 将来に向けた組織づくり	● 消防職員の資質の向上対策 ・ 創造性の醸成と日常業務の創意工夫の実践, 職責の完遂 ・ 安全運転と道路交通法の厳守 ・ 法, 条例, 規則, 規程等の習熟と遵守 ・ 働きやすい職場環境づくりへの取組み(ハラスメントの防止) ● 消防の広域化等 ・ 女性消防吏員の職域拡大に関する検討 ・ 女性消防吏員の活躍に向けた取組の推進

消防力の現況

区 分		基準数	現有数	充足率(%)
施 設	消 防 署 所	2	2	100
消 防 車 等	指 揮 車	1	1	100
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	2	100
	救 急 自 動 車 (非 常 用 1 台 除 く)	3	3	100
	救 助 工 作 車	1	1	100
	そ の 他 特 殊 車 両	5	5	100
	合 計	12	12	100
人 員	指 揮 隊 員	10	3	30
	消 防 隊 員	24	15	63
	救 急 隊 員	21	18	86
	救 助 隊 員	17	1	6
	警 防 要 員 小 計	62	33	53
	予 防 要 員	2	2	100
	通 信 員	3	3	100
	庶 務 の 処 理 等 の 人 員	7	7	100
	小 計	12	12	100
	合 計	74	44	59
水 利	消 防 水 利 数	1,187	859	72

※基準数は令和4年度消防力の整備指針による。

消防職員

消防職員は、住民の期待に応えるべく、防災の担い手として、住民の命と暮らしを守り、安全な地域づくりに向けて、災害の予防、災害の防御、救急救助の消防業務に尽力していきます。

現在の職員には、災害の複雑多様化、高度情報化の進展をはじめとする時代の変化に対応し、また、住民に密着した防災行政を適切に遂行できる防災行政職員としての手腕が求められます。

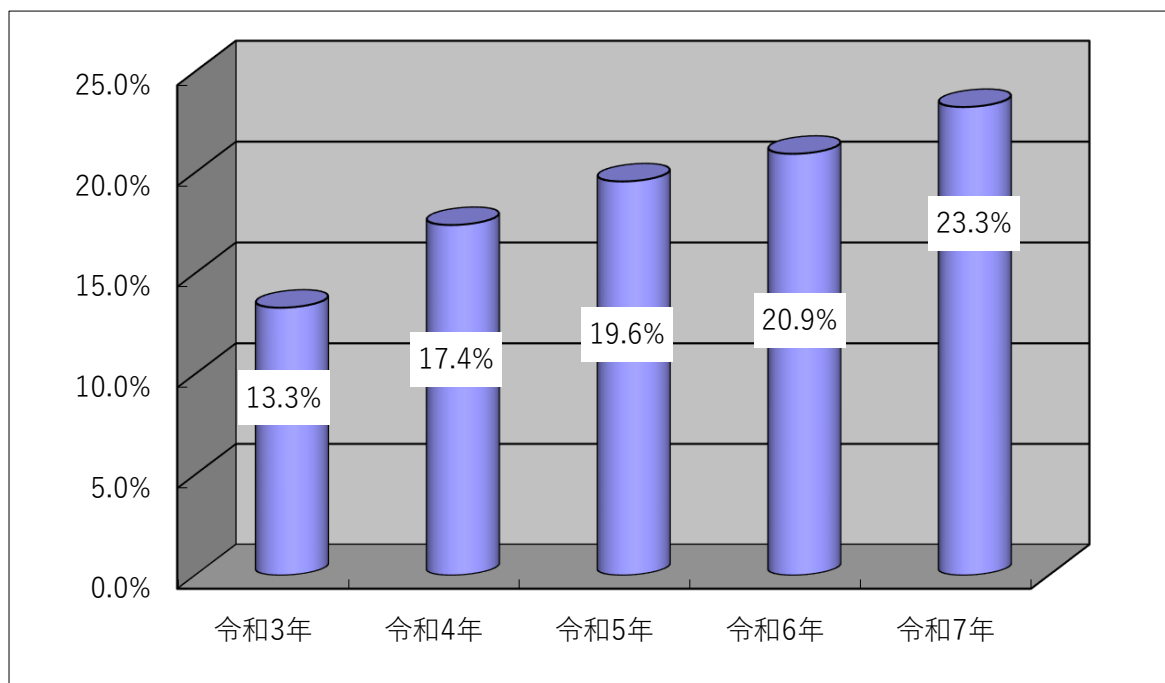
所 属		階 級	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他	計
消 防 本 部	消 防 長		1	—	—	—	—	—	—	1
	消 防 次 長		—	1	—	—	—	—	—	1
	消 防 総 務 課		—	1	—	—	—	—	—	1
	予 防 課		—	1	—	—	—	—	—	1
	警 防 課		—	1	—	—	—	—	—	1
	本 部 付		—	—	—	—	—	2	—	2
	団 係		—	—	1	—	—	—	1	2
	役 場 出 向		—	1	—	—	—	—	—	1
計			1	5	1	0	0	2	1	10
消 防 署	署 長		—	(1)	—	—	—	—	—	(1)
	副署長・支署長		—	5	—	—	—	—	—	5
	第 1 小 隊		—	—	3	1	2	2	—	8
	第 2 小 隊		—	—	3	2	—	2	—	7
	第 3 小 隊		—	—	3	2	1	2	—	8
	美 川 支 署		—	—	1	3	1	2	—	7
計			0	5(1)	10	8	4	8	0	35(1)

() 兼務

〔職員の年齢構成〕

令和7年4月1日現在の消防職員の平均年齢は37.9歳であり、50歳以上の職員構成は23.3%となっています。

〔50歳以上の職員構成〕



消防予算

令和7年度消防予算は、財源の効率的かつ重点的な配分と経費の節減に努め、これまでに進めてきた施策や事業の着実な実現を図るとともに、災害に強く住民が「安全で安心して暮らせる地域づくり」と「連携と実践による福祉消防」を推進することとしました。この基本姿勢のもとに編成当初予算459,125千円となっています。

〔一般会計予算に対する消防費の割合〕

区 分		令和7年度当初予算（千円）
一般会計予算額		9,279,101
消防費（町全体）		459,125
一般会計対構成比		4.9%
消防費内訳	常備消防費	351,513
	非常備消防費	52,593
	消防施設費	21,185
	災害対策費	33,834

〔令和6年度消防予算額〕

区 分		令和6年度当初予算額 （千円）	令和5年度当初予算額 （千円）	対前年度予算の増減 (▲は減)	
				比較(千円)	割合(%)
消防費		443,179	473,186	▲ 30,007	▲ 6.3
内 訳	人件費	338,547	315,946	22,601	7.2
	物件費	77,941	134,959	▲ 57,018	▲ 42.2
	維持補修費	600	0	600	—
	補助費	26,089	22,279	3,810	17.1
	普通建設事業費	0	0	0	—
	積立金	2	2	0	—

〔主な事業の概要〕

- (1) 第8回久万高原町消防操法大会
- (2) 救急救命九州研修所救急救命士研修課程第43期(北九州市) 1名
- (3) 愛媛県消防長会秋季総会・職員意見発表会
- (4) 消防職員ハラスメント防止研修

非常備分

- (1) 小型動力ポンプ付軽四輪駆動積載車整備

火災履歴の
検証

火災の実態

(1) 出火件数7件

令和6年中の出火件数は7件(建物火災5件, 建物火災以外の火災2件)となっています。出火率(人口1万人あたりの出火件数)は, 9.9件/万人で, 全国平均の出火率3.1件/万人(令和6年版「消防白書」)を6.8%上回っています。

< 令和6年中 >

火災件数	7件	損害額(全火災)	11,216千円
建物火災件数	5件	損害額(建物火災)	10,811千円
建物以外の火災件数	2件	り災世帯数	1世帯
建物焼損床面積	633㎡	り災人員	1人
林野焼損面積	3a	死者	0人
焼損棟数	7棟	負傷者	1人

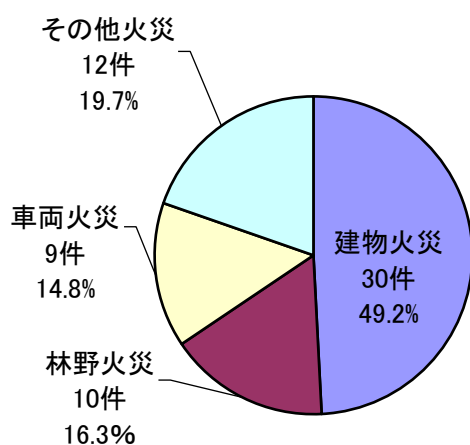
久万高原町人口：7,060人

(注) 人口は令和6年4月1日現在

(2) 建物火災の占める割合は約5割

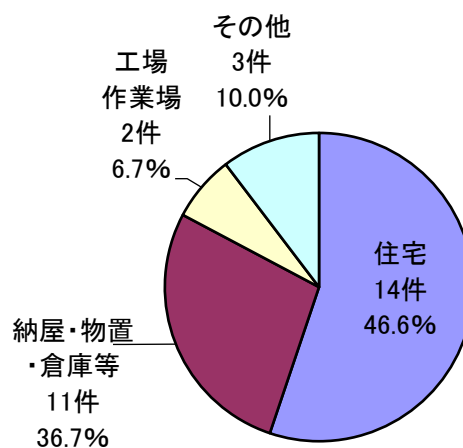
平成27年から令和6年までの火災出火件数61件のうち, 建物火災は30件(49.2%)となっています。また, 建物火災を用途別にみると, 住宅火災が14件と最も多く, 全体の46.6%を占めています。

< 火災種別出火件数の構成比率 >



(平成27年～令和6年/出火件数61件)

< 建物火災における用途別構成比率 >



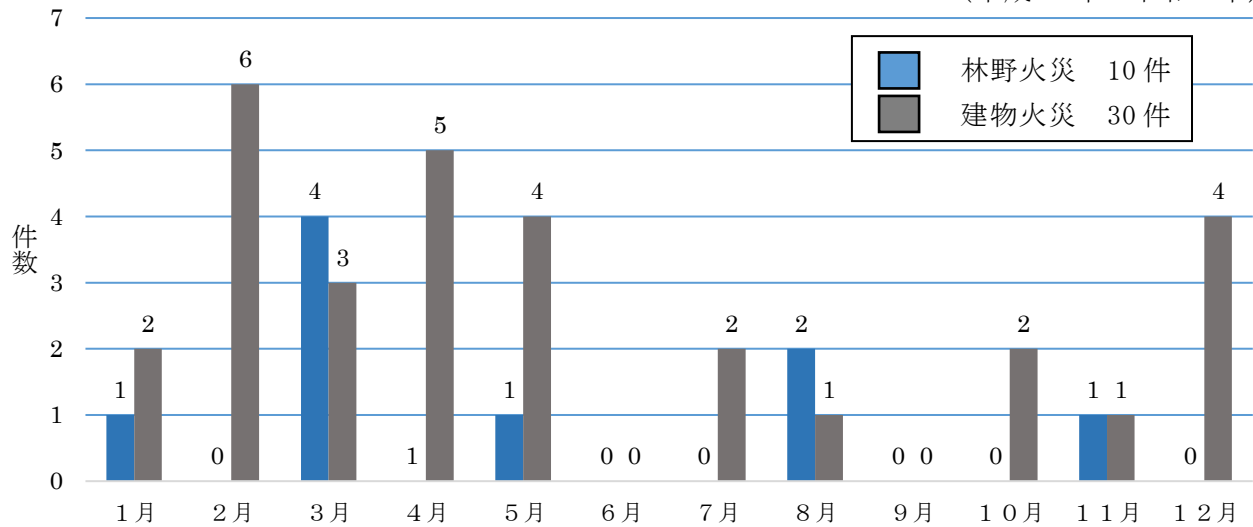
(平成27年～令和6年/建物火災件数30件)

(3) 建物火災は冬季から春季が多発傾向

令和6年中は2月と4月に建物火災が発生しています。過去10年間の月別出火件数をみると, 建物火災は冬季から春季にかけて, 林野火災は春季に多く発生する傾向があります。

林野及び建物火災の月別出火件数

(平成 27 年～令和 6 年)



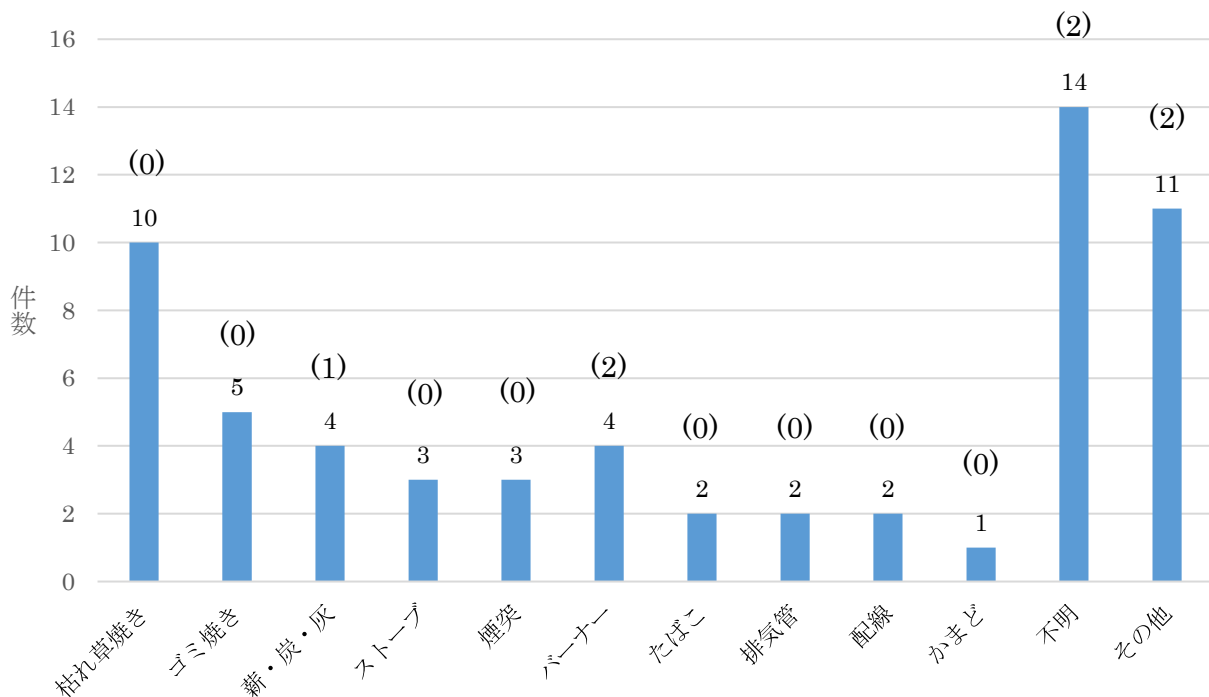
(4) 出火原因の大半は火気取扱いの不注意

平成 27 年から令和 6 年までの火災原因（出火件数 61 件）みると、枯れ草焼き 10 件（16.4%）、ゴミ焼き 5 件（8.2%）、薪・炭・灰が 4 件（6.6%）等となっています。令和 6 年においてもバーナー 2 件のほか、火気取扱いの不注意による火災が多く発生しています。

(平成 27 年～令和 6 年)

〈出火原因別の出火件数〉

(総数 61 件)

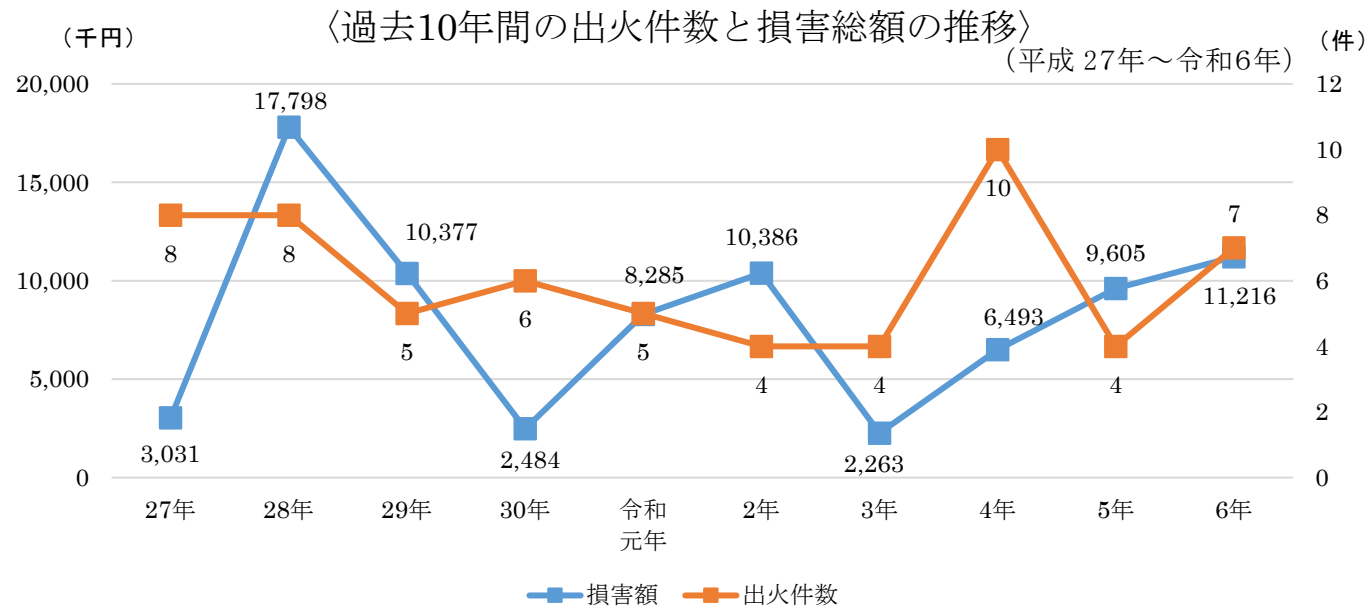


※()内は令和 6 年中の出火原因件数

※出火原因の区分(名)は当本部の火災調査取扱要領による。

(5) 出火件数は7件、損害額は前年の約 1.17 倍増

令和 6 年の出火件数は 7 件と前年より 3 件増えています。また、損害額は 1121 万 6 千円となっており、前年より約 1.17 倍増加しています。



(6) 死傷者 1 名発生

令和 6 年中の死傷者は、負傷者 1 名、死者 0 名となっています。なお、死者については、平成 29 年 5 月以降発生していません。

〈死傷者件数〉

(平成 27 年～令和 6 年)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
死者	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
負傷者	－	2	－	1	－	1	1	2	1	1

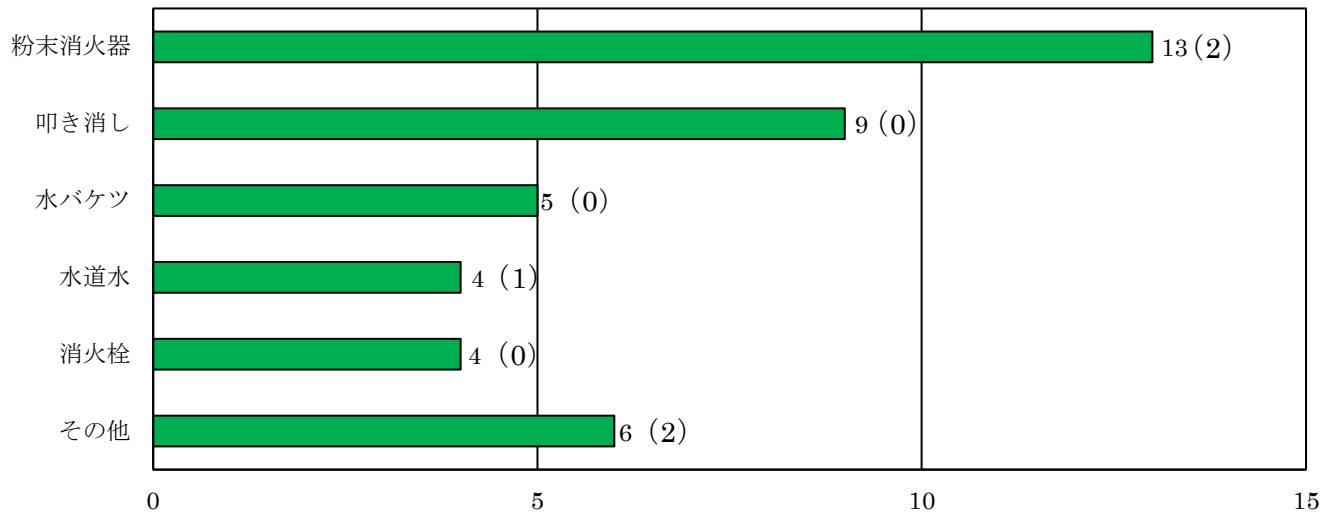
(7) 初期消火実施率 67 %

令和 6 年中の火災 7 件において、初期消火が実施されたのは 3 件です。初期消火方法は粉末消火器 2 件、水道水 1 件、その他 2 件となっています。(※重複あり)このうち、初期消火に成功した火災はありません。

また、過去 10 年間で初期消火の状況をみると、全火災 61 件中 41 件(67.2%)で実施されており、内訳は粉末消火器が最も多く 13 件、叩き消し 9 件、水バケツ 5 件、水道水、消火栓 4 件、その他 6 件となっています。

〈初期消火実施件数〉

(平成 27 年～令和 6 年)



※()内は令和 6 年中の初期消火実施件数

(件)

災害を未然に
防止するために

火災予防

〔広報活動〕…住民とふれあうなかで期待に応える

消防広報は、その実態や各種施策を広く住民に伝え、理解と協力を得るとともに、住民とふれあうなかで、要望・意見等を吸い上げ、消防行政に反映するために行う重要な活動です。

当消防本部では、広報誌・ホームページを活用し、災害や防火防災に関する消防情報の提供や、高齢者宅防災診断、防火ポスター等コンクール、消防団及び幼・少年・女性防火クラブの活動、火災予防運動等を通じた防火防災思想の普及など、積極的な広報活動を展開しています。

〔幼・少年・女性防火委員会〕…地域に根ざした防災活動

管内の人口減少と高齢化の現状を踏まえ、地域に根ざした防災活動を行うため、幼・少年・女性防火委員会を設置し、各クラブの結成と人材育成を図り、住民が「安全で安心して暮らせる地域づくり」を目指しています。

＜幼・少年・女性防火クラブ結成状況＞

区 分		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町
幼年消防クラブ	ク ラ ブ 数	5	1	1	1	8 クラブ
	クラブ員数	123	4	8	4	139 人
少年消防クラブ	ク ラ ブ 数	6	1	2	1	10 クラブ
	クラブ員数	109	6	29	3	147 人
女性防火クラブ	ク ラ ブ 数	3	1	－	－	4 クラブ
	クラブ員数	75	8	－	－	83 人

〔防火・防災に関する知識・技術の住民普及〕…地域ぐるみの防災体制と共助の力を強化

災害時に被害の軽減を図るためには、普段から近隣や地域とのつながり・結びつきを大切にし、住民一人ひとりの高い防火・防災意識に基づいた迅速、的確な通報・初期消火・避難はもちろんのこと、正しい知識と行動力を身につけた自主的な防災活動が不可欠です。

このようなことから、防火クラブ、自治会（自主防災組織）や事業所等への防火・防災知識の普及、防災訓練等を通じて地域ぐるみの防災体制の強化を図っています。

＜防災・防火教室等実施状況＞

区 分	学校関係	事業所	地域関係	総 計
実施回数	7	27	2	36 回
参加者数	498	575	83	1,156 人

住宅防火対策

〔住宅用火災警報器設置の推進〕…家族や財産を守るために

平成 27 年以降、火災による死傷者は、横ばいで推移しており、犠牲者の約 6 割が 65 歳以上の高齢者となっています。また、70 歳以上の高齢者では、全年齢階層における半数を占めていることから、高齢者宅の火元の点検や、高齢者の防火・防災意識の向上を図ることを目的とした防災診断を実施しています。

また、住宅火災の逃げ遅れによる犠牲者を減らすことを目的とし、住宅用火災警報器の設置が義務づけられています。住宅用火災警報器の普及は、住宅防火対策の「切り札」と言え、地域の安心・安全を確保する上で極めて重要な課題です。また、設置から 10 年以上経過すると、電池切れや作動不良等の不具合が出始めます。設置普及と共に、適正な維持管理の方法についても強化を図っていく必要があります。

＜防災診断実施状況＞

区 分		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町
一人暮らし のお年寄り 防災診断	訪問対象戸数	189	29	100	45	363 戸
	在 宅 数	112	15	63	28	218 戸
	在 宅 率	59.3	51.7	63.0	62.2	60.1 %
	不在者宅数	72	12	33	17	134 戸
後期高齢者 夫婦世帯等 防災診断	訪問対象戸数	126	18	41	26	211 戸
	在 宅 数	82	13	29	17	141 戸
	在 宅 率	65.1	72.2	70.7	65.4	66.8 %
	不在者宅数	35	4	10	9	58 戸

※ 訪問対象外等により、訪問対象戸数と在宅数、不在者宅数の合計は一致しない。

＜住宅用火災警報器の都道府県別設置率及び条例適合率＞ （令和 6 年 6 月 1 日現在）

都道府県(順位)	設置率	都道府県(順位)	条例適合率
福井県 (1)	95.1%	福井県 (1)	85.9%
愛媛県 (36)	79.8%	愛媛県 (10)	71.3%
全 国	84.5%	全 国	66.2%
久万高原町	96.0%	久万高原町	86.0%

※ 標本調査のため、各数値は一定の誤差を含む。

※ 設置率とは、市町村の火災予防条例において設置が義務付けられている住宅の部分のうち、一箇所以上設置されている世帯(条例適合世帯を含む)の全世帯に占める割合。

※ 条例適合率とは、市町村の火災予防条例において設置が義務付けられている住宅の部分すべてに設置されている世帯(条例適合世帯という。)の全世帯に占める割合。

危険物

〔危険物保安の広報と指導〕

危険物施設の事故原因を分析すると、管理や確認が不十分であるなど人的要因によるものが多いことから、危険物施設の立入検査を実施し、事業所における自主保安体制の確立を推進するとともに、広く危険物に対する意識の高揚及び啓発を図るため、毎年 6 月の第 2 週を「危険物安全週間」と定め、全国的に啓発運動を実施しています。

＜危険物事業所数＞

地 域	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町
事 業 所 数	25	1	5	2	33

＜危険物施設の状況＞

区 分	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町
屋 内 貯 蔵 所	2	－	－	－	2
屋外タンク貯蔵所	4	－	1	－	5
屋内タンク貯蔵所	1	－	－	－	1
地下タンク貯蔵所	7	－	－	1	8
簡易タンク貯蔵所	2	－	－	－	2
移動タンク貯蔵所	7	－	3	－	10
屋 外 貯 蔵 所	－	－	－	－	－
給 油 取 扱 所	10 (3)	1 (1)	4 (2)	1 (0)	16 (6)
一 般 取 扱 所	3	－	1	－	4
合 計	36	1	9	2	48

※()内は、給油取扱所のうち自家用を表記。

災害から住民を
守るために

消防活動体制及び消防隊の活動状況

当消防本部では、効果的な消防活動体制を確立するため、日々消防隊の活動能力の向上に努めるとともに、消防団をはじめとする関係機関と各種災害を想定した合同訓練等を継続的に実施し、連携強化を図っています。

＜消防隊の火災出動状況＞

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

区 分	合 計	準市街地 建物火災	その他地域 建 物 火 災	車両火災	林野火災	その他火災
火災出動件数	6	2	3	1	—	—
出 動 隊 数	36	11	18	7	—	—

※火災件数(令和6年中7件)と火災出動件数は一致しない。

注) 救急車の出動は除く

＜消防隊の活動状況＞

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

区 分		出 動 件 数	出 動 隊 数	放 水 隊 数	放 水 量 (m ³)	ホ ー ス (本)	活 動 内 容			
							救 助 隊 活 動 数	指 揮 隊 活 動 数	消 火 隊 活 動 数	活 動 隊 支 援 数
建 物 火 災	1 次出動	5	20	5	177.6	47	4	3	5	6
	2 次出動	5	9	—	—	9	1	—	—	8
	3 次出動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小 計	10	29	5	177.6	56	5	3	5	14
建 物 以 外	1 次出動	1	4	1	1.5	11	—	1	1	1
	2 次出動	1	3	—	—	—	—	—	—	2
	3 次出動	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小 計	2	7	1	1.5	11	—	1	1	3
合 計		12	36	6	179.1	67	5	4	6	17

※火災件数(令和6年中7件)と火災出動件数は一致しない。

注) 救急車の出動は除く

消防相互応援体制の状況

〔実績〕

愛媛県消防広域相互応援協定に基づき、令和7年3月に今治市で発生した林野火災に、当本部から消火小隊延べ9隊37名が出動しました。

〔消防相互応援協定〕

- 伊予・大洲・久万高原広域消防相互応援協定(平成17年11月1日)
伊予消防等事務組合・大洲地区広域消防事務組合・大洲市・伊予市・砥部町・内子町・久万高原町
- 中予地区広域消防相互応援協定(平成31年3月29日)
松山市・伊予市・東温市・久万高原町・松前町・砥部町・伊予消防等事務組合
- 西部四国山地消防相互応援協定(昭和45年9月1日) ※令和4年10月7日一部改正
西予市・鬼北町・久万高原町・津野町・四万十町・梶原町・中土佐町・仁淀川町・高幡消防組合
高吾北広域町村事務組合 10団体
- 真弓トンネル内における消防活動に関する覚書(平成17年11月1日)
内子町、久万高原町、久万高原町消防本部、大洲地区広域消防事務組合消防本部
- 愛媛県消防広域相互応援協定(平成18年4月1日)
愛媛県下の市町及び消防一部事務組合
- 広域消防相互応援協定(平成18年4月1日)
仁淀消防組合・いの町・久万高原町・久万高原町消防本部
- 高幡消防組合と久万高原町相互応援協定(平成21年6月1日)
須崎市・四万十町・中土佐町・梶原町・津野町・久万高原町
- 高幡消防組合と久万高原町相互応援協定実施に関する覚書(平成21年6月1日)
高幡消防組合・久万高原消防本部
- 三坂道路に係る消防相互応援に関する覚書(平成24年3月1日) ※令和3年4月1日一部改正
松山市消防局・久万高原町消防本部・伊予消防等事務組合消防本部
- 橘中津トンネルに係る消防相互応援に関する覚書(令和2年1月10日)
高吾北広域町村事務組合消防本部・久万高原町消防本部

〔その他の応援協定〕

- 救急搬送協定(昭和54年2月13日)
高吾北広域町村事務組合消防本部
- 救急業務応援協定(昭和54年6月29日)
西条市
- 救急救命処置に関する覚書(平成7年12月22日)
国民健康保険久万町立病院・医療法人社団マリナ会西本医院
- 愛媛県消防防災ヘリコプター応援協定(平成8年10月1日)
- 携帯電話からの119番通報、転送等に関する協定書(平成17年10月 各消防本部直接受信)
- 愛媛県消防防災ヘリコプターの支援に関する協定(平成18年4月1日)
- 愛媛県立中央病院ドクターカーに関わる相互応援協定(平成22年3月8日)

緊急消防援助隊

〔契機・発足及び実績〕

緊急消防援助隊は、平成 7 年に発生した阪神・淡路大震災を契機に、同年創設されました。その後、平成 15 年 6 月に消防組織法の改正により法制化され、平成 16 年 4 月から法制度上明確化のうえ新たに発足しました。

平成 7 年の創設以来、令和 7 年 3 月末までの間に 46 回の出動実績があり、当消防本部では平成 23 年に東日本大震災に出動しています。

1. 登録部隊

全国の登録部隊数は、令和 6 年 4 月 1 日現在 6,661 隊の登録がされています。

緊急消防援助隊の編成等については、「緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画」（令和 7 年 3 月改定）において、南海トラフ地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震など甚大な被害が想定される大規模災害に的確に対応できるよう、登録目標隊数を 7,200 隊程度まで増強を図ることとされました。

当消防本部は、消火小隊（平成 7 年 9 月 5 日）、救急小隊（平成 13 年 1 月 23 日）各 1 隊を登録し、緊急消防援助隊の出動に備えています。

2. 国庫補助制度

消防組織法第 44 条第 5 項に基づく指示を受けて出動した緊急消防援助隊の活動により、必要となる費用やその他政令で定める経費等は、国庫負担制度によって国が負担します。さらに、活動中に必要であれば消防組織法第 49 条の規定に基づき、消防用の国有財産・物品を無償で使うことが可能となっています。

3. 緊急消防援助隊全国合同訓練

消防庁では、緊急消防援助隊の消火・救助技術や指揮・連携活動能力等の向上を図ることを目的に、創設以来おおむね 5 年に 1 回、全国の緊急消防援助隊が一同に会して行う全国合同訓練を実施しています。

第 6 回全国合同訓練は、南海トラフ巨大地震が発生したことを想定し、令和 4 年 11 月に静岡県で開催され、当本部からは消火小隊 1 隊 5 名が参加しました。

4. 保有資機材

国有無償使用物品

個人線量計	X ガンマ線用線量率計	表面汚染検査計	全面マスク
8	2	1	5

後方支援物品

寝袋	簡易ベッド	机	暖房器具	燃料携行缶	ガスボンベ	調理器具	発電機	投光器	リアカー	エアータント	簡易トイレ
10	10	2	4	4	9	3	1	1	2	1	5

情報通信

〔緊急通報〕

災害情報は緊急性と正確性を要するため、収集した情報は直ちに分析し、正確な情報を活動現場、活動部隊、及び防災関係機関等に伝達、共有することが極めて重要です。

平成 28 年 6 月から 119 番通報受信装置の更新に伴い、統合型位置情報通知装置を導入し、119 番通報において災害発生場所の特定が迅速かつ容易になっています。しかし、携帯電話による 119 番通報においては、機能及び設定、電波状況等により誤差が大きくなり、正確な位置の特定が困難な場合もあります。

令和 6 年における通報件数は 812 件となっており、うち 119 番通報件数が 525 件、一般加入電話通報件数が 229 件、その他通報件数が 58 件となっています。携帯電話による通報件数が年々増加しています。

<通報件数(過去 10 年間)>

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
119 番	602	513	526	525	476	442	483	490	531	525
(内携帯電話)	(174)	(154)	(176)	(199)	(188)	(190)	(218)	(246)	(295)	(295)
一般加入	204	236	233	189	243	230	232	247	228	229
その他	19	20	26	45	29	34	26	25	45	58
合計	825	769	785	759	748	706	741	762	804	812

〔消防無線〕

消防無線は、平成 26 年 3 月から 260MHz 帯の周波数を使用したデジタル方式による無線方式に移行しています。管内面積(583.69km²)が広大であることから、町内に基地局 2 箇所、中継局 1 箇所を整備し、無線不感地帯の解消、携帯電話・衛星電話を配備し通信網の多ルート化を図っています。災害時には、現地災害対策本部に可搬型無線機を設置するなど、消防・防災活動の要とも言える情報通信網の確保を図っています。また、消防団との連携を密にするため、消防団指令車・ポンプ車等に 260MHz 帯デジタル方式の消防無線(10W)を装備及び町防災行政無線の移動系端末を通信指令室に配置し、二系統の連絡を細やかにするとともに、広域応援等が行われた場合の通信確保のため、主運用波・統制波を実装し応援側と受援側の連絡を適切に行うようにしています。

また、全国各地で頻発している台風・豪雨災害や、近年発生が予測されている南海トラフ巨大地震等では、消防無線網が輻輳状態となることが懸念されます。このことから災害の多発や緊急消防援助隊での活動時等に、自隊間の連絡統制の確立を目的として、令和 2 年 10 月 1 日から 466MHz 帯の周波数を使用したアナログ方式の署活動系無線の運用を開始しています。

無線局一覽表

〔基地局〕 免許有効期間： 基地局： R10. 5.31

呼出名称	設置場所	チャンネル型式	空中線電力	通信方式	型式名	免許年月日
くましょうほんぶ	大川嶺基地局 (久万高原町日野浦4368) 北緯 33° 34' 05" 東経 132° 56' 28"	活動波1	10 W	複信	CF-2514F	R5.6.1
		活動波2	10 W	複信	CF-2514F	R5.6.1
		愛媛県波	10 W	複信	CF-2514F	R5.6.1
		統制波1	10 W	複信	CF-2514F	R5.6.1
		統制波2	10 W	複信	CF-2514F	R5.6.1
		統制波3	10 W	複信	CF-2514F	R5.6.1
くましょうやなだに	柳谷基地局 (久万高原町柳井川3537) 北緯 33° 32' 15" 東経 133° 00' 06"	活動波1	5 W	複信	CF-2416F	R5.6.1
		活動波2	5 W	複信	CF-2416F	R5.6.1

〔多重局〕 免許有効期間： 多重局： R9.11.30

呼出名称	設置場所	空中線電力	通信方式	型式名	免許年月日
しょうぼうおおがわみね	大川嶺基地局(久万高原町日野浦)	79mW	単信	JA85874	R4.12.1
ちゅうけいきよく	北緯 33° 34' 05" 東経 132° 56' 28"				
しょうぼうくま	久万中継局(久万高原町久万)	79mW	単信	JA85873	R4.12.1
ちゅうけいきよく	北緯 33° 39' 17" 東経 132° 54' 10"				

〔移動局〕 免許有効期間： 移動局： R10. 5.31

呼出名称	設置車両	チャンネル型式	空中線電力	通信方式	型式名	免許年月日
くましょう 100	本署 卓上固定型	活動波 1・2 愛媛県波 共通6ch 全国3ch	10 W	複信	CM-2510DF	R5.6.1
くましょう 200	美川 卓上固定型		10 W	複信	CM-2510DF	R5.6.1
くましょう 101	本署 指揮車		10 W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましょう 102	本署 人員搬送車		10 W	複信	CM-2010D3	R5.6.1
くましょう 103	本署 タンク車		10 W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましょう 104	本署 積載工作車		10 W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましょう 105	本署 水槽車		10 W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましょう 106	美川 タンク車		10 W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましょう 107	本署 査察広報車		10 W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましょう 108	本署 査察広報車		10 W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましょう 109	本署 資器材搬送車		10 W	複信	CM-2010D3	R5.6.1
くましょう 301	本署 高規格救急車		10 W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましょう 302	本署 高規格救急車		10 W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましょう 303	美川 高規格救急車		10 W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましょう 305	本署 高規格救急車		10 W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましょう 201	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 202	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 203	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 204	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 205	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 206	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 207	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 208	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 209	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 210	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 211	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 212	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 213	消防団 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 214	美川 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 215	美川 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 216	美川 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 217	消防団 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 218	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 219	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 220	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 221	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 222	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 223	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 224	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 225	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 226	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 227	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 228	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 229	本署 携帯		5 W	単信	CP-5068T	R5.6.1
くましょう 230	本署 可搬型		5 W	単信	CM-2010SM	R5.6.1
くましょう 231	危機管理室 可搬型		5 W	単信	CM-2010SM	R5.6.1
くましょう 110	久万方面隊 指令車		10 W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましょう 413	久万方面隊 ポンプ車		10 W	複信	CM-2010D2	R5.6.1
くましょう 421	久万方面隊 ポンプ車		10 W	複信	CM-2010D2	R5.6.1

〔署活動系〕		免許有効期間：		署活動系	R7. 5.31
呼出名称	チャンネル型式	空中線電力	通信方式	型式名	免許年月日
くましよう1	久万高原町全域 9・16ch 全国・緊急消防援助隊活動時のみ 1～18ch(9・16ch除く)	1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう2		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう3		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう4		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう5		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう6		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう7		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう8		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう9		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう10		1w	単信	IC-UH38MFT	R2.9.2
くましよう11		1w	単信	IC-DU60S3	R5.7.25
くましよう12		1w	単信	IC-DU60S3	R5.7.25
くましよう13		1w	単信	IC-DU60S3	R5.7.25
くましよう14		1w	単信	IC-DU60S3	R5.7.25
くましよう15		1w	単信	IC-DU60S3	R5.7.25

〔Net119〕

Net119 とは、聴覚や言語機能による障害等で、音声による通報が困難な方が、携帯電話やスマートフォン等の WEB(インターネット)機能を通して、簡単な画面操作で 119 番通報を行うことが出来るシステムです。久万高原町消防本部では、松山市消防局・伊予消防等事務組合消防本部・東温市消防本部と 4 消防間で共同運用化の協議を行い、「まつやま圏域 Net119」という名称で令和 5 年 4 月 1 日からサービスを開始しています。



消防水利

消防水利には、消火栓・防火水槽・プール等の人工水利と、河川・池・湖・沼等の自然水利があります。

人工水利のうち、消火栓は上水道の配水管に付置されており、連続的に給水され、且つ簡易に使用できる反面、配管口径による給水量の制約、断減水時の取水不能、さらに地震時には配管の破損が懸念されるなどの弱点も併せ持っています。こうした消火栓の持つ弱点をカバーするため、耐震防火水槽を地域の実情に応じて計画的に整備しています。

自然水利は、人工水利と並んで消防水利としての重要な役割を果たしていますが、季節によっては使用不能となったり、取水場所が制限されたりすることもあります。

消防署では常に管内の水利状況を把握し常時使用可能な状態に保つため、定期的に調査し、機能の保全に努めています。

<人工水利と自然水利の現況>

合 計	人 工 水 利				自 然 水 利		
	小 計	防火水槽	消 火 栓	プール	小 計	河 川	池・沼
856	754	131	608	15	102	90	12

<火災における水利使用状況>

火災合計	水 利 別 延 べ 使 用 数						水 利 を 利用した 火災件数	水 利 を 利用した 消防隊数
	防火水槽	消火栓	プール	河川池沼	積載水	他		
7	1	3	－	－	13	－	6	17

※火災合計と水利使用数は一致しない。

訓練

火災等の危険で困難を伴う災害現場に臨む消防隊，高齢化社会の進展，疾病構造の変化に対応し救命率の向上を図る救急隊，交通事故・水難事故等の災害から人命救助を行う救助隊は厳正な規律と旺盛な士気はもとより，各種災害に精通し，専門的な能力を保持した精強な部隊でなくてはなりません。

隊長には，災害状況等の変化を把握し，効率的に現場活動を指揮する能力が必要とされ，また，隊員は資器材に精通し，困難な現場活動を遂行できる能力が必要とされます。これが相まって初めて組織的かつ効率的な現場活動が可能となり，被害を最小限に抑えることができます。

現場活動において効率的に展開するため，日々，訓練及び学習を行い，消防・救急・救助技術の向上を図っています。さらに実災害での活動ごとに指揮及び各隊の活動内容を検討し活動技術の蓄積と反省を踏まえた上で，今後の現場活動に反映させるよう努めています。

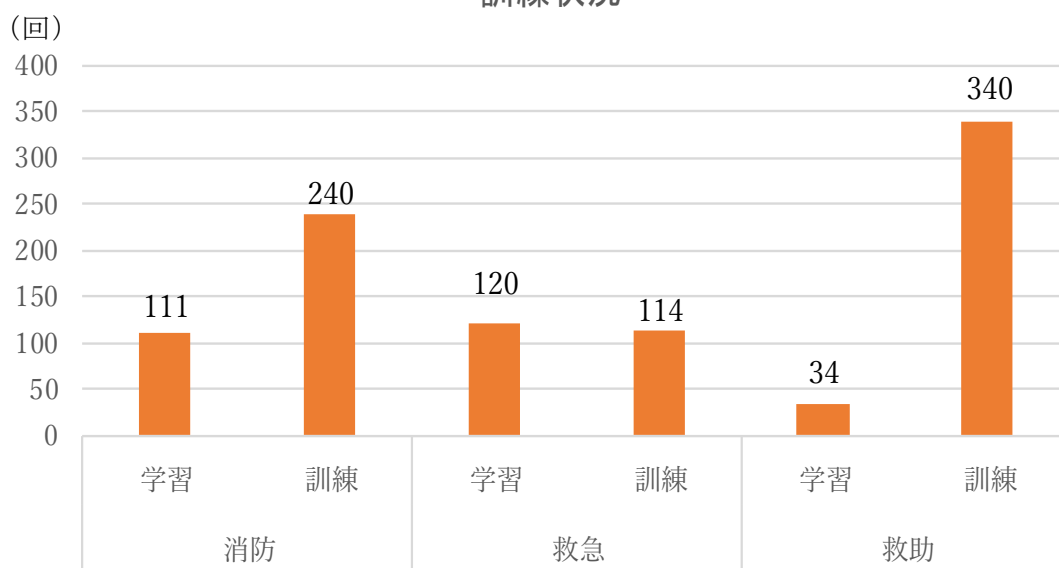
<年間訓練状況>

令和6年1月1日～令和6年12月31日

	消防		救急		救助		合計	
	学習	訓練	学習	訓練	学習	訓練	学習	訓練
隊	111	240	120	114	34	340	265	694

(回数)

訓練状況



消 防 団

消防団は「自分たちの郷土は自分たちで守ろう」という郷土愛の精神を基に地域社会の災害防止や、災害発生時の活動などを目的として組織された地域に密着した防災活動機関です。

久万高原町においては、条例の改定により、令和４年４月１日から旧町村単位で４方面隊１０分団が設置されています。団員は条例定数６００名、実員５５９名（令和６年４月１日現在）の編成となっており、水・火災等の災害時における防災活動にあたるとともに、久万高原町総合防災訓練では、自主防災組織と連携した訓練を実施し、住民の方々の「安全と安心な暮らしづくり」に重要な役割を果たしています。

また、総務省消防庁及び日本消防協会では、男女共同参画及び女性の持つきめ細やかなソフトな面を活かした予防・防災活動を推進するため、女性消防団員１０万人確保事業を実施し、女性の加入促進に努めています。

近年、高齢化・過疎化による災害弱者の急増と消防団員のサラリーマン化により、昼間における消防力の低下、災害時における犠牲者の増加が問題となっています。このことから火災予防の指導や広報など、災害発生前の活動を積極的に推進するため、令和６年４月１日現在、久万高原町では２１名の女性消防団員を任用し、女性の特性を活かした啓蒙活動を実施しています。

その他にも新任消防団員の資質の向上、幹部団員の防災指導力の強化等、各職責に応じた講習会等を実施し、消防団全体の総合力向上に努めています。

<消防団員の状況>

消防団数	条例定数	現 在 員 数							
		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
1	600	1 (-)	4 (-)	10 (-)	10 (-)	31 (-)	86 (2)	417 (19)	559 (21)

(女性団員)

<令和６年度中の活動状況>

区 分	火 災	風 水 害 (雪害含む)	遭難・捜索	年 末 警 戒	演 習 訓 練
出 動 回 数	4 件	2 件	1 件	4 日間	5 件
出動延人数	183 名	82 名	107 名	954 名	327 名

久万高原町消防警察搜索推進協議会

平成 7 年 11 月 28 日発足

〔結成の趣旨〕……円滑な業務のために

近年、久万高原町内にあっては、高齢化が著しく、これに伴い高齢者の行方不明事案等がみられるほか、登山・レジャー等による山岳地域での遭難事案が発生している。

これらの行方不明者等の生命、身体を保護することは、行政・消防・警察共通の目的であることから、関係機関相互の連携を図り円滑な業務の遂行によって、住民等の付託に応えようとするもの。

＜構成団体等＞

- 久万高原町(町長)
- 久万高原町消防本部(消防長)
- 久万高原町消防団(団長)
- 久万高原警察署(署長)

＜出動対象事項＞

- (1) 久万高原町内において発生した
 - ・住民及び滞在者の行方不明事故
 - ・住民及び滞在者の遭難事故とし、住民及び滞在者から救助要請のあった場合とする。
- (2) 犯罪関係者の搜索については、その都度関係機関で協議する。

＜支援依頼要請＞

- (1) 住民および滞在者から、第一次的に救助要請を受理した機関の長が、他の機関の支援を必要と判断した時点で出動要請を行うものとする。
- (2) 搜索推進協議会は、警察署への搜索願が提出された後に開催することを基本とするが、特に人命危険を伴う事案の場合、夜間であっても早期に搜索推進協議会を開催し、今後の対応等について協議するものとする。
ただし、搜索現場の状況や家族等の意向を踏まえ、搜索推進協議会を開催しない場合もある。

＜出動人員＞

- (1) 出動人員については、各機関の協議で決定する。
- (2) 各機関の出動人数等は、各機関の状況により決定する。
- (3) 消防団の出動人員については、搜索範囲・場所等により決定する。

＜出動日数＞

出動日数は、基本的には搜索を開始した時点より 3 日間とするが、事案に応じた機関の長が協議して決定する。

＜出動費用＞

出動に要した費用については、各機関によるものとし、基本的には住民及び滞在者に請求しないものとする。

救急体制

高齢化社会の進展や生活習慣の多様化などの要因による疾病構造等の変化から、国民の救急業務に対する期待や需要は増大しています。これらの要望に応えるため、救急隊員のレベルアップ及び救急活動の質の向上を目的にメディカルコントロール体制（医師による医療行為の保障）が整備され、自動体外式除細動器（AED）による除細動の実施や、救急救命士による気管挿管・救急薬剤（アドレナリン）投与、更に処置拡大に伴い、新たに、血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与・心肺機能停止前の静脈路確保と輸液など、救命処置の高度化が図られています。

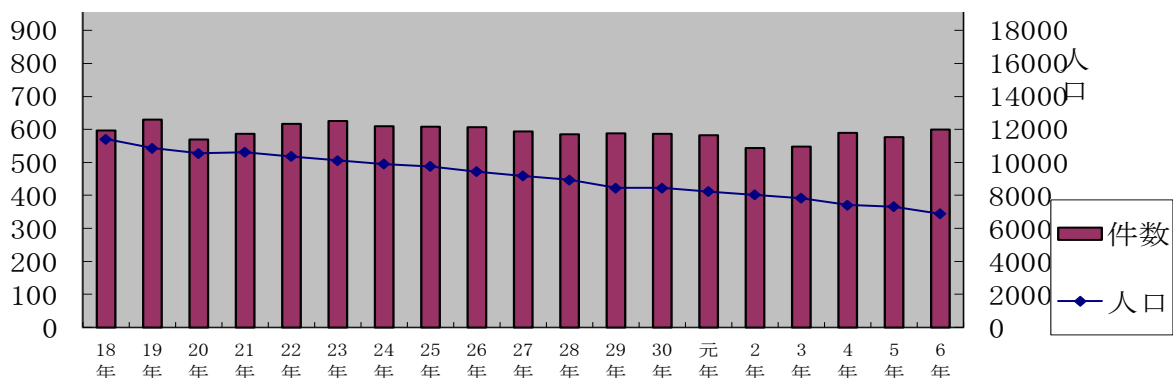
こうした状況に対応するため、当消防本部では、救急救命士及び救急隊員の養成、救急救命士の認定教育や救急救命士再教育など、救急隊員の育成と救急体制の強化、町民に対する応急手当の普及啓発、緊急電話受信時に行う応急手当の口頭指導、多数の人が集まる施設へのAEDの設置、消防防災ヘリコプター、ドクターヘリ及びドクターカーを活用した救急搬送など、プレホスピタル・ケア（救急現場及び医療機関への搬送途上における応急処置をいう）の向上に努めています。

〔救急出場状況〕・・・600 件（1日あたり 1.64 件の出場）

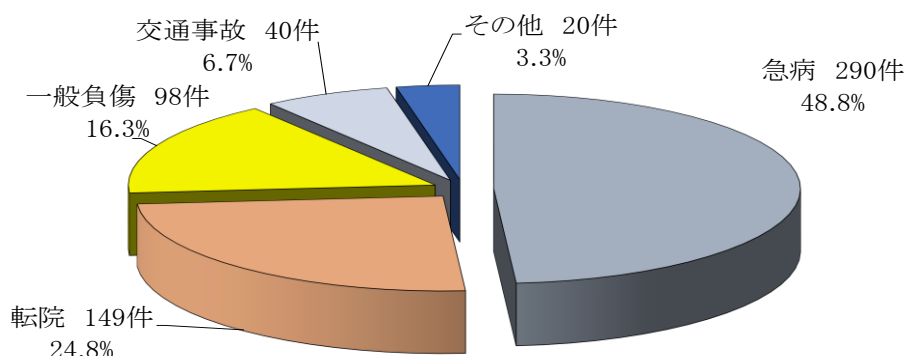
令和 6 年中の救急出場件数は 577 件で、前年より 23 件(4.0%)の増加、搬送人員は 572 人で 26 人(4.8%)の増加となっています。

また、救急出場を事故種別ごとにみると、最も多いのは急病 293 件(48.8%)、以下、転院搬送 149 件(24.8%)、一般負傷 98 件(16.3%)、交通事故 40 件(6.7%)、その他 20 件(3.3%)となっています。

＜過去 16 年間の人口と救急出場件数＞



＜令和 5 年中の事故種別救急出場件数＞



* その他 20 件の内訳

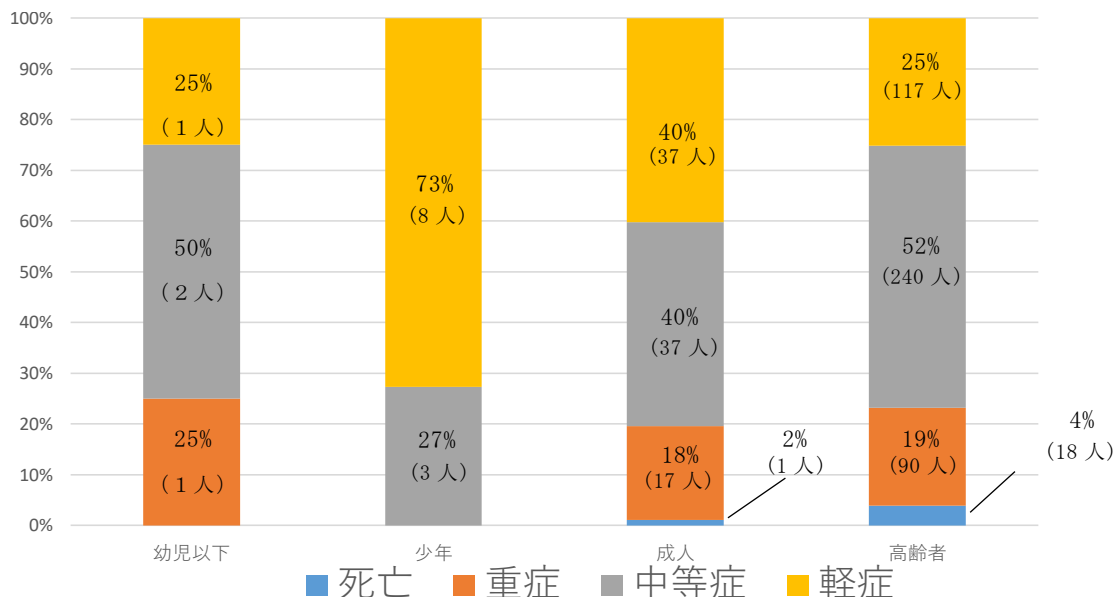
火 災 1 件
 労働災害 9 件
 加害行為 1 件
 自損行為 2 件
 運動競技 3 件
 水 難 1 件
 そ の 他 3 件

〔救急隊の活動状況〕・・・高齢者、重症傷病者への処置・搬送割合が高い

- ① 令和 6 年中の救急出場 1 件あたりの出場から救急事故現場までの平均所要時間（転院搬送を除く）は、13.5 分（全国平均 10.0 分）、覚知から医療機関等に収容するまでの平均所要時間は、59.6 分（全国平均 45.6 分）となっており全国平均を大きく上回っています。救急隊が行った応急処置の状況をみると、酸素吸入（138 件）が最も多く、以下、保温（115 件）、固定（48 件）、被覆処置（40 件）、気道確保（23 件）、止血処置（13 件）の順となっています。さらに、観察の内訳を見ると、血中酸素飽和度測定（563 件）、血圧測定（549 件）、心電図測定（213 件）、心音呼吸音の聴取（42 件）などとなっています。
- ② 搬送者数 572 人のうち、高齢者が 465 人と全体の約 81.3%を占めています。また、令和 6 年中の年齢区分別の傷病程度を見ると、年齢が高くなるに従って重症・中等症の割合が高く、高齢者（65 歳以上）の重症・中等症は搬送人員全体の約 68.1%を占めています。

今後さらに高齢化が進み、継続して増加する高齢者救急に対し、質の良い救急活動を行うとともに、関係機関と連携し、効率的な救急医療体制構築に取り組む必要があります。

＜年齢区分別傷病程度の状況＞



幼児以下：新生児（生後 28 日未満）、
乳幼児（生後 28 日～7 歳未満）
少年：7 歳～18 歳未満
成人：18 歳～65 歳未満
高齢者：65 歳以上

〔応急手当の普及〕・・・AED設置 67 施設

当消防本部では管内の地理的条件等により、119 番通報から救急隊が現場到着するまでに 13.5 分（転院搬送を除く）を要しており、呼吸停止・脈拍停止・大出血等といった生命に重大な危機が訪れた場合一刻も早い救命処置の開始が傷病者の予後を左右することとなり、現場に居合わせた住民による適切な救命処置が救命率向上のため最も重要であると言えます。平成 16 年 7 月 1 日から、非医療従事者による AED（自動体外式除細動器）の使用が可能となったことから、普通救命講習を開始し、令和 6 年 3 月 31 日までに延べ 6,760 名が受講・修了しています。普通救命講習の主な受講者は、学生、女性防火クラブ員・地域住民・各種団体関係者となっており、特に中学校においては、毎年救急講習が行われており、知識・技術の維持に重要とされる反復訓練が行える体制が確立されています。これにより、小学生から実施している入門コースとあわせて生涯教育の一環として位置付け、命の尊さを理解するとともに救命技能の向上が期待できるものと考えています。

また、AEDは薬機法に規定する高度管理医療機器及び特定保守管理医療機器に指定されており、適切

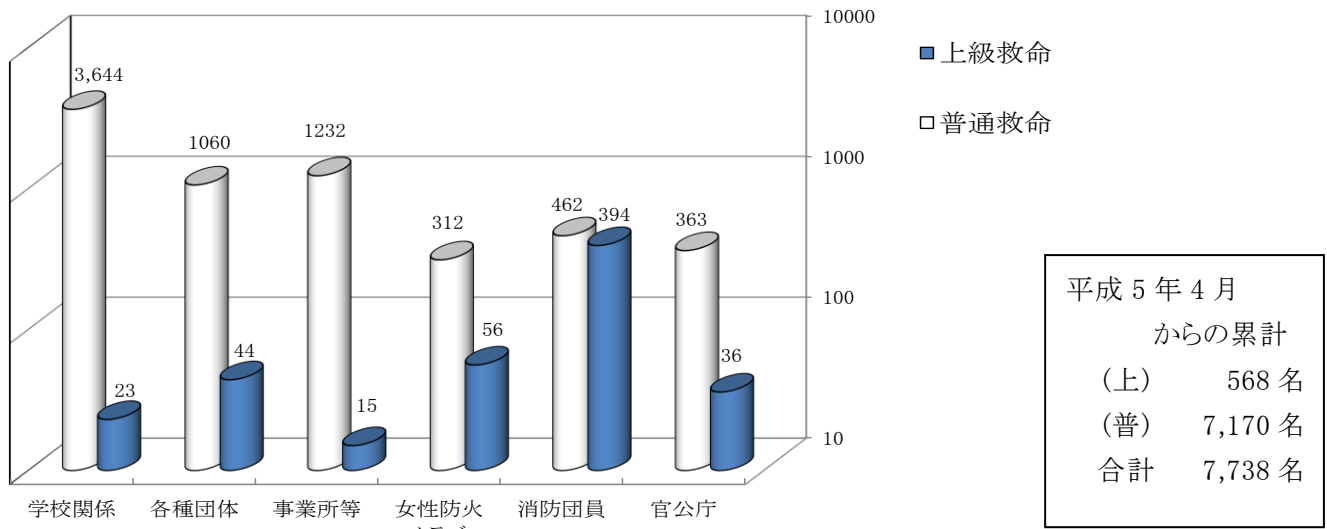
な管理が行われなければ、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある医療機器です。これらのことを踏まえ、AEDを使用する際には、その取扱いの習得と普段の適切な維持管理が必要であること等、設置施設の管理者、従事者等に理解と協力を求め、現在では管内の 67 施設にAEDが設置されています。

また、久万高原町内で開催される各種イベント等において使用できるよう貸出可能なAEDを整備し、貸出事業を行い救命率の向上を図っています。

<AED(自動体外式除細動器)の設置状況> 67 施設

地区	施設名	地区	施設名	地区	施設名	地区	施設名
久万	役場「本庁」	久万	久万高原ふるさと旅行村	久万	久保建設	面河	面河小学校
久万	久万 B&G 海洋センター	久万	畑野川歯科	久万	石丸建設	面河	おもご高齢者生活支援ハウス
久万	養護老人ホーム「ささゆり荘」	久万	久万高原警察署	久万	くま安心館	面河	若山集会所
久万	老人保健施設「あけぼの」	久万	四国電力久万営業所	久万	グループホーム「サマリア」	面河	相ノ峰公民館
久万	久万高原町産業文化会館	久万	久万こども園	久万	グループホーム「メサイア」	面河	消防団多機能車両
久万	久万高原町教育委員会	久万	伊予銀行久万支店	久万	久万保健センター	面河	面河診療所
久万	久万小学校	久万	松山市農協久万支所	久万	まちなか交流館	面河	面河山岳博物館
久万	直瀬小学校	久万	うつのみや内科				
久万	明神小学校	久万	高橋歯科医院	美川	役場「美川支所」	柳谷	役場「柳谷支所」
久万	父二峰小学校	久万	わたなべ歯科医院	美川	美川小学校	柳谷	吉村内科
久万	畑野川小学校	久万	IC ランド土居	美川	仕七川小学校	柳谷	古味集会所
久万	久万中学校	久万	道の駅天空の郷さんさん	美川	美川中学校	柳谷	柳谷小学校
久万	上浮穴高等学校	久万	久万カントリークラブ	美川	岩屋寺	柳谷	四国電力面河発電所
久万	久万高原町立病院	久万	高原ゴルフ倶楽部	美川	仕七川駐在所	柳谷	消防団多機能車両
久万	父二峰診療所	久万	入野福祉館	美川	小椋商店	柳谷	中津公民館
久万	国民宿舎「古岩屋荘」	久万	農業公園アグリピア	美川	美川中学校「若竹寮」		
久万	久万スキーランド	久万	県中予地方局	美川	みかわクリニック		
久万	県林業センター	久万	大宝寺	美川	久万高原町社会福祉協議会		

<上級・普通救命講習受講人数>



<普通・上級救命講習実施状況>

区 分		学 校	女性防火クラブ	官公庁	消防団	会 社 事業所	地 域 自主防	各種団体	合 計
普 通	回数	5	1	-	-	12	-	7	25 回
	人員	161	7	-	-	153	-	89	410 人
上 級	回数	-	-	-	-	-	-	-	- 回
	人員	-	-	-	-	-	-	-	- 人

[救命率の向上]・・・救急救命士・高規格救急自動車の運用から 25 年

当消防本部(旧上浮穴消防本部)においては、平成 8 年 1 月から救急救命士 1 名により救命処置の行える高規格救急自動車 1 台の運用を開始し、令和 7 年 3 月 31 日現在、救急救命士 11 名、救急科修了者 24 名と高規格救急自動車 4 台で救急隊の運用を行っています。

<救急隊員の資格状況>

項目・名称	救急救命士	救 急 科	救急Ⅱ課程	合 計
資格者数	18	23	1	42 名
運用者数	11	23	1	35 名

〔救急救命士の状況〕・・・12名の救急救命士が活動中(救急救命士有資格者は18名)

救急隊員が救急救命士の資格を取得するためには、救急科(救急Ⅰ課程＋救急Ⅱ課程)の教育訓練を受けたものが、救急救命士養成課程(5年以上又は2,000時間以上の実務経験を有する救急隊員に対する835時間以上の教育訓練)を修了した後、国家試験に合格し厚生労働大臣の免許を受ける必要があります。

このようにして、資格を取得した救急救命士の行う救急救命処置の範囲が、平成4年3月に厚生省より示されました。その後、救急救命士の業務のあり方に関する検討がなされ、平成15年3月及び平成26年1月に救急救命処置の範囲の改正が行われ、救急救命士の行う救急救命処置として、医師の包括的指示を受けて行う行為と具体的指示を受けて行う5項目が定められています。

1. 医師の包括的指示に基づくもの(抜粋)

- ① AED(自動体外式除細動器)による除細動
- ② 血糖値測定

2. 医師の具体的指示に基づくもの

- ① 乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液
- ② 食道閉鎖式エアウェイ、ラリングアルマスク又は気管内チューブによる気道確保
- ③ 救急薬剤(アドレナリン1剤)の投与
- ④ 心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液
- ⑤ 低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与

〔救急業務高度化教育〕・・・救急隊員・救急救命士の教育

当消防本部では町民の負託にこたえるため、救急業務高度化計画に基づき、計画的に(一財)救急振興財団救急救命研修所や消防学校救急科、消防大学校救急科、救急隊員養成教育等に派遣しています。

また、メディカルコントロール体制のもと、救急救命士就業前研修や救急救命士再教育、さらには救急救命士気管挿管実習として、指定医療機関等に派遣し救急隊員の資質の向上に努めています。

〔メディカルコントロール〕・・・医学的観点から応急処置等の質を保障

救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置などの質を向上させ、救急業務の更なる高度化を推進するため、県に「愛媛県メディカルコントロール協議会」、東・中・南予に「地域メディカルコントロール協議会」を設置しメディカルコントロール体制の充実が図られています。

1. メディカルコントロール体制とは、消防機関と医療機関との連携による以下の体制を言います。

- ① 救急隊が現場からいつでも迅速に医師に指示・指導・助言が要請できる。
- ② 救急活動時の医学的判断・処置について医師が事後検証を行い、その結果を再教育に活用する。
- ③ 救急救命士の再教育として医療機関において定期的に病院実習を行う。

2. これらメディカルコントロール体制の整備に伴い、救急救命士の救命処置拡大も推進されました。

- ① 気管挿管は、平成16年7月から講習及び病院実習を修了した救急救命士により実施が可能となり、平成16年度から消防学校並びに実習病院に派遣し養成を行い、令和7年3月31日現在11名の認定救急救命士が活動しています。
- ② 薬剤投与は、平成18年4月から救急救命士による救急薬剤(アドレナリン)の使用が可能となりました。

しかし、薬剤の使用には高度な専門性を有する講習を修了する必要があるため、平成 18 年度から、救急振興財団救急救命九州研修所及び広島市消防局に派遣、教育と病院実習を修了し、令和 7 年 3 月 31 日現在 11 名の認定救急救命士が活動しています。

- ③ AED(自動体外式除細動器)による除細動は、平成 16 年 7 月に示された厚生労働省告示により、非医療従事者も可能になったことを受け、救急救命士を除く消防職員に研修を行い救急現場での実施が可能となりました。

これらに併せて、当消防本部では管内の救急告示医療機関との連携をますます強化し、メディカルコントロール体制の整備に合わせた資器材の導入やシステムなどの構築を推進するとともに、救急救命士を含む救急隊員のレベルアップや資質の向上に努めています。

- ③ 心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与は、平成 26 年 1 月 31 日から必要とされるカリキュラムを修了した救急救命士により実施が可能となり、令和 7 年 3 月 31 日現在 11 名の認定救急救命士が活動しています。

〔ヘリ救急への取り組み〕・・・消防防災ヘリと愛媛県ドクターヘリ運航

久万高原町は石鎚山系を含む山間地域で広大な面積を有することから、救急現場から医療機関への傷病者搬送に長時間を要するケースが多く、緊急性や重症度の高い傷病者の搬送に搬送時間の短縮や高次医療機関への早期搬送に威力を発揮するヘリコプターの活用を図ることは重要です。さらに、この消防防災ヘリコプターに医師が同乗することにより、傷病者を早期に医師の管理下に置き医療が開始されることから、傷病者の救命や予後の向上に有用であることは疑うべくもありません。

このことから、平成 15 年 1 月に、管内の地理的条件や傷病者の傷病状態を考慮した「消防防災ヘリコプター救急運用マニュアル」を作成し、愛媛県防災航空事務所をはじめ、愛媛県立中央病院・愛媛大学医学部附属病院救急部を含む関係機関の協力のもと、消防防災ヘリコプターでの救急搬送(医師同乗含む)の運用を実施しています。

また、愛媛県においても平成 21 年 8 月 20 日より愛媛県消防防災ヘリコプターのドクターヘリ運航が開始、平成 29 年 2 月 1 日からは、愛媛県ドクターヘリの運航が開始され、早期に医師による治療を開始し医療機関に搬送を行い救命率の向上及び後遺障害の軽減を図り、傷病者の利益を第一とすることを目的として運航されています。

〔ドクターカーとの連携〕・・・愛媛県立中央病院のドクターカー運行

平成 22 年 3 月より、愛媛県立中央病院が「ドクターカー」の運行を開始しました。当消防本部においても、ドクターヘリ(的)運航ができない場合や、転院搬送時における傷病者の急変などを視野に入れ、ドクターヘリ(的)運航と同様に有効活用を図っています。

〔救急需要への対応〕

全国的に救急出動件数は増加傾向が続いています。高齢化の進展等により救急需要は今後も増大する可能性が高いことが示されており、救急活動の延伸を防ぐとともに、これに伴う救命率の低下を防ぐための対策として、①軽症利用者等への代替措置の提供(民間の患者搬送事業者などの活用)、②転院搬送業務への病院救急自動車の活用、③119 番受信時及び救急現場における緊急度・重症度の選別(トリアージ)、④電話相談「救急安心センター事業(＃7119)」⑤住民による緊急度判定を支援する全国版救急受診アプリ「Q助(きゅーすけ)」などが推進されています。

久万高原町の救急件数は、過疎化や少子・高齢化が進展しているものの横ばい状態にあり、人口減少は続

いているが高齢化や独居化及び住民意識の変化に伴い、今後しばらくは横ばい状態を示すものと考察されます。このような状況の中、当消防本部においては、救急搬送全体に占める転院搬送の割合(27.2%)が大きいことから、2 台以上の救急車が町外へ転院搬送に出場した場合、町内の救急対応に苦慮することが考えられます。

このことから、医療機関の理解を得ながら、町内の救急対応に不備が生じないよう手段を講じるとともに、民間患者搬送事業者等の活用も考慮するなど、真に緊急を要する傷病者への対応の遅れや救命率に影響が出ないよう努めることが求められています。

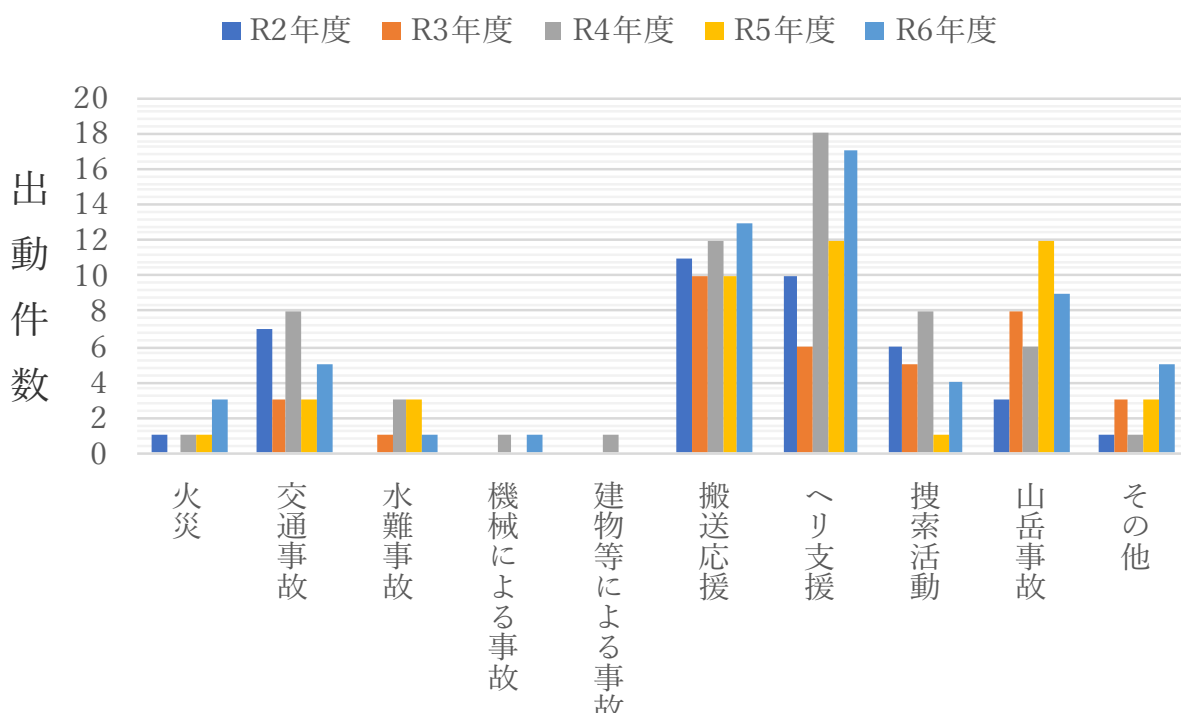
救助体制

近年、災害様態は大規模化または複雑多様化し、甚大な被害を及ぼす災害が全国各地で発生しています。これらの災害に対応するため、広域消防連携・協力体制の構築を目指し、他機関との合同訓練に参加しています。また救助隊員の訓練、教育を実施し、施設・設備の充実を図り、救助活動能力の向上に努めています。

〔救助出動の状況〕・・・主な出動として、救急搬送応援及びヘリ支援、山岳事故が挙げられる

令和6年中の救助活動状況は、救助出動件数62件、救助活動件数49件で救助人員は47人であり、特に救急搬送応援及びヘリ支援、山岳事故が多く、これらの活動は広大な面積、山岳地域を管轄する久万高原町における災害形態の特殊性が反映されています。（「救助出動統計」下記グラフ参照）

救助出動統計（過去5年間）



〔救助隊員の育成〕・・・専門的知識と技術の習得

救助隊員には、如何なる災害にも対応できる体力・精神力及び専門的知識・技術を身に付けることが不可欠です。当消防本部では、日々訓練に励み救助隊としてのチームワークと個々の能力向上を図っています。

また、消防大学校救助科及び愛媛県消防学校救助科へ職員を入校させ、指導者を育成し、救助隊として統制のとれた教育を実施しています。

〔消防防災ヘリコプターの活用方策〕・・・効果的な連携活動の重要性

令和6年中の防災ヘリ出動要請件数は山岳地帯における事故で10件となっており、山岳事故での防災ヘリによる救助活動は極めて有効なものとなります。あらゆる災害現場において防災ヘリを有効的に活用するため、定期的な合同訓練を実施し、地上隊として連携のとれた活動が展開できるよう救助技術のレベルアップに努めています。また、管内各地域にヘリポートを整備し、より効果的な運用ができる体制を構築しています。

（「救助編・ヘリコプター離着陸場一覧」P96 参照）

總務編

令和6年度おもな行事

4 月	1	辞令交付・職員会
	4	愛媛県消防長会春季総会
	4～9/20	愛媛県消防学校初任科入校式(2名)
	19	愛媛県消防協会中予支部役員会・理事会(松山市)
	24	愛媛県消防長会消防救助技術研修会(松山西消防署)
	25	愛媛県消防協会役員会・理事会
5 月	26	愛媛県予防事務担当者研修会
	8	令和6年度全国消防長会四国支部消防意見発表総会(香川県坂出市)
	14	行政経営改革推進本部会議
	16	愛媛県大会運営要員事前説明会(松山西消防署)
	17	第40回日本救急医学会中国四国地方会(広島県)
	19	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会総会及び防災研修
	22	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会理事会(県民文化会館)
	22	松山地区危険物安全協会通常総会(ホストホテル)
	26	春の火災防御訓練(消防団)
6 月	29	第76回全国消防長会総会(堺市)
	2～8	危険物安全週間
	2	直瀬地区土砂災害対応訓練
	4	中予地方局防災・減災対策連絡会
	6	第9回愛媛県消防救助技術大会(愛媛県消防学校)
	6	石鎚お山開き安全対策会議
	23	第8回久万高原町消防操法大会
	3	あいFIREワーキンググループ会議(松山市合同庁舎)
7 月	5	愛媛県消防長会違反是正推進連絡会及び住宅用火災警報器設置対策連絡会
	6	令和6年度中予地域MC協議会・研修会(松山市合同庁舎)
	16	令和6年度初任教育技術支援(愛媛県消防学校)
	20	中予地区消防長会公安職5機関合同職業説明会(松山市合同庁舎)
	23	令和6年度消防実務講習会(松山市合同庁舎)
	24	危険物保安監督者技術講習会(愛媛県男女共同参画センター)
	26	第52回四国地区消防救助技術指導会(徳島県消防学校)
	1	愛媛県消防長会違反是正研修会(東温市消防本部)
8 月	2	愛媛県消防長会火災調査担当者研修会(松山市合同庁舎)
	5～9	愛媛県消防学校初任教育実務研修
	13	第14回済生会松山病院症例検討会(済生会松山病院)
	26	愛媛県消防長会総務事務担当者研修会(松山市)
	29	消防広域化に関する四国ブロック説明会(高知県)
	1	愛媛県総合防災訓練(今治市)
9 月	7	初任教育訓練発表(愛媛県消防学校)
	7	＃7119・救急車適正利用啓発イベント(ニンジニアスタジアム)
	10	愛媛県消防防災航空隊合同訓練
	19	全国女性消防団員活性化大会(栃木県)
	20	消防学校初任科卒業式(愛媛県消防学校)
	27	警察合同危険物運搬車両査察
	30	愛媛県消防長会警防事務担当者研修会(松山市合同庁舎)
	2	四国支部総務担当者会議(徳島県)
10 月	3	全国消防長会四国支部予防事務担当者会議(松山市合同庁舎)
	4	松山圏域女性防火クラブ合同研修会(松山市合同庁舎)
	5	久万高原町総合防災訓練
	7	松山圏域災害医療対策会議

10 月	8	消防設備保守業務等実務研修会
	16	消防学校教育担当者会議(愛媛県消防学校)
	18	西部四国山地消防相互応援協定市町等連絡協議会(古岩屋荘)
	25	消防法令違反是正事例研究会(松山市合同庁舎)
	25	全国消防長会四国支部消防長研修会(高知市)
11 月	29	愛媛県火災調査相互応援火災調査研修会(松山市消防局)
	6	松山圏域火災予防研修夜間合同査察
	8	愛媛県消防長会救急事務担当者研修会(松山市合同庁舎)
	9	防火交通茶屋
	9～15	秋季全国火災予防運動
	15	愛媛県消防長会秋季総会・消防職員意見発表会(久万町民館)
	21	愛媛県消防長会通信事務担当者研修会(WEB)
	24	久万高原町合併20周年記念式典
	25～12/6	愛媛県消防学校「予防査察科」入校
	30	中予地区女性消防団員体力錬成レクバレー大会
12 月	1	消防職員採用試験
	1	第1回徳島MC協議会PEMECコース(徳島市)
	2	松山圏域火災予防業務研修(松山市)
	9～12/20	愛媛県消防学校「火災調査科」入校
	12	第27回全国消防救助シンポジウム(東京都)
	20～1/10	年末年始特別火災予防運動
	25～1/3	年末・年始火災予防特別警戒
	27～30	年末特別警戒(消防団)
	6	久万高原町消防本部仕事初め式町長年頭訓示
	8	地域自殺対策強化事業ゲートキーパー養成講座
1 月	10	消防職員ハラスメント防止研修
	10	消防防災ヘリコプター運航に係る会議(WEB)
	14～3/6	愛媛県消防学校「救急科」入校
	16	第47回防火ポスター・防火習字・硬筆コンクール審査会(久万高原町消防本部)
	18	愛媛県MC協議会症例検討会・東予地域MC協議会症例検討会(西条市)
	20	依存症対策地域連携強化事業研修会(中予地方局)
	27	文化財防火デー火災防ぎょ訓練(三島神社)
	30	令和6年度四国支部警防事務担当者会議(WEB)
	31	愛媛県女性防火クラブ連絡協議会(愛媛県民文化会館)
	1	第19回愛媛県MCLS標準コース(愛媛県立中央病院)
2 月	2	愛媛県災害医療研修MCLSマネジメントコース(愛媛県立中央病院)
	5	消防学校実火災体験型訓練施設研修入校
	6	松山圏域火災予防研修会(松山市)
	6	火災調査事例報告会(松山市合同庁舎)
	7	4機関女性職員交流会(愛媛県警察学校)
	10	危険物規制事務担当者説明会(Web)
	11	第1回愛媛PEMECコース(西条市)
	13	全国消防長会四国支部消防法令違反是正事例発表会(徳島市)
	15	少年消防クラブ指導者交流会(東京都)
	15	中予地域MC協議会・研修会(松山市合同庁舎)
3 月	16	久万高原町消防団出初式
	18～19	県警・西条・四国中央・久万高原警察冬山合同山岳訓練
	25	令和6年度松山圏域感染症対策連携協議会(中予地方局)
	1～7	春季全国火災予防運動
	3	第2回松山圏域災害医療対策会議
	3	中予ブロック地区合同救急医療対策協議会(松山市医師会館)
	4	第1回愛媛県ドクターヘリ症例検討会(愛媛県立中央病院)
	11	第2回久万高原町虐待防止対策連絡協議会(産業文化会館)
	25	済生会松山病院救急医療に係る症例検討会(済生会松山病院)

職員の年齢別状況

階級 年齢	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	その他	計	1	2	3	4	5	6
18	-	-	-	-	-	-	-	-						
19	-	-	-	-	-	2	-	2						
20	-	-	-	-	-	2	-	2						
21	-	-	-	-	-	1	-	1						
22	-	-	-	-	-	1	-	1						
23	-	-	-	-	-	-	-	-						
24	-	-	-	-	-	2	-	2						
25	-	-	-	-	-	1	-	1						
26	-	-	-	-	-	-	-	-						
27	-	-	-	-	-	-	-	-						
28	-	-	-	-	3	-	-	3						
29	-	-	-	-	1	-	-	1						
30	-	-	-	-	-	-	-	-						
31	-	-	-	1	-	-	-	1						
32	-	-	-	1	-	-	-	1						
33	-	-	-	-	-	-	-	-						
34	-	-	-	1	-	-	-	1						
35	-	-	-	3	-	-	-	3						
36	-	-	1	2	-	-	-	3						
37	-	-	-	-	-	-	-	-						
38	-	-	3	-	-	-	-	3						
39	-	-	-	-	-	-	-	-						
40	-	-	-	-	-	-	-	-						
41	-	-	1	-	-	-	-	1						
42	-	-	-	-	-	-	-	-						
43	-	-	1	-	-	-	-	1						
44	-	-	1	-	-	-	-	1						
45	-	-	-	-	-	-	-	-						
46	-	-	2	-	-	-	-	2						
47	-	-	1	-	-	-	-	1						
48	-	1	1	-	-	-	-	2						
49	-	-	-	-	-	-	-	-						
50	-	1	-	-	-	-	-	1						
51	-	1	-	-	-	-	-	1						
52	-	2	-	-	-	-	-	2						
53	-	2	-	-	-	-	-	2						
54	-	1	-	-	-	-	-	1						
55	-	-	-	-	-	-	-	-						
56	-	2	-	-	-	-	-	2						
57	-	-	-	-	-	-	-	-						
58	-	-	-	-	-	-	-	-						
59	-	-	-	-	-	-	-	-						
60	-	-	-	-	-	-	-	-						
61	-	-	-	-	-	-	-	-						
62	1	-	-	-	-	-	-	1						
人員数	1	10	11	8	4	9	-	43						
平均年齢	62	52.2	42.3	34.3	28.3	21.6		37.9						

消防職員研修状況

年度別 研修内容		H26 以前	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計
消防大学校	本科	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	幹部科(上級幹部科)	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7
	警防科	4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
	予防科	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	救急科	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	救助科	6	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7
	火災調査科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5
愛媛県消防大学校	初任教育	76	-	3	-	2	1	4	1	2	2	2	93
	初級幹部科	18	1	1	1	-	-	1	-	1	1	-	24
	警防科	13	1	1	1	1	1	-	-	-	1	-	19
	予防科	29	1	1	1	1	1	-	1	-	-	1	36
	救急科(救急標準課程・救急科)	24	-	3	-	1	1	3	2	2	2	2	40
	救助科	17	1	1	-	-	1	-	-	-	1	-	21
	火災調査科	27	1	1	1	1	1	1	1	-	-	1	35
山岳遭難救助研修		11	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	12
救急救命士養成所		16	1	1	1	1	1	1	1	1	-	1	25
赤十字水上安全法講習会		17	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
日本救急医学総会/日本臨床救急医学総会		22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
日本救急医学会中国四国地方会		23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
病院研修 救急救命士現任研修 追加研修・就業前研修		164	11	11	10	12	12	-	12	8	-	4	244
合	計	486	19	24	16	19	19	10	19	15	9	11	647

消防職員特殊技能有資格状況

資格種別	階 級	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
自動車普通免許一種		1	10	11	8	4	9	43
大型自動車免許一種		1	10	11	8	4	2	36
大型特殊自動車免許		-	1	2	-	-	-	3
自動二輪自動車免許		-	5	6	4	2	2	19
ショベルローダー等運転技術者		1	1	-	-	-	-	2
消防設備士乙1		-	2	-	-	-	-	2
消防設備士乙4		-	2	1	-	-	-	3
消防設備士乙5		-	2	1	-	-	-	3
消防設備士乙6		-	3	4	3	-	-	10
消防設備士乙7		-	-	1	1	-	-	2
消防設備点検資格者(第1種・2種)		-	-	1	-	-	-	1
危険物取扱者甲種		-	-	1	-	-	-	1
危険物取扱者乙1		-	4	3	3	1	-	11
危険物取扱者乙2		-	5	4	1	-	-	10
危険物取扱者乙3		-	5	3	2	-	-	10
危険物取扱者乙4		-	9	9	6	4	-	28
危険物取扱者乙5		-	4	3	2	-	-	9
危険物取扱者乙6		-	7	5	1	1	-	14
防災士		1	10	6	2	-	-	19
特殊無線技士乙・第3級陸上		1	10	11	8	4	5	35
救急隊員資格Ⅱ課程・標準課程		1	10	10	8	3	1	33
救急救命士		1	7	6	3	1	-	18
JPTecプロバイダー・インストラクター		-	4	5	1	1	-	11
ACLSプロバイダー・インストラクター		-	1	-	-	-	-	1
MCLSプロバイダー・インストラクター		1	3	2	1	2	-	9
日赤救急法指導員		-	1	-	-	-	-	1
日赤水上安全法救助員		1	5	2	3	-	-	11
酸素欠乏危険作業主任者		-	1	3	2	-	1	7
玉掛け技能講習会		-	2	4	-	-	-	6

予算概況

〔消防予算(当初)〕

(各年度) [単位：千円]

年 度	消 防 費	目 別 内 訳			
		常備消防費	非常備消防費	消防施設費	災害対策費
R2	1,083,763	311,412	57,509	107,364	607,478
R3	521,334	318,578	57,224	122,431	23,101
R4	450,009	319,140	57,567	36,251	37,051
R5	473,186	316,610	53,564	76,539	26,473
R6	443,179	342,454	54,865	14,114	31,746
R7	459,125	351,513	52,593	21,185	33,834

〔一般会計予算(当初、決算)に対する消防費と負担比較〕

(各年度)

年度	区分	一 般 会 計 (千円)	消 防 費 (千円)	構成比 (%)	消 防 費 に 対 す る	
					住民 1 人* 当たり額(円)	1 世帯* 当たり額(円)
R2	当初	9,414,923	1,083,763	11.5	134,931	248,456
	決算	9,454,766	513,259	5.4	63,902	117,666
R3	当初	9,438,346	521,334	5.5	66,599	121,722
	決算	10,507,567	899,639	8.6	114,926	210,049
R4	当初	9,303,229	450,009	4.8	59,494	107,375
	決算	9,821,134	544,824	5.5	72,029	129,999
R5	当初	8,978,287	473,186	5.3	64,564	115,977
	決算	9,826,417	471,192	4.8	64,428	115,733
R6	当初	8,901,216	443,179	5	62,693	111,576
R7	当初	9,279,101	459,125	4.9	67,528	117,664

※人口及び世帯数は、当該年度の4月1日現在の住民基本台帳登録人口の数値にて計算

予 防 編

年間の主な行事

実施月日	行 事 名	内 容
5月19日	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会	女性防火クラブの活動について協議しました。
6月2日～ 6月8日	危険物安全週間	危険物関係事業所に対する査察の実施及び予防広報により、危険物の保安に対する意識の高揚啓発に努めました。
11月9日～ 11月15日	車両による広報	期間中、管内を巡回し、火災予防広報を実施しました。
	ポスター 掲示	火災予防桃太郎旗の設置及び、防火ポスターを公共施設、事業所等に配布しました。
	放送による広報	期間中、防災行政無線により予防広報を実施しました。
	防災教室の実施	学校・事業所・地域を対象に通報・避難・消火訓練等を実施しました。
	立入検査の実施	防火対象物の立入検査を実施しました。
11月1日～ 11月22日	一人暮らしのお年寄り宅防災診断	管内の一人暮らしのお年寄り世帯(75歳以上363戸)を対象に、火気使用設備の状況確認や危険箇所の是正、健康状況の調査及び災害予防のための調査・指導を実施、併せて住宅用火災警報器の設置推進活動を実施しました。
11月1日～ 11月29日	移動タンク等立入検査の実施	危険物安全週間中に立入検査できなかった事業所及び立入検査時に指摘事項があった事業所から選定して実施しました。
12月20日～ 1月10日	年末年始火災予防特別運動	一般住民の防火意識の高揚を図り、「火災の未然防止」「早期発見」「被害の軽減」を目的に、年末・年始火災予防特別運動を実施しました。
1月16日	防火ポスター・習字コンクール	小・中学生よりポスターの部209点・防火習字・硬筆の部227点の応募があり150名を表彰しました。表彰作品については管内各施設で展示会を実施しました。
3月1日～ 3月7日	ポスター 掲示	秋季火災予防運動に同じ。
	放送による広報	
	防災教室の実施	
	立入検査の実施	
	後期高齢者夫婦世帯等防災診断 (3月1日～3月14日)	管内の後期高齢者夫婦世帯等(211戸)を対象に、火気使用設備の状況確認や危険箇所の是正、健康状況の調査及び災害予防のための調査・指導を実施、併せて住宅用火災警報器の設置推進活動を実施しました。

危険物施設数

(完成検査済証交付施設)

製造所等の別 数量の別	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
	屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	小 計	給 油	一 般	小 計	
5 倍以下	1	1	1	6	2	10	-	21	2	1	3	24
5 倍をこえ 10 倍以下	1	4	-	1	-	-	-	6	2 (2)	-	2	8
10 倍をこえ 50 倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	3 (3)	2	5	5
50 倍をこえ 100 倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	5	5
100 倍をこえ 150 倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	3
150 倍をこえ 200 倍以下	-	-	-	-	-	-	-	-	2 (1)	-	2	2
200 倍をこえ 1000 倍以下	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1
合 計	2	5	1	8	2	10	-	28	16 (6)	4	20	48

※ () 内は、給油取扱所のうち自家用を表記。

危険物関係事務の処理状況

施 設 別 種 類 別	貯 蔵 所								取扱所			合 計
	屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	小 計	給 油	一 般	小 計	
設 置 許 可	1	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	3
変 更 許 可	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	3
設 置 完 成 検 査	1	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	3
変 更 完 成 検 査	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	3
予 防 規 程 の 認 可	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仮貯蔵・仮取扱承認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仮使用の承認	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1
廃 止 届	1	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	2
譲 渡 引 渡 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
種 類 数 量 変 更 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
変 更 届	-	-	-	2	-	-	-	2	3	-	3	5
保安監督者選・解任届	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	2	3
取扱者選・解任届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
休 止 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再 開 届	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 の 届	-	-	-	5	-	2	-	7	2	1	3	10
合 計	3	-	-	8	-	7	-	18	13	2	15	33

危険物手数料の徴収状況

(単位:円)

区 分 \ 地区別	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	計
設 置 許 可	72,000	-	-	-	72,000
変 更 許 可	26,000	26,000	26,000	-	78,000
設 置 完 成 検 査	36,000	-	-	-	36,000
変 更 完 成 検 査	13,000	13,000	13,000	-	39,000
完 成 検 査 前 検 査	-	11,000	-	-	11,000
仮貯蔵・仮取扱	-	-	-	-	-
仮 使 用	-	-	5,400	-	5,400
合 計	147,000	50,000	44,400	-	241,400

危険物施設に対する査察状況

製造所等の別 \ 査察実績	施設数	査察回数(延べ)
屋 内 貯 蔵 所	2	2
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	5	4
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	8	8
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	2	2
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	10	10
屋 外 貯 蔵 所	-	-
給 油 取 扱 所	16	16
一 般 取 扱 所	4	4
合 計	48	47

防火対象物数・立入検査状況

地区別 防火対象物の区分		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	久万高原町	立入検査
1	イ 劇場・映画館・演芸場	1	－	－	－	1	－
	ロ 公会堂・集会場	19	7	5	5	36	7
2	イ キャバレー・カフェー・ナイトクラブ	－	－	－	－	－	－
	ロ 遊技場・ダンスホール	－	－	－	－	－	－
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等	－	－	－	－	－	－
	ニ カラオケボックス等	－	－	－	－	－	－
3	イ 待合・料亭の類	－	－	－	－	－	－
	ロ 飲食店	4	－	－	－	4	1
4	百貨店・マーケット・店舗・展示場	10	1	－	－	11	8
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所等	9	3	2	2	16	2
	ロ 寄宿舍・下宿・共同住宅	25	3	7	4	39	12
6	イ 病院・診療所・助産所	4	－	1	1	6	4
	ロ 老人児童等福祉施設・厚生施設	9	－	－	－	9	6
	ハ 老人サービスセンター	6	1	1	1	9	4
	ニ 幼稚園・養護学校・盲学校	4	－	2	－	6	5
7	小中学校・高等学校・各種学校	21	－	9	2	32	26
8	図書館・博物館・美術館	6	1	－	－	7	2
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場	－	－	－	－	－	－
	ロ 公衆浴場	2	－	－	－	2	1
10	車輦の停車場	－	－	－	－	－	－
11	神社・寺院・教会	5	－	1	－	6	1
12	イ 工場・作業場	37	2	8	1	48	20
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ	－	－	－	－	－	－
13	イ 自動車車庫・駐車場	3	－	1	－	4	1
	ロ 飛行機等の格納庫	－	－	－	－	－	－
14	倉庫	33	2	2	1	38	16
15	官公署・銀行・その他の事業所	72	2	11	17	102	31
16	イ 特定の複合用途防火対象物	27	5	8	4	44	12
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	13	1	3	－	17	5
17	重要文化財・重要美術品	2	－	3	－	5	2
合 計		312	28	64	38	442	166

消防用設備の設置状況

消防用設備別 防火対象物の区分			消火設備					警報設備				避難設備		定期 点 検
			消 火 器 具	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備 等	屋 外 消 火 栓 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	火 災 報 知 設 備 の 通 報 す る	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯	
1	イ	観覧場・劇場	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1
	ロ	公会堂・集会場	36	5	-	-	-	11	1	1	13	2	20	35
2	イ	キャバレー等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	遊技場等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ハ	性風俗関連店舗等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	イ	料理店等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	飲食店等	4	-	-	-	-	3	1	-	-	-	3	3
4		百貨店等	11	2	-	-	-	7	1	-	1	-	9	10
5	イ	旅館・ホテル等	16	6	-	-	-	16	2	5	2	6	16	6
	ロ	共同住宅等	30	-	-	-	-	4	2	-	1	-	1	27
6	イ	病院・診療所	6	-	1	-	-	3	-	3	2	-	5	5
	ロ	福祉施設	9	2	9	-	-	9	-	9	-	1	9	9
	ハ	デイサービス等	9	-	-	-	-	8	-	1	1	-	9	9
7	イ	幼稚園等	6	-	-	-	-	3	-	-	-	1	6	5
	ロ	学校等	28	14	-	-	1	26	6	-	4	3	1	30
8		図書館	4	2	-	-	-	4	2	-	1	1	1	5
9	イ	蒸気浴場等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	公衆浴場	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	2
10		車輛の停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11		神社・寺院	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2
12	イ	工場・作業場	45	8	-	1	-	20	-	-	-	-	1	33
	ロ	テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	イ	駐車場・車庫	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	ロ	飛行機の格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14		倉庫	34	3	-	-	-	8	-	-	-	-	1	24
15		その他の事業所	72	4	-	1	-	16	1	-	7	-	11	56
16	イ	特定含む混在	30	6	-	1	-	20	1	-	1	4	27	26
	ロ	その他の混在	11	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	10
17		重要文化財	5	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4
合 計			366	52	10	3	1	163	18	19	37	18	125	305

*任意設置については除外しています。

防火管理者の選任状況・消防計画の届出状況

区 分		内 訳	甲種防火対象物						乙種防火対象物					
			単一管理			複数管理			単一管理			複数管理		
			対象物数	選任済み	消防計画	対象物数	選任済み	消防計画	対象物数	選任済み	消防計画	対象物数	選任済み	消防計画
1	イ	劇場・映画館・演芸場	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-
	ロ	公会堂・集会場	18	17	17	-	-	-	18	15	14	-	-	-
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ハ	性風俗関連店舗等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	イ	待合・料亭の類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	飲食店	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4		百貨店・マーケット・店舗・展示場	6	5	5	1	1	1	1	1	1	-	-	-
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	10	10	10	-	-	-	3	3	3	-	-	-
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	イ	病院・診療所・助産所	4	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	老人児童等福祉施設・厚生施設	9	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ハ	ディサービスセンター等	5	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	幼稚園・養護学校・盲学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7		小中学校・高等学校・各種学校	4	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8		図書館・博物館・美術館	4	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	公衆浴場	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10		車輛の停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11		神社・寺院・教会	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	イ	工場・作業場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	飛行機等の格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14		倉庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15		官公署・銀行・その他の事業所	16	14	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	イ	特定の複合用途防火対象物	26	25	25	2	1	1	1	1	1	-	-	-
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17		重要文化財・重要美術品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計			108	102	102	3	2	2	24	21	20	-	-	-

各種届出事務の処理状況

種 別 \ 地 区 別		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	その他	合計
消 防 法 関 係	工事整備対象設備等着工届	-	-	-	-	-	-
	消 防 用 設 備 等 設 置 届	18	2	4	3	-	27
	消防用設備等点検結果報告	128	17	20	14	-	179
	防 火 管 理 者 選 任 届	30	6	10	7	-	53
	消 防 計 画 作 成 届	36	7	12	7	-	62
	L P G 等 貯 蔵 ・ 取 扱 届	-	-	-	-	-	-
火 災 予 防 条 例 関 係	防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	5	-	1	1	-	7
	ボ イ ラ ー ・ 炉 等 設 置 届	2	-	-	-	-	2
	発電・蓄電・変電設備設置届	4	1	3	1	-	9
	火災とまぎらわしい行為の届	177	3	31	3	-	214
	煙火の打ち上げ・仕掛け届	3	-	1	-	-	4
	道 路 工 事 届	20	26	25	15	1	87
	少量危険物・指定可燃物届	4	-	1	-	-	5
そ の 他	森 林 火 入 れ 許 可	-	-	-	-	-	-
	罹 災 証 明 等 交 付 申 請	3	-	2	-	-	5
合 計		430	62	110	51	1	654



クラブ広報編

幼年消防クラブ

久万こども園幼年消防クラブ

S 59. 4. 1 結成

★平成25年度 上浮穴郡纏会表彰を受ける。

★令和 3年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和6年度	活動報告	代表者	白川 真理	クラブ員	92名
4月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練)			
5月	定期避難訓練	(地震想定：消火訓練：紙芝居)			
6月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練：通報訓練)			
7月	定期避難訓練	(地震想定)			
8月	合同避難訓練	(火災想定：通報訓練：消火訓練) 3施設合同、消防署指導			
9月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練：消火器の設置場所確認)			
10月	定期避難訓練	(地震・火災想定：消火訓練)			
11月	定期避難訓練	(地震・火災想定：消火訓練：消火器の場所確認：防災クイズ)			
12月	定期避難訓練	(シェイクアウトえひめ/地震想定：消火訓練：通報訓練)			
1月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練：消火器の設置場所確認)			
2月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練)			
3月	定期避難訓練	(火災想定：消火訓練：通報訓練)			

直瀬幼年消防クラブ

S 59. 12. 1 結成

★平成27年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和6年度	活動報告	代表者	八木 伸浩	クラブ員	1名
4月	避難訓練				
6月	救急救命講習・防災訓練	(災害時の引き渡し訓練)			
10月	避難訓練				
冬休み中	わが家の防火点検				
1月	防火ポスター・習字制作				
2月	避難訓練				
通年	防災に関する学習				

畑野川幼年消防クラブ

H10. 7. 9 結成

★平成28年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和6年度	活動報告	代表者	船岡 良雄	クラブ員	5名
5月	避難訓練 火災想定	(幼年・少年合同)			
6月	救急救命講習	(幼年・少年合同)			
9月	避難訓練 地震想定	(幼年・少年合同)			
12月	シェイクアウトえひめ：地震想定	(幼年・少年合同)			

明神幼年消防クラブ

S 61. 2. 27 結成

★平成30年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和6年度	活動報告	代表者	稲垣 文	クラブ員	5名
4月	避難訓練 地震・火災想定	(避難経路の確認)			
6月	救命救急講習	(PTA活動)			
6月	避難訓練：土砂災害時				
11月	引き渡し訓練	(保護者参加)			
2月	避難訓練：不審者対応	(久万高原警察署)			

久万幼稚園幼年消防クラブ

H元. 7. 14結成

★平成29年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和6年度	活動報告	代表者 寺岡 続樹	クラブ員 20名
5月	避難訓練：火災想定（小学校合同）		
6月	救急救命講習		
7月	避難訓練：引き渡し訓練（小学校合同）		
10月	避難訓練：地震想定（小学校合同）		
12月	シェイクアウトえひめ：地震に対する避難訓練		

面河幼年消防クラブ

H12. 4. 1結成

★平成26年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和6年度	活動報告	代表者 相原 順治	クラブ員 4名
4月	全校避難訓練（幼年・少年合同）		
5月	令和6年度少年消防クラブ結団式		
9月	運動会案内状作り：防火と交通安全呼びかけ		
11月	防火交通茶屋プレゼント作り		
11月	防火交通茶屋：防火と交通安全呼びかけ（女性防火クラブ合同）		
12月	シェイクアウトえひめ：全校避難訓練（幼年・少年合同）		
12月～1月	わが家の防火点検：自宅の防火チェック		
3月	今年度の反省		

仕七川幼年消防クラブ

H3. 12. 4結成

★令和元年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和6年度	活動報告	代表者 竹本 明仁	クラブ員 8名
4月	避難訓練		
5月	少年消防クラブ結団式		
6月	救急救命講習：AED指導 参観日（消防署指導）		
6月	少年消防学習会（川での安全な遊び方について）		
11月	防火ポスター・習字制作（講師：高崎先生）		
12月	シェイクアウトえひめ：緊急地震速報訓練		
冬休み	わが家の防火点検		
3月	校内防火・防災点検：活動のまとめ		

柳谷幼年消防クラブ

H27. 6. 4結成

★令和2年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和6年度	活動報告	代表者 川本 孝	クラブ員 4名
6月	防災用品の整備（非常用水の購入）		
6月	避難訓練：地震想定（少年消防クラブ合同）		
11月	避難訓練：火災想定（少年消防クラブ合同）		
3月	防災用品の整備（防災用品の購入）		

少年消防クラブ

< 小学校 >

直瀬小学校少年消防クラブ

S 56. 5. 29 結成

★昭和59年度	全国少年消防クラブ運営指導議会会長（消防庁長官）表彰を受ける。	
★平成 27年度	（財）自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。	
★令和元年度	愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。	
★令和 4年度	2022年度優良少年消防クラブ表彰 消防庁長官賞を受賞。	
令和6年度	活動報告	代表者 八木 伸浩
4月	避難訓練	
6月	救命救急法講習：防災訓練：引き渡し訓練	
10月	避難訓練	
冬休み	わが家の防火点検	
1月	防火習字・ポスター制作	
2月	避難訓練	
通年	防災に関する学習（生活科・総合的な学習の時間等における防災学習）	

畑野川小学校少年消防クラブ

H10. 7. 9 結成

★平成26年度	愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。	
★平成 29年度	（財）自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。	
令和6年度	活動報告	代表者 船岡 良雄
5月	避難訓練	
6月	救急法講習会	
9月	避難訓練：地震想定	
12月	一人暮らしの高齢者宅訪問（防火の呼び掛けと花・手紙の配布）	
12月	シェイクアウトえひめ（地震発生時にとるべき3の行動）	
12月～1月	わが家の防火点検（冬休み中）	
9月～3月	防火ポスター・習字制作：防火呼びかけ	

明神小学校少年消防クラブ

S 61. 2. 27 結成

★平成25年度	（財）自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。	
★令和4年度	愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。	
令和6年度	活動報告	代表者 稲垣 文
4月	避難訓練 地震・火災想定（避難経路の確認）	
6月	救命救急法講習会	
6月	避難訓練・地震想定	
7月	避難訓練・土砂災害想定	
10月	防火ポスター制作	
11月	避難訓練 地震・火災想定	
12月	シェイクアウトえひめ（避難訓練）、防火呼び掛け活動（手紙の郵送）	
12月	防火習字制作	
冬休み	我が家の防火点検	
1月	避難訓練・地震想定	
2月	避難訓練・不審者侵入想定、引き渡し訓練	
2月	避難訓練・不審者侵入想定	

久万小学校少年消防クラブ	H10. 11. 9結成
--------------	--------------

★平成28年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。

★平成29年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和6年度	活動報告	代表者	寺岡 続樹	クラブ員	26名
5月	少年消防クラブ任命式・防火教室（設備点検など）				
2月	一人暮らしの高齢者への手紙配布				

父二峰小学校少年消防クラブ	H11. 7. 3結成
---------------	-------------

★平成29年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。

★平成30年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和6年度	活動報告	代表者	高市 秀昭	クラブ員	15名
6月	避難訓練（火災想定：消火訓練）				
7月	一人暮らしの高齢者宅訪問（防火の呼びかけ）				
7月	救急救命講習（高学年・保護者を対象としたプール使用時の救命法）				
11月	防火ポスター・習字制作				
12月	シェイクアウトえひめ				

面河小学校少年消防クラブ	H12. 4. 1結成
--------------	-------------

★平成24年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。

★平成24年度 上浮穴郡纏会表彰を受ける。

★平成24年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和6年度	活動報告	代表者	相原 順治	クラブ員	6名
4月	全校避難訓練（幼年、少年合同）				
5月	令和6年度少年消防クラブ結団式（隊長の任命）				
9月	運動会案内状作り（防火と交通安全呼びかけ）				
11月	防火交通茶屋プレゼント作り				
11月	防火交通茶屋（防火と交通安全呼びかけ）				
12月	シェイクアウトえひめ				
12月	わが家の防火点検：自宅の防火チェック				
3月	今年度の反省				

仕七川小学校少年消防クラブ

H3. 12. 4結成

★令和3年度 (財)自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を受ける。

★令和3年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和6年度	活動報告	代表者 竹本 明仁	クラブ員 7名
4月	避難訓練		
5月	少年消防クラブ結団式		
6月	救命救急法講習会：AED指導 参観日（講師：PTA兼消防職員）		
6月	少年消防学習会（川での安全な遊び方について）		
11月	防火ポスター・習字作成		
12月	シェイクアウトえひめ：緊急地震速報訓練		
冬休み	わが家の防火点検		
3月	校内防火・防災点検：活動のまとめ		

柳谷小学校少年消防クラブ

H27. 6. 4結成

★令和2年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和6年度	活動報告	川本 孝	クラブ員 3名
12月	防災用品の整備		
6月	避難訓練：地震想定		
11月	シェイクアウトえひめ		
11月	避難訓練：火災想定		
12月	わが家の防火点検		
2月	防災用品の整備（非常食等の購入）		
2月	防災用品の整備（防災用品の購入）		

< 中学校 >

久万中学校少年消防クラブ

H12. 7. 4結成

★平成22年度 モデル少年消防クラブに選定(少年消防クラブ活性化推進会議)され、『安全で災害に強い地域づくり推進事業』(日本消防協会)において、消防防災実践活動モデル事業の助成を受ける。

★平成27年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和6年度	活動報告	代表者 佐藤 太	クラブ員 38名
6月	避難訓練：土砂災害対応		
夏休み	防火ポスター作成		
11月	避難訓練：地震・火災想定		
通年	防災倉庫点検 (医薬品等の補充)		

美川中学校少年消防クラブ

H12. 7. 4結成

★平成22年度 モデル少年消防クラブに選定(少年消防クラブ活性化推進会議)され、『安全で災害に強い地域づくり推進事業』(日本消防協会)において、消防防災実践活動モデル事業の助成を受ける。

★平成25年度 上浮穴郡纏会表彰を受ける。

★平成28年度 愛媛県消防協会長表彰 優良団体感謝状を受ける。

令和6年度	活動報告	代表者 田本 克彦	クラブ員 22名
4月	避難訓練		
5月	普通救命講習		
12月	シェイクアウトえひめ (避難訓練、地震想定)		
12月～1月	わが家の防火点検		
3月	防災訓練：不審者対応想定		

女性防火クラブ

上直瀬女性防火クラブ

S56.2.26結成

★昭和56年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D－1級）の寄贈を受ける。		
★昭和58年度	（財）自治総会センターのコミュニティ助成事業を受ける。		
★昭和60年度	上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。		
★平成 2年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D－1級）の寄贈を受ける。		
★平成26年度	愛媛県消防協会会長表彰を受ける。		
★令和 6年度	愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。		
令和6年度	活動報告	部長 上村 芽衣子	クラブ員 27名
5月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会 総会		
6月	土砂災害防災訓練		
8月	自主防災会部落会		
10月	松山圏域女性防火クラブ合同研修会		
12月	女性視点の防災講演会		
1月	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会研修会		
3月	上直瀬女性防火クラブ総会・防災研修		

上畑野川女性防火クラブ

S59.2.15結成

★昭和62年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D－1級）の寄贈を受ける。		
★平成 6年度	上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。		
★平成 7年度	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会会長表彰を受ける。		
★平成10年度	日本消防協会より防災資器材の寄贈を受ける。		
★平成20年度	日本消防協会より軽可搬ポンプ（D－1級）の寄贈を受ける。		
★平成29年度	愛媛県消防協会会長表彰 優良団体感謝状を受ける。		
令和6年度	活動報告	部長 八塚 美紀子	クラブ員 16名
4月	敬老会(防火啓発チラシ配布)		
5月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会 総会		
5月	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会理事会・消防大会		
10月	松山圏域女性防火クラブ合同研修会		
10月	避難訓練(久万高原町総合防災訓練)		
10月	軽可搬ポンプ点検		
12月	女性視点の防災講演会		
12月	1人暮らしのお年寄り宅訪問(畑野川小学校少年消防クラブ合同)		
12月	えひめ自主防災フォーラム		
1月	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会研修会		
2月	公民館まつり(防火啓発チラシ配布、防災クイズ)		

下畑野川女性防火クラブ

S59.2.15結成

★昭和62年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ（D－1級）の寄贈を受ける。

★平成22年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ（D－1級）の寄贈を受ける。

★平成28年度 愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会会長表彰を受ける。

令和6年度 活動報告	部長 小黒 五月	クラブ員 32名
5月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会 総会	
5月	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会理事会、消防大会	
5月	花いっぱい運動	
10月	松山圏域女性防火クラブ合同研修会	
10月	久万高原町総合防災訓練	
12月	女性視点の防災講演会	
12月	一人暮らしのお年寄り宅訪問(畑野川小学校少年消防クラブ合同)	
12月	えひめ自主防災フォーラム	
1月	愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会研修会	

渋草女性防火クラブ

H6.7.28結成

★平成 6年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ（D－1級）の寄贈を受ける。

★平成 9年度 上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。

★平成12年度 上浮穴郡生活環境事務組合組合長表彰を受ける。（応急手当の普及推進）

★平成18年度 日本消防協会より軽可搬ポンプ（D－1級）の寄贈を受ける。

★平成19年度 自治体消防制度60周年記念日本防火協会会長表彰を受ける。

★平成21年度 上浮穴郡纏会表彰を受ける。

★令和 3年度 愛媛県消防協会会長表彰を受ける。

令和6年度 活動報告	部長 高岡 蔦子	クラブ員 8名
5月	久万高原町女性防火クラブ連絡協議会 総会	
7月	救急救命講習会	
10月	防火交通茶屋 小物作り	
11月	防火交通茶屋	

表彰及び助成事業状況

クラブ名		部門	表彰		部門		助成事業	
全国少年消防クラブ運営指導議会 (消防庁長官) 会長表彰		少年消防クラブ	愛媛県 消防協会 会長表彰		少年消防クラブ 優良表彰	上浮穴郡 纏会表彰	日本消防協会 『安全で災害に 強い地域づくり 推進事業』 昭和56年度 平成 2年度 昭和57年度 平成21年度 昭和62年度 平成20年度 昭和62年度 平成22年度 平成10年度 平成 6年度 平成18年度	日本消防協会 防災資器材 (財)自治総会セター コミュニティ助成事業 昭和58年度 昭和58年度 平成10年度
昭和59年度、令和 4年度			愛媛県婦人 防火クラブ 連絡協議会 会長表彰					
平成 3年			自治体消防 制度60周年 日本消防協会 会長表彰					
クラブ名		部門	表彰		部門		助成事業	
明神小学校 少年消防クラブ		少年消防クラブ	上 直 瀬 女性防火クラブ		少年消防クラブ 優良表彰	上浮穴郡 纏会表彰	日本消防協会 『安全で災害に 強い地域づくり 推進事業』 昭和56年度 平成 2年度 昭和57年度 平成21年度 昭和62年度 平成20年度 昭和62年度 平成22年度 平成10年度 平成 6年度 平成18年度	日本消防協会 防災資器材 (財)自治総会セター コミュニティ助成事業 昭和58年度 昭和58年度 平成10年度
下 直 瀬 女性防火クラブ								
上畑野川 女性防火クラブ								
下畑野川 女性防火クラブ								
露 峰 女性防火クラブ								
渋 草 女性防火クラブ								
久万こども園 幼年消防クラブ								
明 神 幼年消防クラブ								
久万幼稚園 幼年消防クラブ								
畑野川 幼年消防クラブ								
面河 幼年消防クラブ								
直 瀬 幼年消防クラブ								
柳 谷 幼年消防クラブ								
仕七川 幼年消防クラブ								
明神小学校 少年消防クラブ								
久万小学校 少年消防クラブ								
畑野川小学校 少年消防クラブ								
直瀬小学校 少年消防クラブ								
父二峰小学校 少年消防クラブ								
面河小学校 少年消防クラブ								
仕七川小学校 少年消防クラブ								
柳谷小学校 少年消防クラブ								
久万中学校 少年消防クラブ								
美川中学校 少年消防クラブ								

少年消防クラブ助成事業

◎『安全で災害に強い地域づくり推進事業』

○消防防災実践活動モデル事業（モデル少年消防クラブ）

設 置 年 度	設 置 ク ラ ブ 名
平 成 21 年 度	柳谷小学校(旧柳谷中学校)
平 成 22 年 度	久万中学校 美川中学校

〈 資機材 配備状況 〉

	品 名	規 格 等	配 備 数		
			柳谷小	久万中	美川中
1	防災倉庫 〔兼 救助工具収納箱〕	タクボ物置	一 式	—	—
2	防災倉庫	タクボ物置	—	一 式	一 式
3	救助工具収納箱	AK型	—	一 式	1 式
4	簡易テント	E-ZUP DXA45	—	1 台	1 台
5	発電機	ホンダ EU16 i	1 台	1 台	1 台
6	チェンソー	ハスクバーナ 340型	1 台	—	—
7	投光器（スタンド付）	ハロゲン1灯式	1 台	1 台	—
8	コードリール	防雨型	1 台	1 台	1 台
9	リヤカー（ノーパンクタイヤ）	折りたたみ式	1 台	1 台	1 台
10	ハンド型メガホン	防雨型（サイレン付）	1 台	1 台	1 台
11	防塵ゴーグル	YG-5080	1 個	—	—
12	ガソリン携行缶	20ℓ用	1 缶	—	—
13	一輪車	—	1 台	1 台	1 台
14	脚立	—	1 台	1 台	1 台
15	担架	A式担架2型	1 台	1 台	1 台
16	災害組織用救急箱	約20人用	1 箱	1 箱	1 箱
17	LEDライト	ヘッドライト	—	10 個	10 個
18	LEDライト	ハンドライト	—	10 個	10 個
19	ヘルメット	PU-NI-L	5 個	20 個	20 個
20	手袋	ケブラー	5 双	20 双	20 双
21	手袋（軍手）	メクセル(12双入)	5 箱	—	—
22	防塵マスク	ハイラック 350型(10枚入)	5 箱	2 箱	2 箱
23	寸胴なべ	ステンレス50L	1 個	1 個	1 個
24	4升炊き炊飯器	RR-40SE	1 器	1 器	1 器
25	鋳物コンロ	LPG3連 KP20	1 個	1 個	1 個
26	LPGレギュレーター	調整器2口	1 個	1 個	1 個
27	点火装置	スパークL	1 個	1 個	1 個
28	湯切り竹柄そば上げ	24cm	1 個	1 個	1 個
29	ポータブル電源	708 Jackery	1 機	1 機	1 機
30	ソーラーパネル	100 Jackery	1 台	1 台	1 台
31	専用バック	P7 Jackery	1 個	1 個	1 個

※23～31は令和3年度にコミュニティ助成整備

〈 活動服 配備状況 〉

	柳谷小学校	久万中学校	美川中学校
配 備 数	13 着	64 着	53 着

（活動服 内訳）

①長袖シャツ

②カーゴパンツ

③帽子

④ベルト

⑤ヘルメット

少年消防クラブ コミュニティ助成事業

設 置 年 度	設 置 ク ラ ブ 名
平成 24 年 度	面 河 小 学 校
平成 25 年 度	明 神 小 学 校
平成 27 年 度	直 瀬 小 学 校
平成 28 年 度	久 万 小 学 校

〈 資 機 材 配 備 状 況 〉

★は役場総務課で配備

	品 名	規 格 等	配 備 数			
			面河小	明神小	直瀬小	久万小
1	防災備蓄倉庫	タクボ物置	一 式	一 式	一 式	一 式
2	簡易テント	E-ZUP DXA45 DX45 アルミ TA-34	一 式	一 式	一 式	一 式
3	簡易担架	A式担架2型 アルミ	1 台	1 台	1 台	1 台
4	リヤカー (ノーパンク)	折りたたみ式	1 台	1 台	1 台	1 台
5	発電機	ホンダ EU16 i ホンダ EU9iK1JN1	1 台	1 台	1 台	1 台
6	投光器 (スタンド付)	ハロゲン1灯式 ハロゲン2灯式 ハヤタ PHCX-305	1 台	1 台	1 台	1 台
7	コードリール	防雨型	1 台	1 台	1 台	1 台
8	ハンド型メガホン	防雨型 (サイレン付)	1 台	1 台	1 台	1 台
9	LEDライト	ヘッドライト	10 個	10 個	10 個	10 個
10	ヘルメット	PU-NI-L 148EZ-W1-J	10 個	10 個	10 個	10 個
11	手袋	ケブラー	10 双	10 双	10 双	10 双
12	防塵マスク	ハイラック 350型(10枚入) 使い捨て型	1 箱	1 箱	1 箱	1 箱
13	移動式カマド	船山 EG600A 自主防エコノミーU型	一 式	一 式	一 式	一 式
14	チェーンソー	ゼノア GZ3850EZ			1 台	
15	ガソリン携行缶	20ℓ			1 個	2 個
16	難燃毛布	災害備蓄用パック式	★	★	20 枚	30 枚
17	トランシーバー	ケンウッド UBZ-LP20			5 台	10 台
18	一輪車 (ノーパンク)					5 台
19	はしご兼用脚立	PRT-20FX				1 脚
20	伸縮脚付き足場台	PXGE-1012FK				1 脚
21	ロールマット	段ボール・個包装	★	★	★	★
22	間仕切り	4部屋セット(パーテンション)	★	★	★	★

少年消防クラブ コミュニティ助成事業

設 置 年 度	設 置 ク ラ ブ 名
平成 29 年 度	畑 野 川 小 学 校
	父 二 峰 小 学 校
令 和 3 年 度	仕 七 川 小 学 校
	柳 谷 小 学 校、久 万・美 川 中 学 校 (資機材追加整備)

〈 資機材 配備状況 〉

★は役場総務課で配備

	品 名	規 格 等	配 備 数		
			畑野川小	父二峰小	仕七川小
1	防災備蓄倉庫		★	★	★
2	簡易テント	TA-34	一 式	一 式	一 式
3	簡易担架	A式担架2型 アルミ	1 台	1 台	1 台
4	リヤカー (ノーパンク)	折りたたみ式		1 台	1 台
5	発電機	ホンダ EU16 i	★	★	★
6	投光器	バルーン型	★	★	★
7	コードリール	防雨型	★	★	★
8	ハンド型メガホン	防雨型 (サイレン付)	1 台	1 台	1 台
9	LEDライト	ヘッドライト	10 個	10 個	10 個
10	ヘルメット	148EZ-W1-J	10 個	10 個	10 個
11	手袋	ケブラー	10 双	10 双	10 双
12	防塵マスク	使い捨て型	1 箱	1 箱	1 箱
13	移動式カマド	船山 EG600A	一 式	一 式	
14	ガソリン携行缶	20 ^{リットル}	2 缶	2 缶	2 缶
15	難燃毛布	災害備蓄用パック式	★	★	★
16	トランシーバー	ケンウッド UBZ-LP20	5 台	5 台	5 台
17	一輪車	ノーパンク	5 台	5 台	5 台
18	寸胴なべ	ステンレス50L			1 個
19	4升炊き炊飯器	RR-40SE			1 器
20	鋳物コンロ	LPG3連 KP20			1 個
21	LPGレギュレーター	調整器2口			1 個
22	点火装置	スパークL			1 個
23	湯切り竹柄そば上げ	24cm			1 個
24	ポータブル電源	708 Jackery			1 機
25	ソーラパネル	100 Jackery			1 台
26	専用バック	P7 Jackery			1 個
27	ロールマット	段ボール・個包装	★	★	★
28	間仕切り	4部屋セット(パーテンション)	★	★	★

※令和3年度 柳谷小、久万中、美川中に18～26を各1ヶ、資機材充実で配備した

警 防 編

保有消防車両

(令和6年12月31日現在)

車名	号車	車種	排気量	登録番号	備考	配置年	年数	走行距離	配置部署	取得・寄贈
指令車兼 人員輸送車	消防 1号	トヨタ プラド	2,690cc	愛媛 さ 93-17	4WD	H17. 3. 10	19	98,370 k m	本部署	平成16年度市町村合併 推進体制整備事業
消防用査察 指導車	消防 2号	トヨタ エスティマ	2,360cc	愛媛 す 27-38	4WD	H21. 10. 30	15	109,833 k m	本部署	単 独
水槽付ポンプ車	消防 3号	ヒノ レンジャー	5,120cc	愛媛 は 62-63	4WD モリタA-2	R 2. 12. 1	4	8,121 k m	本部署	緊急消防援助隊 設備整備費補助事業
積載兼工作車	消防 4号	ミツビシ キャンター	5,240cc	愛媛 は ・119	4WD ラビットB-3	H15. 8. 20	19	37,774 k m	本部署	単 独
小型動力ポンプ 付水槽車	消防 5号	ヒノ レンジャー	6,400cc	愛媛 は 55-67	FR車 トーハツB-3	H22. 6. 18	15	14,451 k m	本部署	平成21年度地域活性化 経済対策臨時交付金事業
小型水槽付 ポンプ車	消防 6号	ヒノ デュトロ	4,009cc	愛媛 せ 10-88	4WD モリタA-2	R 6. 3 . 8	1	1,770 k m	美川支署	単 独
資器材運搬車	消防 7号	スズキ エブリーワゴン	659cc	愛媛 あ 16-10	4WD	H27. 1. 26	9	59,191 k m	本部署	平成26年度石油貯蔵施設 立地対策等交付金事業
査察広報車	消防 8号	マツダ CX-30	1,997cc	愛媛 せ 10-43	4WD	R 6. 1. 20	1	7,038 k m	本部署	令和5年度 電源立地 地域対策交付金事業
資器材運搬車	消防 9号	スバル サンバー	659cc	愛媛 あ 20-11	4WD	R 2. 12. 28	4	17,058 k m	本部署	久万高原町消防団から移管
訓練指導車	消防11号	マツダ タイタン	1,990cc	愛媛 す 11-91	FR車	H18. 8. 30	18	31,283 k m	本部署	宝くじ協会寄贈
資器材運搬車	消防12号	ニッサン パネット	1,780cc	愛媛 す 11-91	4WD	R 6. 3. 31	0	28,538 k m	本部署	久万高原町消防団から移管
高規格救急車	救急 1号	ニッサン エルグランド	3,490cc	愛媛 す 63-72	4WD	H28. 3. 8	6	63,223 k m	本部署	緊急消防援助隊 設備整備費補助事業
高規格救急車	救急 2号	トヨタ ハイエース	2,693cc	愛媛 す 15-64	4WD	H20. 1. 11	14	216,766 k m	美川支署	全国共済農業協同組合連合会 愛媛県本部 寄贈
高規格救急車	救急 5号	トヨタ ハイエース	2,693cc	愛媛 は 11-95	4WD	R 5. 2. 6	1	17,316 k m	本部署	全国共済農業協同組合連合会 愛媛県本部 寄贈

旧消防6号:令和6年3月8日まで運用

旧消防8号:令和6年1月20日まで運用

旧救急3号:令和6年2月25日まで運用

令和6年4月18日～令和7年2月1日まで松山市消防局から借用 令和7年1月から新救急3号運用開始。

消防機械器具の保有状況(抜粋)

種別	名 称	数量	種別	名 称	数量
放水器具	小型ポンプB-3級	2	林野火災用器具	マルチジョイント	2
	軽可搬ポンプD-2級	1		ウォーターチャージャー	1
	高圧送水ポンプ一式	2		トレンチショベル	10
	水幕ホース	3		背負い式消火水のう	48
	65mmホース	136	車両整備器具	高温・高圧洗浄機	1
	50mmホース	21		ガレージジャッキ	3
	40mmホース	22		クロスリムレンチ	3
	可変噴霧ノズル	3		ギアレンチ	2
	バブルカップ	2	その他	アクションカメラ	1
	エコファイターノズル	2		ホースブリッジ	10
	クワドラフォグノズル	2		自立式大型水槽	1
	ラインプロポーションナー	3		防雨型コードリール	3
	プロパック	1		チェーンブロック	1
	トランスフォーマーピアシングノズル	1		救助用三脚	1
照明器具	発電機	6		トランジスターメガホン	10
	投光器	5		エアーテント	1
	可搬式投光器	1		ナイロンスリング	6
	携帯用投光器	1		スバリ(検索棒付)	4

化学消火薬剤保有状況

区 分	薬 剤 名 ・ 規 格	メーカー	個 数	備 考
た ん 白 系	ニュー・マイティーフォーム (3%)	ヤマト	20L × 4缶	
	ニュー・マイティーフォーム (6%)	ヤマト	20L × 13缶	水溶性液体用
		合 計	20L × 17缶	340 リットル
合成界面活性剤	マルチエース	モリタ	20L × 3缶	
	プロフォーム (3%)	ヤマト	20L × 24缶	
	プロフォーム (3%)	ヤマト	20L × 7缶	耐寒用
		合 計	20L × 34缶	680 リットル
水溶性液体用 泡 消 火 薬 剤	ニューアルコジェットフォーム (6%)	ヤマト	20L × 3缶	耐アルコール用
	ニューアルコジェットフォーム (6%)	ハッタ	20L × 3缶	耐アルコール用
		合 計	20L × 6缶	120 リットル
水性膜泡 消火薬剤	フォレックスパン-S	YONE	20L × 6缶	120 リットル
		合計	20L × 6缶	120 リットル

※ 使用中の容器の数は含まない。

油処理剤保有状況

区 分	薬 剤 名 ・ 規 格	メーカー	個 数	備 考
油処理剤	シーグリーン (805)	ヤマト	18L × 5缶	90リットル
油吸着マット	BL-65型	三 井	139枚	
油・液体吸着剤	ACライト (4.5kg入り)	谷口商会	24袋 →	108 kg

※ 使用中の端数は数に含まない。

消防水利の状況

地区別		久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	合 計
区 分						
消 火 栓 65mm	公 設	451	2	124	26	603
	私 設	—	5	—	—	5
	小 計	451	7	124	26	608
防 火 水 槽 40t以上	公 設	73	37	15	6	131
	私 設	—	—	—	—	—
	小 計	73	37	15	6	131
防 火 水 槽 20 t 以 上 40 t 未 満		20	1	24	44	89
そ の 他	河 川 ・ 溝 等	66	6	8	10	90
	海 ・ 湖	—	—	—	—	—
	プ ー ル	7	2	2	4	15
	濠 ・ 池 等	6	4	—	2	12
	下 水 道	—	—	—	—	—
	そ の 他	—	—	—	—	—
	小 計	79	12	10	16	117
合 計（現有数）		603	56	149	48	856
基 準 数		632	126	281	148	1,187
消 防 水 利 充 足 数		455	60	111	54	680
不 足 数		177	66	170	94	507
充 足 率（％）		72.0	47.6	39.5	36.5	57.3

※消火栓：50mm 以下は除く。防火水槽：40t 未満は合計数に含まず。

耐震性防火水槽設置状況

久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区	合 計
31	17	7	6	61

年間出動状況及び燃料消費量

(令和6年12月31日現在)

出動別	区分	車名	消防1号 指令車	消防2号 査察・指導車	消防3号 水槽付ポンプ車	消防4号 積載工作車	消防5号 小型ポンプ付水槽車	消防6号 水槽付ポンプ車	消防7号 資器材搬送車	消防8号 査察広報車
火災出動	回数 走行距離	救	4 102	- -	7 151	5 78	7 153	6 170	1 5	1 39
救急出動	回数 走行距離	救	- -	- -	- -	1 36	- -	- -	1 106	- -
救助出動	回数 走行距離	救	4 70	4 387	4 57	12 238	1 25	- -	6 190	13 672
風水害出動	回数 走行距離	救	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
捜索・遭難	回数 走行距離	救	2 57	2 27	- -	- -	- -	- -	5 138	4 132
演習訓練	回数 走行距離	救	3 83	12 1,405	65 145	65 80	58 75	50 174	2 73	29 1,883
訓練指導	回数 走行距離	救	2 10	5 246	3 21	1 6	4 23	- -	18 655	7 46
警防調査	回数 走行距離	救	8 403	1 33	3 13	3 15	1 2	- -	- -	9 555
予防調査	回数 走行距離	救	2 81	3 66	6 35	10 85	3 45	- -	24 728	52 2,761
原因調査	回数 走行距離	救	- -	1 5	- -	1 6	- -	- -	1 40	3 56
特別警戒	回数 走行距離	救	1 92	- -	7 157	- -	4 66	7 228	1 112	1 102
予防広報	回数 走行距離	救	- -	- -	7 204	2 64	- -	- -	1 9	2 132
その他の	回数 走行距離	救	17 518	68 4,591	25 188	16 98	12 48	41 389	250 2,166	79 2,185
誤報・確認	回数 走行距離	救	- -	- -	5 84	- -	1 67	3 69	1 14	- -
合計	回数 走行距離	救	43 1,416	96 6,760	132 1,055	116 706	91 504	107 1,030	311 4,236	200 8,563
消費燃料	ガソリン 軽油		151 -	529 -	- 482	- 201	- 173	- 280	363 -	501 -
年間距離	指数		1,416km	6,760km	1,055km	706km	504km	1,030km	4,236km	8,563km

出 動 別	区 分	車 名	消防9号 資器材搬送車	消防11号 訓練指導車	救急1号 高規格車	救急2号 高規格車	救急3号 高規格車	救急5号 高規格車	合 計
火 災 出 動	回 数	救 護	5	-	-	1	-	-	37
	走行距離		142	-	-	10	-	-	850
救 急 出 動	回 数	救 護	-	-	113	211	38	237	601
	走行距離		-	-	7,173	11,964	2,011	8,587	29,877
救 助 出 動	回 数	救 護	10	-	-	-	1	-	55
	走行距離		247	-	-	-	22	-	1,908
風 水 害 出 動	回 数	救 護	2	-	-	-	-	-	2
	走行距離		9	-	-	-	-	-	9
捜 索 ・ 遭 難	回 数	救 護	3	3	-	2	3	-	24
	走行距離		86	71	-	63	89	-	663
演 習 訓 練	回 数	救 護	6	3	3	23	7	7	333
	走行距離		49	55	15	436	91	38	4,602
訓 練 指 導	回 数	救 護	4	30	1	4	-	1	80
	走行距離		18	405	6	64	-	7	1,507
警 防 調 査	回 数	救 護	2	2	-	10	2	4	45
	走行距離		118	165	-	211	24	16	1,555
予 防 調 査	回 数	救 護	4	11	-	21	5	16	157
	走行距離		249	361	-	346	102	105	4,964
原 因 調 査	回 数	救 護	2	2	-	-	1	-	11
	走行距離		7	47	-	-	7	-	168
特 別 警 戒	回 数	救 護	-	-	2	1	-	1	25
	走行距離		-	-	161	30	-	4	952
予 防 広 報	回 数	救 護	-	7	1	17	2	4	43
	走行距離		-	477	5	379	32	54	1,356
そ の 他	回 数	救 護	114	44	33	328	80	38	1,145
	走行距離		1,286	1,164	160	4,717	1,031	252	18,793
誤 報 ・ 確 認	回 数	救 護	2	-	-	3	-	-	15
	走行距離		34	-	-	53	-	-	321
合 計	回 数	救 護	154	102	153	621	139	308	2,573
	走行距離		2,245	2,745	7,520	18,273	3,409	9,063	67,525
消費燃料	ガソリン	軽 油	165	384	1,757	2,928	504	15,735	23,016
			-	-	-	-	-	-	1,136
年 間 距 離	指 数		2,245km	2,745km	7,520km	18,273km	3,409km	9,063km	67,525km

備考 ※ 救急出動には医師搬送、不搬送件数を含む。

※ 救助出動には応援出動、出場途中帰署件数を含む。

※ 消防6号令和6年1月車両更新

※ 消防8号令和6年3月8日から車両更新。

月別出動状況

(令和6年12月31日現在)

種 別	区 分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
火 災	延べ人員	-	32	10	28	-	-	-	-	14	-	-	16	100
	延べ車両	-	11	3	12	-	-	-	-	5	-	-	6	37
救 急	延べ人員	187	122	144	109	171	157	160	229	147	109	124	152	1,811
	延べ車両	64	40	48	36	56	52	53	76	49	36	41	50	601
救 助	延べ人員	19	2	4	22	18	13	9	8	2	13	10	10	130
	延べ車両	9	1	3	8	7	5	4	4	1	5	3	5	55
風水害等 の災害	延べ人員	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	4
	延べ車両	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2
捜 索	延べ人員	-	-	-	11	52	-	-	-	-	-	2	-	65
	延べ車両	-	-	-	3	20	-	-	-	-	-	1	-	24
演習訓練	延べ人員	91	36	52	61	48	36	62	47	72	46	45	44	640
	延べ車両	48	23	21	34	24	24	30	24	33	23	26	23	333
訓練指導	延べ人員	1	33	5	3	23	37	32	3	8	6	14	15	180
	延べ車両	1	13	3	1	10	16	11	1	4	3	8	9	80
警防調査	延べ人員	9	3	13	-	16	11	7	10	7	20	7	5	108
	延べ車両	3	1	5	-	8	4	2	4	3	9	3	3	45
予防調査	延べ人員	12	14	61	23	16	45	34	28	21	16	90	12	372
	延べ車両	5	5	28	10	6	17	14	11	9	6	41	5	157
原因調査	延べ人員	-	11	-	5	-	-	-	-	2	-	3	7	28
	延べ車両	-	4	-	1	-	-	-	-	1	-	1	4	11
特別警戒	延べ人員	12	-	-	-	-	-	7	9	6	3	-	33	70
	延べ車両	4	-	-	-	-	-	3	3	2	1	-	12	25
広 報	延べ人員	4	16	23	17	9	3	3	-	6	8	11	16	116
	延べ車両	2	7	8	6	3	1	1	-	2	4	4	5	43
その他	延べ人員	283	257	227	201	154	145	183	216	162	182	129	223	2,362
	延べ車両	137	126	103	107	75	75	85	95	81	91	62	108	1,145
誤報・確認	延べ人員	6	2	-	7	3	3	-	14	3	-	5	-	43
	延べ車両	2	1	-	2	1	1	-	5	1	-	2	-	15
合計	延べ人員	624	528	539	487	510	450	497	566	452	403	440	533	6,029
	延べ車両	275	232	222	220	210	195	203	224	192	178	192	230	2,573

※ 火災出動は軽微な火災出動も含む。

※ 署内ヘリポートを使用した救助出動に関しては、車両を使用していない。

緊急通報受信状況

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
	災害別													
受 信 件 数	火 災		2		2					1		1	1	7
	救 急	59	43	49	30	55	51	52	77	49	32	40	50	587
	救 助							2				1		3
	救急救助	3			3	5		2	1	1	3	1	2	21
	確認出動	1			1				1					3
	そ の 他	2		4	5		5	1	12	2	4	11	4	50
	間 違 い	6	6	2	1	3	3	2	1	3	5	2	2	36
	いたずら													0
	試 験	3		7	6	8		8	4	6	7	5	2	56
	訓 練	2	2	4	1	1	2	1	3	4	2	6	8	36
	問い合わせ		2		1	2	1		2	2	3			13
	合 計	76	55	66	50	74	62	68	101	68	56	67	69	812

携帯119転送受信状況

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
	種別													
転送 送受信	送 信		1	1		2	1	1		1			1	8
	受 信	1	3						5	1		1	2	13
	合 計	1	4	1	0	2	1	1	5	2	0	1	3	21

覚知方法別受信状況

覚知別	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
1 1 9		13	16	19	24	26	18	20	16	23	8	32	25	240
携 帯 1 1 9		33	23	20	10	25	26	25	40	20	25	18	20	285
I P 1 1 9														0
衛 星 1 1 9				1	1				3	1	4		1	11
一 般 加 入		27	11	23	15	18	15	19	33	20	15	13	20	229
一般加入（美川）		1	1	1		2	3	2		1	2	1	1	15
一般加入（警察）						1			1					2
一般加入（介護）														0
転 送		1	3						5	1		1	2	13
自 己 覚 知		1	1	2		2		2	3		2	2		15
駆 け 付 け										2				2
ジ オ チ ャ ッ ト														0
トンネルモニター盤														0
合 計		76	55	66	50	74	62	68	101	68	56	67	69	812

携帯電話別受信件数

携帯電話業者別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
ド コ モ	26	13	11	9	14	20	11	25	13	14	9	17	182
a u	7	5	5	1	6	4	12	9	4	8	7	1	69
ソ フ ト ハ ン ク		4	4		4	1	2	5	2	1	1	2	26
楽 天 モ バ イ ル		1			1	1		1	1	2	1		8
合 計	33	23	20	10	25	26	25	40	20	25	18	20	285

久万高原町における気象記録

久万高原町消防本部観測(昭和54年～令和6年)

※令和6年の最大記録

最大瞬間風速記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	方 位	風 速	原 因
1	平成 16年 8月 30日	15:00	南	35.0m	台 風
2	平成 30年 7月 10日	11:17	西	30.1m	台 風
3	昭和 55年 9月 11日	8:00	南	30.0m	台 風
※	令和 6年 6月 18日	14:05	北	16.5m	低 気 圧

平均風速最大記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	方 位	風 速	原 因
1	昭和 55年 9月 11日	18:00	南	22.0m	台 風
2	平成 3年 9月 27日	20:00	南東	15.0m	台 風
3	平成 7年 9月 24日	15:00	北西	14.5m	台 風
※	令和 6年 6月 2日	5:16	北西	12.5m	低 気 圧

最低気温記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	気 温
1	平成 7年 12月 31日	7:00	-15.0℃
2	平成 8年 2月 10日	8:00	-14.0℃
3	平成 30年 2月 9日	6:59	-13.3℃
※	令和 6年 1月 25日	5:37	-7.7℃

最高気温記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	気 温
1	令和 2年 8月 17日	14:59	36.2℃
2	平成 6年 8月 7日	13:00	35.7℃
3	令和 6年 8月 4日	11:45	35.6℃
※	令和 6年 8月 4日	11:45	35.6℃

日雨量の最大記録

順位	発 生 年 月 日	雨 量	降雨原因
1	平成 17年 9月 6日	309.5mm	台 風
2	平成 16年 8月 30日	286.0mm	台 風
3	令和 4年 9月 18日	281.5mm	台 風
※	令和 6年 7月 11日	150.5mm	前線の停滞

積雪最大記録

順位	発 生 年 月 日	積雪量
1	令和 4年 12月 23日	76.8cm
2	昭和 59年 1月 31日	72.0cm
3	平成 17年 12月 17日	65.0cm
※	令和 6年 1月 23日	10.9cm

1時間雨量の最大記録

順位	発 生 年 月 日	時 間	雨 量	降 雨 原 因
1	昭和 58年 7月 16日	18:00 ～ 19:00	56.5mm	前 線 の 停 滞
2	令和 2年 8月 29日	16:00 ～ 17:00	51.5mm	前 線 の 停 滞
3	平成 29年 9月 17日	14:00 ～ 15:00	50.0mm	台 風 第 18 号
※	令和 6年 8月 29日	12:00 ～ 13:00	44.0mm	台 風 第 10 号

継続雨量の最大記録

順位	発 生 年	月 / 日 ～ 月 / 日	雨 量	降 雨 原 因
1	平成 17 年	7/1 ～ 7/6	414.0mm	前 線 の 停 滞
2	昭和 54 年	6/27 ～ 6/30	411.5mm	前 線 の 停 滞
3	平成 15 年	6/28 ～ 7/5	384.0mm	前 線 の 停 滞
※	令和 6 年	8/27 ～ 8/31	206.0mm	台 風 第 10 号

気象観測年報

内訳 月			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均 極 値
気 温 ℃	平 均	平均	2.2	5.1	6.0	14.3	15.7	19.8	25.1	25.4	23.5	17.4	10.2	2.5	13.9
		最高	9.4	14.4	13.7	18.2	19.1	24.1	27.3	27.7	26.0	21.9	18.2	6.1	27.7
		最低	-3.7	0.1	-1.3	9.4	10.5	15.2	21.7	22.1	19.0	13.1	3.0	-0.5	-3.7
	極 値	最高	16.3	22.1	21.8	25.1	28.1	32.6	35.0	35.6	34.2	27.7	24.1	15.2	35.6
		起日	18	20	31	28	18	19	28	4	19	1	2	2	7/28
		最低	-7.7	-5.7	-6.9	-0.8	3.0	8.2	18.5	17.1	12.6	7.3	-2.7	-6.1	-7.7
		起日	25	11	3	10	10	5	12	12	24	12	25	25	1/26
	湿 度 %	平均	77.8	80.2	73.9	77.7	72.9	80.1	79.4	79.7	81.1	85.3	83.2	79.0	79.2
最低		18.4	20.1	11.9	11.0	11.1	28.3	39.8	33.2	33.6	26.2	22.0	40.2	11.0	
起日		11	28	15	10	18	14	6	9	7	1	3	20	4/13	
風 速 m/s	平均	0.9	1.0	1.2	1.1	1.2	1.0	0.9	1.0	0.8	0.8	0.9	0.9	1.0	
	瞬間	13.2	14.6	14.5	12.9	15.7	16.5	13.4	11.1	12.8	15.0	14.0	14.8	16.5	
	風向	W	NWW	N	SW	N	N	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	
	起日	13	15	26	15	16	18	11	17	12	9	18	27	5/8	
最多風向			NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	SSE	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW	NNW
日照時間h (累計)			123.8	115.0	150.8	125.7	190.3	144.4	201.6	239.7	186.5	112.6	120.7	94.4	1,805.5
降 水 量 mm	合計(累計)		56.5	127.0	213.0	149.5	295.0	367.0	355.0	318.5	116.5	94.0	170.0	64.5	2,326.5
	最	日量	10.0	38.5	33.5	47.0	116.5	109.5	150.5	141.0	43.5	16.5	33.0	11.0	150.5
		起日	3	21	12	3	28	28	11	29	12	19	1	8	7/11
		1時間	4.5	12.0	24.0	10.0	20.0	17.5	40.0	46.5	43.0	11.0	17.0	5.5	46.5
	大	起日	21・31	21	31	8	28	18	11	29	12	19	2	8	8/29
降 雪 量 mm	降雪日数		4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	5	12
	最	日量	10.2	-	2.9	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	10.2
		起日	24	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	28	1/1
		1時間	9.8	-	2.7	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	9.8
	大	起日	24	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	28	1/1

火災統計編

火災発生状況

(各年中)

年 区 分			令和5年 (A)	令和6年 (B)	増 減 (B) - (A)
出火 件数	総 件 数		4	7	3
	種 別	建 物	1	5	4
		林 野	2	1	△ 1
		車 両	0	1	1
		そ の 他	1	0	△ 1
焼損 状況	焼損棟数		3	7	4
	程 度	全 焼	3	7	4
		半 焼	0	0	0
		部 分 焼	0	0	0
		ぼ や	0	0	0
面 積	建 物 床	m ²	231	633	402
	建 物 表	m ²	456	0	△ 456
	林 野	a	16	3	△ 13
り災 状況	総 世 帯		1	1	0
	程 度	全 損	1	5	4
		半 損	0	0	0
		小 損	0	0	0
	人 員		4	1	△ 3
死傷	死 者	人	0	0	0
	傷 者		1	1	0
損害 状況	総損害額		9,605	11,216	1,611
	種 別	建 物	9,201	10,811	1,610
		林 野	404	164	△ 240
		車 両	0	241	241
		そ の 他	0	0	0
出 火 率		万人当り	5.5	9.9	4.4

* 各年の数値は1月～12月に発生した火災を集計したもの。
以下本節において同じ。

火災一覧表

(令和6年中)

火災番号	出火月日	火災種別	出火地区	出火時刻	覚知時刻	鎮火時刻	天候	風速	湿度	焼損床面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)	焼損面積 (a)	損害額 (千円)	火元用途	構造燃焼物	出火原因
1	2/13	建物	久万	13:30	14:00	15:00	晴	1.1	38%	75	-	-	1,058	倉庫	-	バーナー
2	2/20	建物	久万	6:55	7:05	9:30	雨	0.6	99%	161	-	-	4,353	住宅兼店舗	-	不明
3	4/12	建物	久万	12:20	12:27	14:00	晴	2.8	44%	123	-	-	1,958	住宅	-	バーナー
4	4/13	建物	美川	11:50	11:01	12:20	晴	1	46%	191	-	-	2,865	倉庫	-	その他電気機器
5	9/8	車両	久万	10:30	10:47	11:40	晴	1.8	53%	-	-	-	241	林業機械	-	不明
6	11/20	林野	面河	13:45	14:27	14:15	晴	2.5	52%	-	-	3	164	山麓	-	その他の裸火
7	12/9	建物	久万	21:10	21:36	22:20	曇	0.2	78%	83	-	-	577	倉庫	-	消し炭

地区別火災発生状況

(平成27年～令和6年の総数)
(総件数61件)

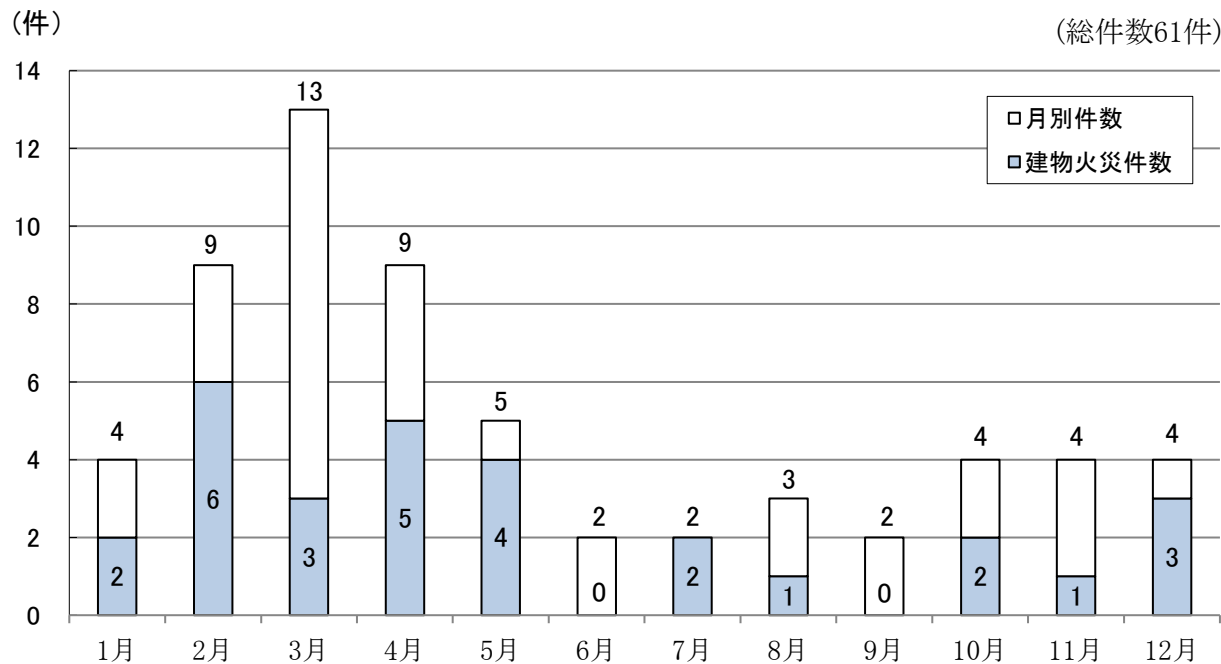
区 分 \ 地 区		久万地区		面河地区		美川地区		柳谷地区		久万高原町	
火災 件数	総 件 数		30	(5)	8	(1)	18	(1)	5	61	(7)
	種 別	建 物	件	10	(4)	4	11	(1)	5	30	(5)
		林 野		6		3	(1)	1	—	10	(1)
		車 両		4	(1)	1	4	—	—	9	(1)
		その他		10		—	2	—	—	12	
焼損 状況	焼損棟数		11	(5)	15		26	(2)	18	70	(7)
	程 度	全 焼	棟	8	(5)	12	20	(2)	10	50	(7)
		半 焼		0		0	1		2	3	
		部分焼		2		2	4		3	11	
		ぼ や		1		1	1		3	6	
面 積	建 物 床	m ²	442	(442)	710		1,510	(191)	894	3,556	(633)
	建 物 表	m ²	0		24		32		49	105	
	林 野	a	126		6	(3)	14		1.2	147.2	(3)
り 災	世帯		5	(1)	6		6		5	22	(1)
	人員		3	(1)	9		12		7	31	(1)
死 傷	死者		—		1		0		—	1	
	傷者		2	(1)	1		4		2	9	(1)
損 害 状 況	損害額		14,463	(8,187)	12,325	(164)	36,415	(2,865)	19,202	82,405	(11,216)
	種 別	建 物	千円	11,471	(7,946)	11,295	31,826	(2,865)	19,189	73,781	(10,811)
		林 野		1,274		227	(164)	296	—	1,797	(164)
		車 両		580	(241)	803	4,293	—	—	5,676	(241)
		その他		1,138		—	—	13	—	1,151	

※()内は令和6年中の数値

月別火災発生状況

(平成27年～令和6年の総数)

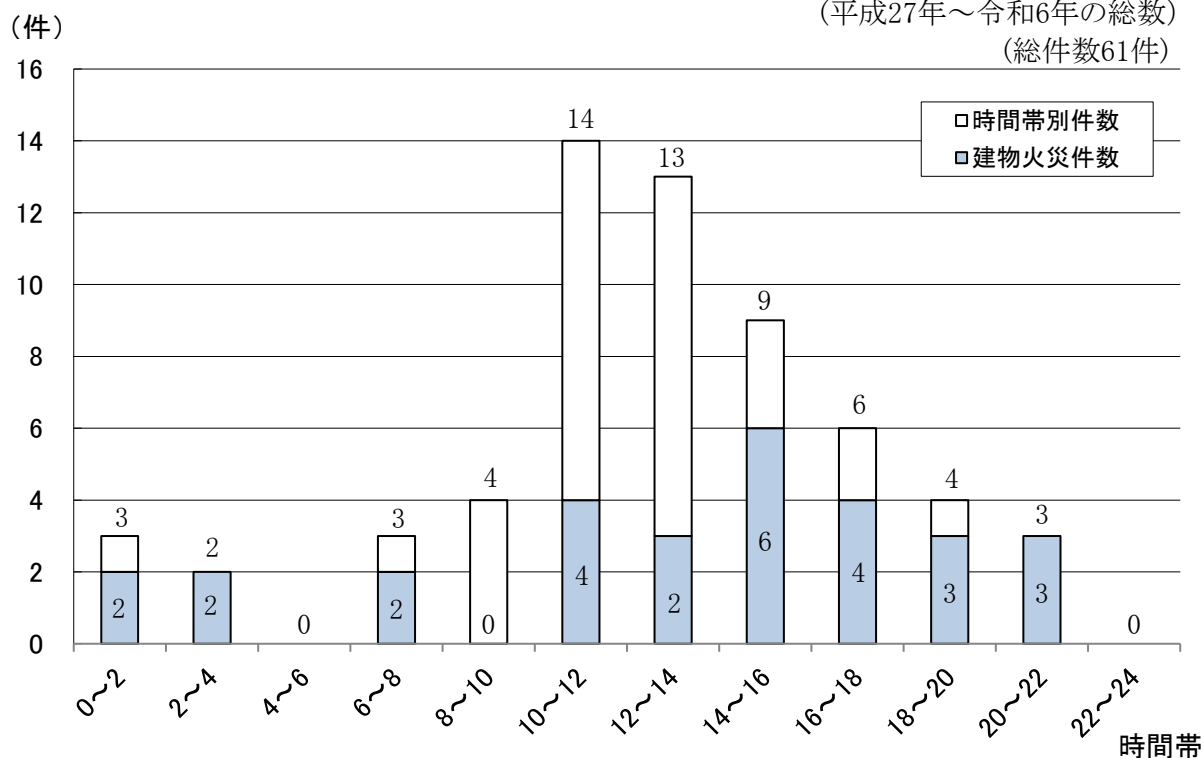
(総件数61件)



月	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
種別	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野
年	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野	建物	林野
平成27年	1	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
平成28年	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-
平成29年	1	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
平成30年	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和元年	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和2年	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
令和3年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和4年	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
令和5年	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
令和6年	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
計	2	1	6	-	3	4	5	1	4	1	-	-	2	-	1	2	-	-	2	-	1	1	3	-
車両	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-
その他	1	-	2	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-
合計(61)	4	-	9	-	13	-	9	-	5	-	2	-	2	-	3	-	2	-	4	-	4	-	4	-

時間帯別火災発生状況

(平成27年～令和6年の総数)
(総件数61件)



時間	0 時		2 時		4 時		6 時		8 時		10 時		12 時		14 時		16 時		18 時		20 時		22 時	
種 別	建 物	林 野	建 物	林 野	建 物	林 野	建 物	林 野	建 物	林 野	建 物	林 野	建 物	林 野	建 物	林 野	建 物	林 野	建 物	林 野	建 物	林 野	建 物	林 野
年																								
平成27年	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
平成28年	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-
平成29年	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-
平成30年	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
令和元年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和2年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
令和3年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和4年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
令和5年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
令和6年	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-
計	2	-	2	-	-	-	2	-	-	-	4	4	3	2	6	4	4	1	3	-	3	-	-	-
車 両	-	-	-	-	-	1	3	4	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	-	1	2	4	2	2	4	2	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-
合計 (61)	3	2	-	-	-	3	4	14	9	13	6	4	6	4	4	1	3	-	3	-	-	-	-	-

地区別火災発生一覧表

(平成17年～令和6年の総数)

(総件数121件)

区分 地区	出 火 件 数				焼 損 面 積			焼 損 棟 数	り 災		死 傷 者		損 害 額 千 円
	統計	建物	林野	他	床面積(m ²)	表面積(m ²)	林野(a)		世帯	人員	死者	傷者	
久 万 地 区	68	34	14	20	2,128	4,852	195	42	16	27	-	3	53,347
東 明 神	6	2	-	4	50	194	13	2	-	-	-	-	954
西 明 神	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
入 野	6	4	-	2	244	-	8	4	3	3	-	1	4,661
久 万	9	9	-	-	487	7	-	11	9	14	-	1	10,691
野 尻	7	4	-	3	1	101	-	4	-	-	-	-	3,418
菅 生	8	3	2	3	165	1,195	4	5	1	3	-	-	10,901
上 畑 野 川	5	1	4	-	112	-	46	1	-	-	-	-	2,153
下 畑 野 川	3	-	1	2	-	-	42	-	-	-	-	-	595
直 瀬	11	3	3	5	383	3,313	6	4	-	-	-	1	1,125
父 野 川	2	-	2	-	-	-	70	-	-	-	-	-	360
露 峰	4	2	1	1	164	-	-	2	1	4	-	-	7,127
二 名	7	6	1	-	522	42	6	9	2	3	-	-	11,362
面 河 地 区	7	4	2	1	785	128	3	17	7	12	1	1	14,326
相 の 木	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	803
笠 方	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
前 組	2	1	2	-	294	-	5	5	1	3	1	-	3,747
渋 草 大 成	3	3	-	-	491	128	-	12	6	9	-	1	9,775
中 組 本 組	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
若 山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
美 川 地 区	35	24	4	7	2,503	101	208	50	17	37	1	4	64,492
有 枝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大 川	4	2	-	2	145	32	-	3	1	3	-	1	2,491
上 黒 岩	4	2	1	1	-	4	-	2	-	-	-	-	639
中 黒 岩	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沢 渡	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1,822
日 野 浦	7	6	1	-	843	11	8	15	4	6	1	1	19,836
仕 出	2	1	-	1	30	17	-	2	-	-	-	-	652
七 鳥	6	5	-	1	228	23	-	8	4	11	-	-	8,407
東 川	8	6	1	1	763	14	14	14	6	14	-	2	22,460
黒 藤 川	3	2	1	-	494	-	186	6	2	3	-	-	8,185
柳 谷 地 区	11	10	1	-	1,290	100	10	28	8	14	-	3	26,366
柳 井 川	5	4	1	-	387	59	4	9	3	5	-	3	6,291
西 谷	4	4	-	-	783	41	6	14	4	7	-	-	12,845
中 津	2	2	-	-	120	-	-	5	1	2	-	-	7,230
久万高原町	121	72	21	28	6,706	5,181	416	137	48	90	2	11	158,531

救 急 編

年別救急活動状況

＜救急出場件数＞

事 故 別 年 次	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院	そ の 他		
													医 師	資 器 材	そ の 他
平成23年	625	—	—	1	27	6	8	96	1	4	278	202	—	—	2
平成24年	610	—	—	1	26	4	6	86	—	9	282	193	—	—	3
平成25年	608	—	—	—	27	7	5	86	—	6	280	195	—	—	2
平成26年	607	—	—	—	44	8	3	101	—	8	247	194	—	—	2
平成27年	594	—	—	1	36	7	4	89	2	6	283	164	—	—	2
平成28年	585	—	—	—	33	2	4	82	—	4	294	165	—	—	1
平成29年	588	—	—	—	38	5	6	87	3	7	283	153	3	—	3
平成30年	587	—	—	—	32	7	—	91	—	4	301	143	—	—	9
令和元年	582	—	—	1	28	9	6	104	—	6	281	143	2	—	2
令和2年	544	1	—	—	35	5	1	82	—	5	252	161	—	—	2
令和3年	548	1	—	1	27	9	3	101	—	4	251	149	1	—	1
令和4年	590	—	—	2	34	12	2	103	—	6	266	162	—	—	3
令和5年	577	1	—	1	29	5	1	96	—	6	279	157	—	—	2
令和6年	600	1	—	1	40	9	3	98	1	2	293	149	—	—	3
合 計	8,245	4	0	9	456	95	52	1,302	7	77	3,870	2,330	6	0	37

＜救急搬送人員＞

事 故 別 年 次	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院	そ の 他		
													医 師	資 器 材	そ の 他
平成23年	602	—	—	—	30	6	8	89	1	3	261	202	—	—	2
平成24年	593	—	—	1	29	4	6	85	—	5	267	193	—	—	3
平成25年	588	—	—	—	26	5	5	81	—	5	270	195	—	—	1
平成26年	584	—	—	—	44	9	3	97	—	6	228	195	—	—	2
平成27年	573	—	—	1	40	7	4	85	1	2	266	165	—	—	2
平成28年	560	—	—	—	34	2	4	77	—	3	276	164	—	—	—
平成29年	561	—	—	—	40	4	6	83	3	4	265	153	—	—	3
平成30年	553	—	—	—	32	7	—	87	—	2	281	143	—	—	1
令和元年	551	—	—	—	26	9	6	96	—	2	267	143	—	—	2
令和2年	519	1	—	—	33	5	1	78	—	2	236	161	—	—	2
令和3年	519	1	—	1	28	7	3	91	—	1	237	149	—	—	1
令和4年	564	—	—	1	36	11	2	98	—	3	249	161	—	—	3
令和5年	546	1	—	1	28	5	1	88	—	2	261	157	—	—	2
令和6年	572	1	—	3	39	7	3	92	1	—	275	149	—	—	2
合 計	7,885	4	0	8	465	88	52	1,227	6	40	3,639	2,330	0	0	26

月別救急活動状況

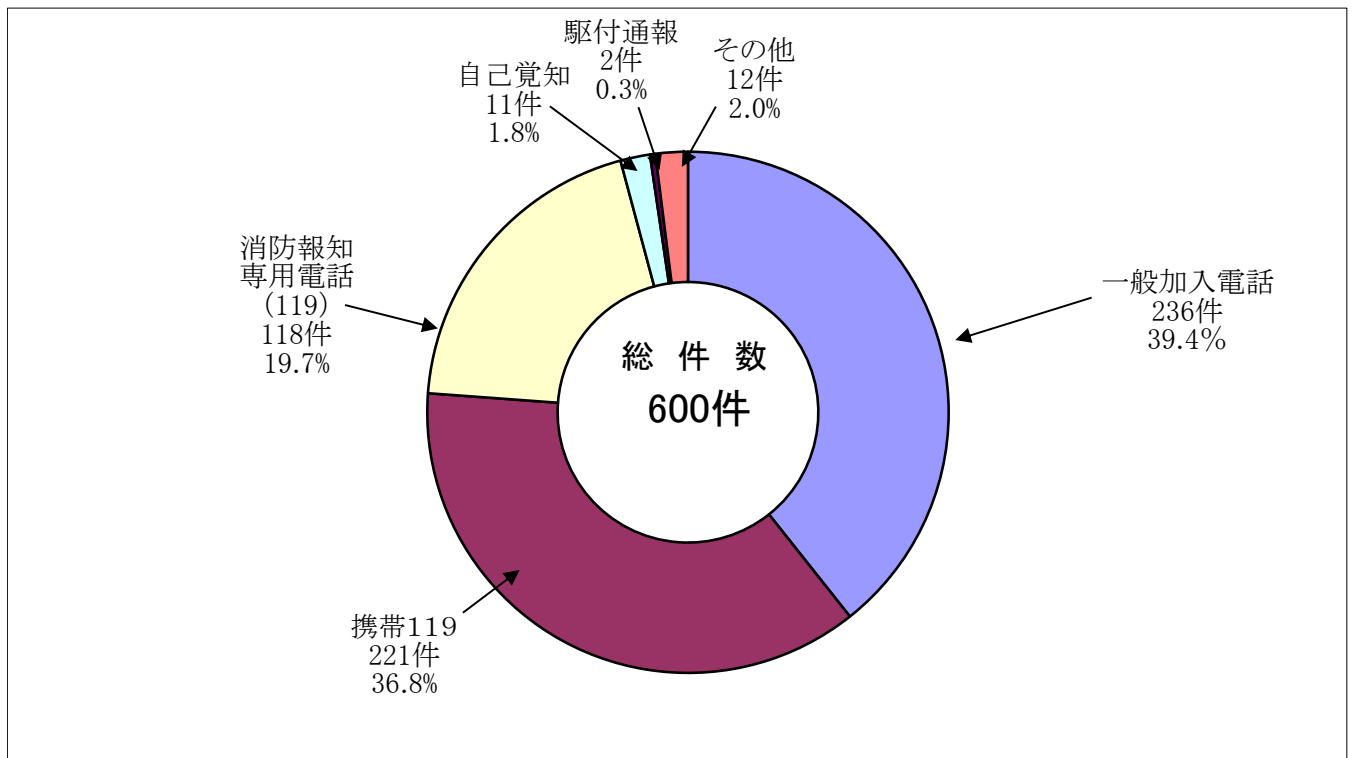
月 別 項 目		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
出 場 件 数		600	64	41	48	34	56	52	53	76	49	35	41	51	
搬 送 人 員		572	61	37	45	29	53	50	55	72	48	32	39	51	
火 災	件数	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	人員	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
自然災害	件数	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	人員	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
水 難	件数	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	
	人員	3	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	
交通事故	件数	40	6	—	4	2	7	4	7	4	3	3	—	—	
	人員	39	6	—	3	2	7	5	7	3	3	3	—	—	
労働災害	件数	9	—	—	—	1	—	—	3	1	1	2	—	1	
	人員	7	—	—	—	1	—	—	3	1	1	1	—	0	
運動競技	件数	3	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	—	—	
	人員	3	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	—	—	
一般負傷	件数	98	9	7	8	4	10	7	9	12	7	5	11	9	
	人員	92	8	7	8	3	10	7	9	11	6	4	10	9	
加 害	件数	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	
	人員	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	
自損行為	件数	2	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	
	人員	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
急 病	件数	293	29	23	22	17	29	30	21	35	28	12	22	25	
	人員	275	27	20	20	13	26	28	21	34	28	11	21	26	
そ の 他	転 院	件数	149	20	9	14	10	10	10	12	21	6	13	8	16
		人員	149	20	9	14	10	10	10	12	21	6	13	8	16
	医 師	件数	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	資器材	件数	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	件数	3	—	—	—	—	—	1	—	—	2	—	—	—
		人員	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—

署・地区別救急活動状況

事故種別 区 分		合 計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他			
													転院	医師	資器材	その他
休 日		155	—	—	—	13	2	1	30	—	1	85	23	—	—	—
休日以外		445	1	—	1	27	7	2	68	1	1	208	126	—	—	3
消防署(本署)		372	1	—	1	21	6	3	56	1	2	169	110	—	—	2
美川支署		228	—	—	—	19	3	—	42	—	—	124	39	—	—	1
出場件数		600	1	—	1	40	9	3	98	1	2	293	149	—	—	3
搬送人員		572	1	—	3	39	7	3	92	1	0	275	149	—	—	2

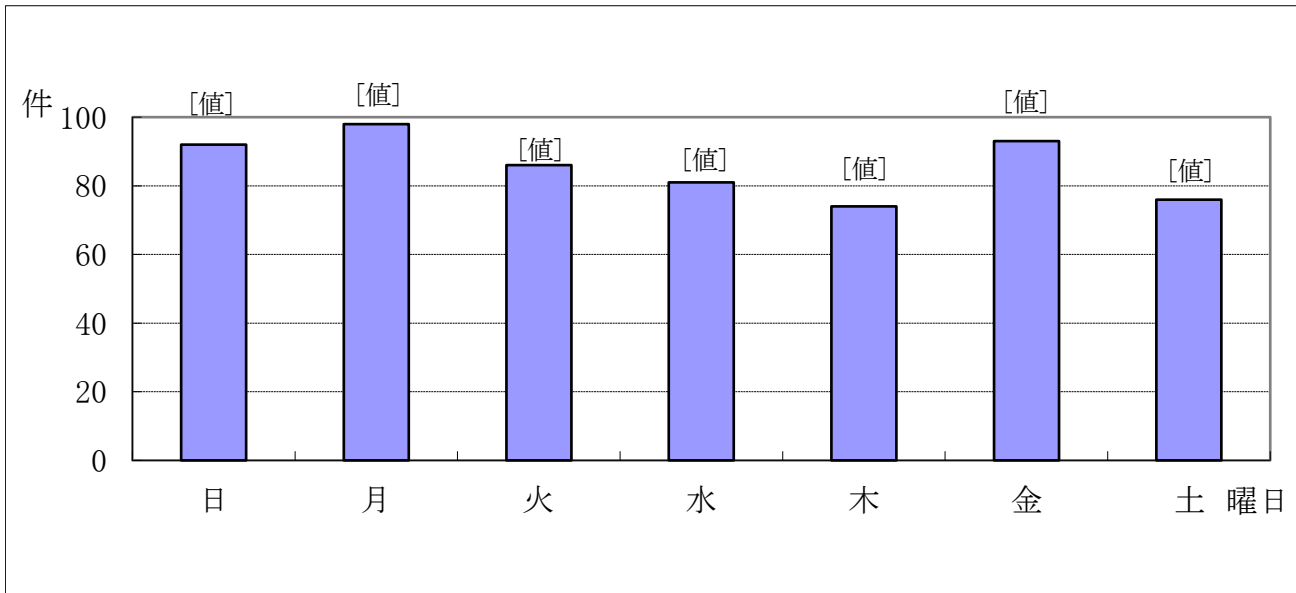
事故種別 区 分		合 計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他			
													転院	医師	資器材	その他
久万高原町	久万地区	383	1	—	—	15	4	3	54	1	1	161	142	—	—	1
	面河地区	39	—	—	1	4	1	—	6	—	1	26	—	—	—	—
	美川地区	117	—	—	—	10	3	—	24	—	—	77	3	—	—	—
	柳谷地区	53	—	—	—	8	1	—	10	—	—	28	4	—	—	2
町 外		8	—	—	—	3	—	—	4	—	—	1	—	—	—	—

覚 知 方 法 別 状 況



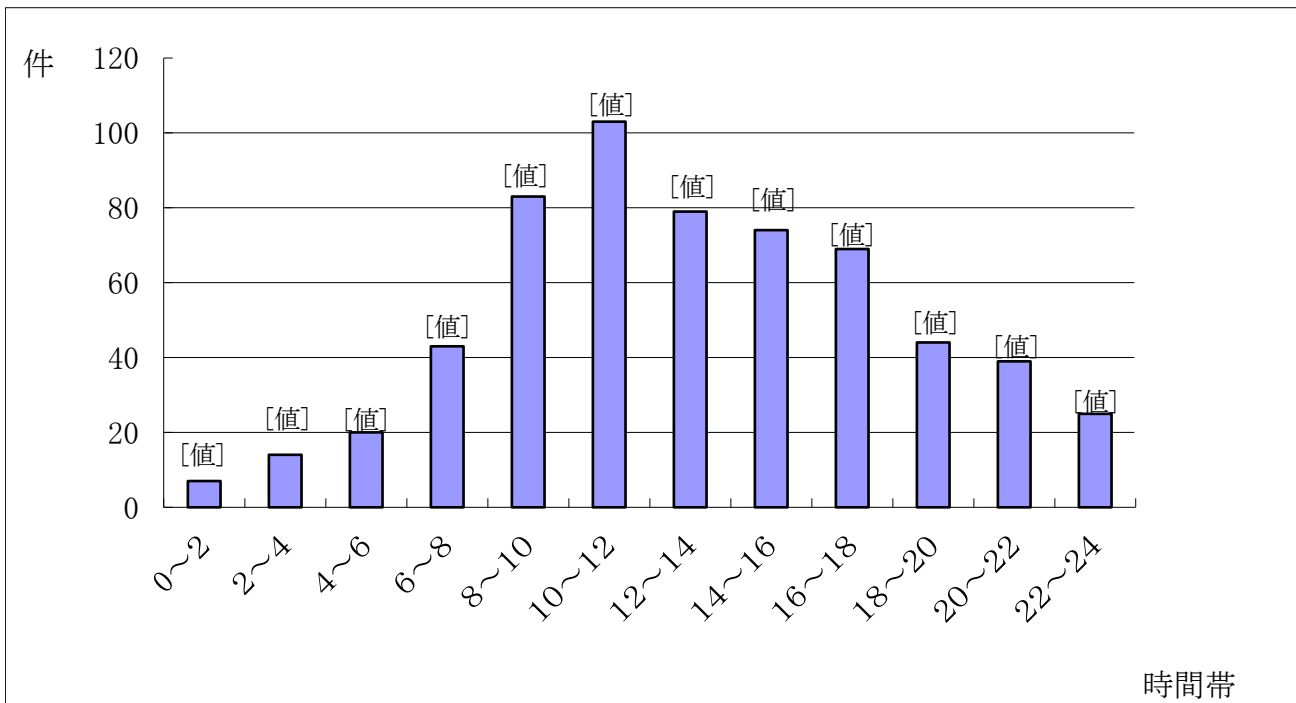
曜日別発生件数状況

(総件数600件)



時間帯別発生件数状況

(総件数600件)



居住区別搬送人員の対人口比

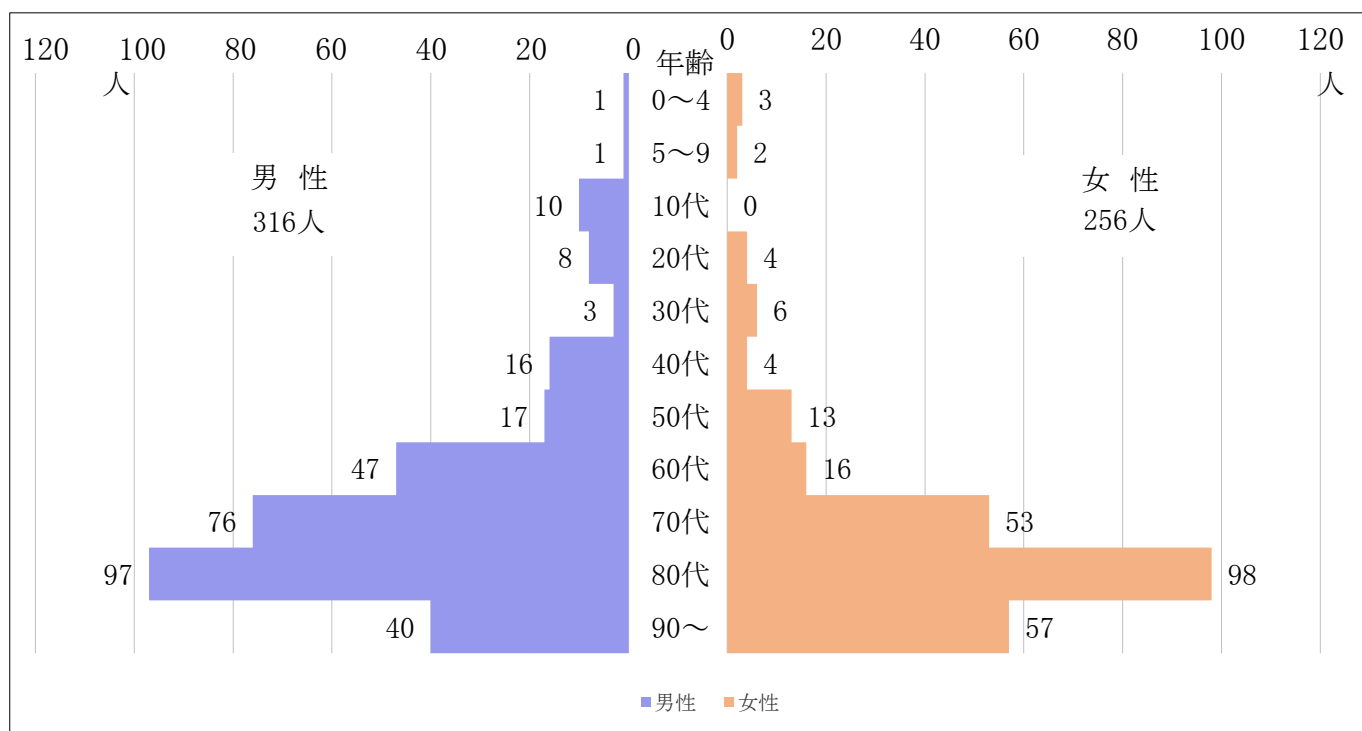
※ 地区別人口は令和6年12月31日現在

項 目	久 万 高 原 町				町 外	合 計
	久万地区	面河地区	美川地区	柳谷地区		
居住別搬送人員	270	44	121	60	77	572
人 口	4,916	404	1,059	510	—	6,889
対 人 口 比	18人に 1 人	9人に 1 人	9人に 1 人	9人に 1 人	—	13人に 1 人

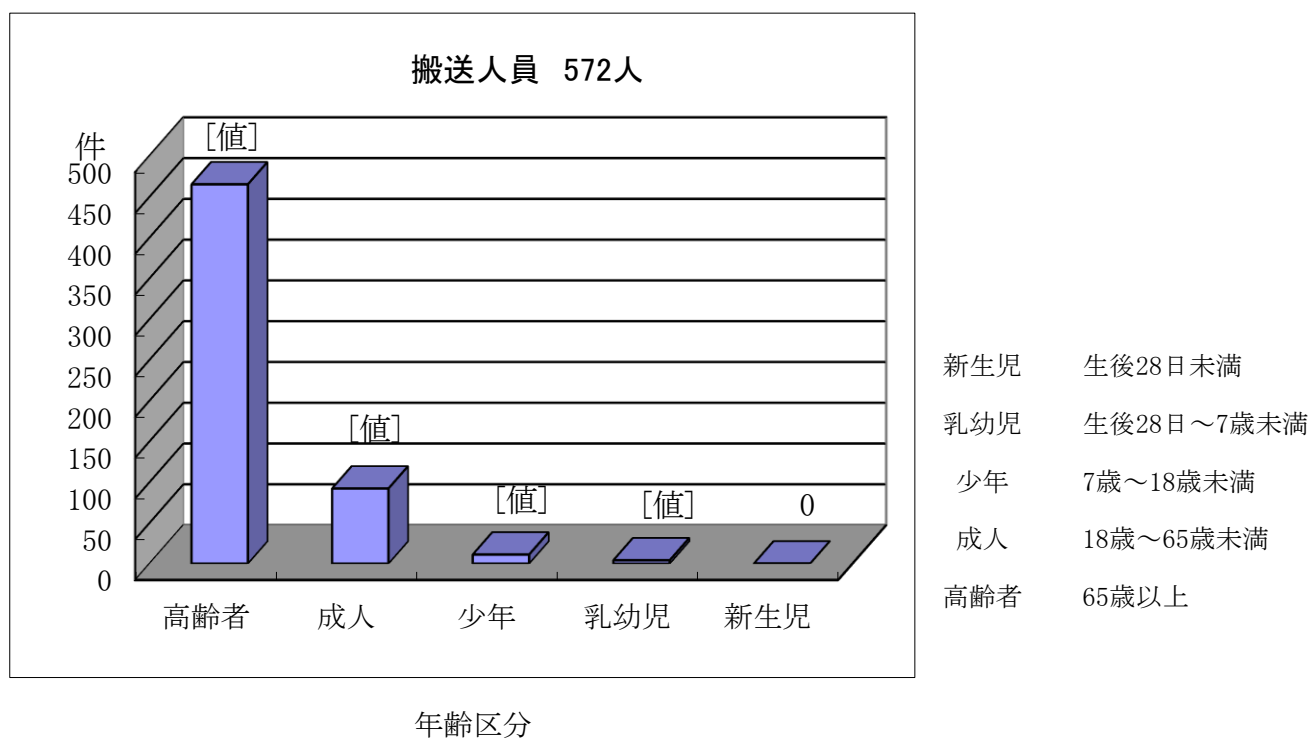
※久万高原町居住者搬送(495人)を、人口割すると14人に1人の搬送となる。

年齢性別区分搬送人員状況

<その1>



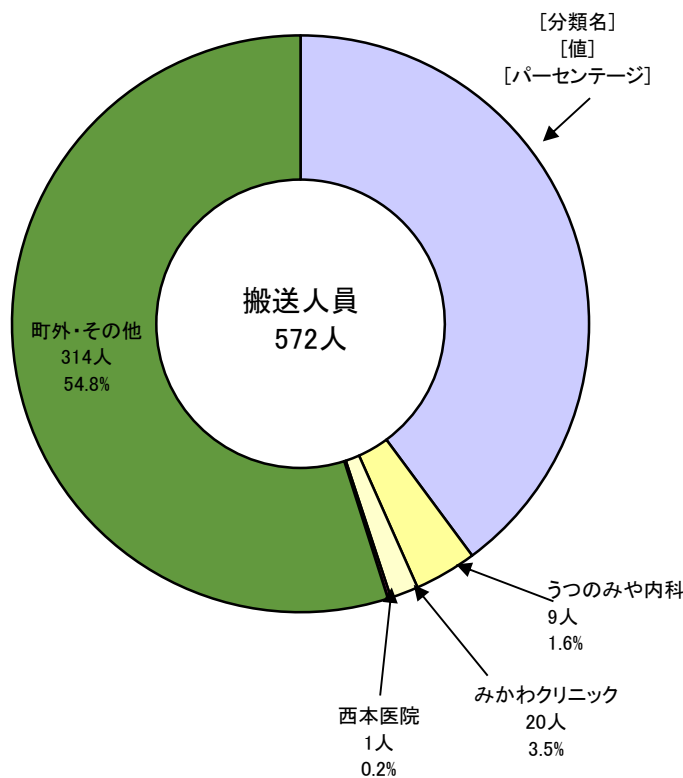
<その2>



医療機関別収容人員の状況

管内医療機関	医 療 機 関 名		開設	人員	内転院	
	告 示	久万高原町立病院		公 立	228	7
	非告示	みかわクリニック		私 的	20	0
		うつのみや内科		私 的	9	0
		社団昇和会西本医院		私 的	1	0
	合 計			258	7	
管外医療機関	救 急 告 示	松山赤十字病院		公 的	58	31
		愛媛県立中央病院		公 立	34	28
		松山市民病院		私 的	31	11
		済生会松山病院		公 的	28	11
		南松山病院		私 的	25	10
		国立病院機構愛媛医療センター		国 立	21	8
		奥島病院		私 的	19	8
		梶浦病院		私 的	13	4
		愛媛生協病院		私 的	11	4
		野本記念病院		私 的	8	4
		平成脳神経外科病院		私 的	7	1
		愛媛大学医学部附属病院		国 立	5	3
		松山城東病院		私 的	4	2
		松山まどんな病院		私 的	4	2
		渡辺病院		私 的	2	0
		笠置記念病院		私 的	2	0
		梶原町立国民健康保険梶原病院		公 的	1	0
	合 計			273	127	
	非告示	救命救急センター		公 立	16	9
		その他県内		私 的	4	2
	合 計			20	11	
特 殊		ドクターヘリ（県外ドクターヘリ含む）		19	4	
		他消防機関（消防防災ヘリ）へ中継		2	0	
		久万高原警察署・その他		0	0	
総 計				572	149	

収容機関別状況



※ その他の医療機関等への搬送人員314人中142人は転院搬送によるもの。

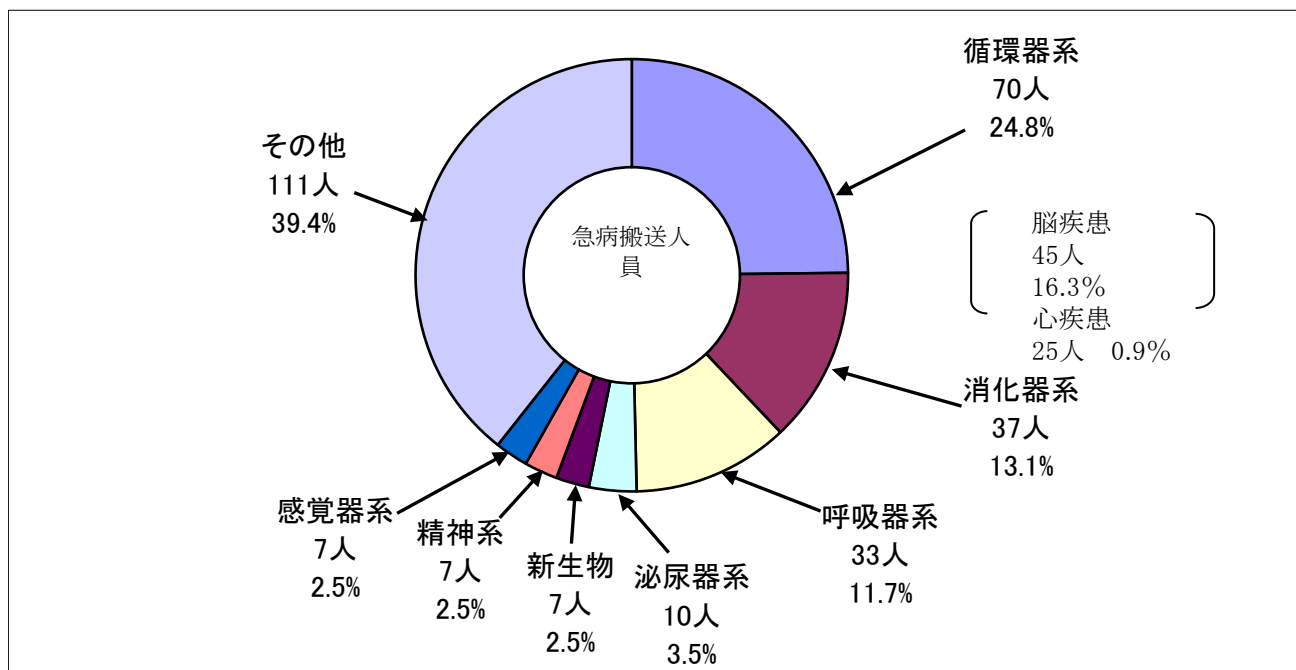
事故種別・傷病程度

事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計	割合
死亡	—	—	—	3	1	—	2	—	—	13	—	19	3.9%
重症	1	—	—	7	—	—	15	—	—	48	36	107	17.9%
中等症	—	—	—	14	3	—	38	1	—	128	98	282	47.8%
軽症	—	—	3	15	3	3	37	—	—	86	17	164	30.4%
計	1	—	3	39	7	3	92	1	0	275	151	572	100.0%

急病疾患別内訳

(急病搬送人員 275人)

疾患別	循環器系		消化器系	呼吸器系	泌尿器系	新生物	精神系	感覚器系	その他
	脳疾患	心疾患							
	45	25							
	45	25	37	33	10	7	7	7	111



事故種別・理由別不搬送

事故種別 不搬送理由	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院	医師	資器材	その他
緊急性なし	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
傷病者なし	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
拒否	8	—	—	—	1	—	—	2	—	—	5	—	—	—	—
酩酊	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
死亡	13	—	—	—	—	—	—	1	—	2	10	—	—	—	—
現場処置	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
誤報・いたづら	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
その他	6	—	—	—	1	2	—	2	—	—	1	—	—	—	—
計	29	—	—	—	2	2	—	5	—	2	17	—	—	—	1

緊急電話受信時における口頭指導内容

(全指導回数16回,26件)

口頭指導内容	件数	口頭指導内容	件数
胸骨圧迫・人工呼吸などに関するもの	15	その他(異物除去、保温、体位管理)	2
止血・被覆などに関するもの	9		

* 指導回数には複数項目の場合が存在するため回数と件数は一致しない

応急処置及び拡大処置件数

事故 種別	応急 処置 対象 人員	止血	固定	被覆	保温	人工呼吸	胸骨圧迫	心肺蘇生法	うち自動心マ使用	酸素吸入	気道確保				
											用手含む総数	うちA	うちB	うちC	うちD
急病	275	—	—	3	58	8	6	6	5	73	18	—	—	5	—
交通	39	6	15	16	6	—	2	2	1	10	2	—	—	1	—
一般負傷	92	6	20	19	22	1	1	1	—	8	2	—	—	—	—
その他	169	1	13	2	29	1	1	1	—	47	1	—	—	1	—
計	575	13	48	40	115	10	10	10	6	138	23	0	0	7	0

事故 種別	応急 処置	在宅療法	ショックパンツ	血圧測定	心音・呼吸音聴診	血中酸素飽和度	心電図	除細動	静脈路確保	心肺機能停止前	静脈路確保 薬剤投与 アドレナリン	ブドウ糖 薬剤投与	血糖測定	その他	合計	拡大された応急処置と特定行為	うち特定行為	
急病	—	—	—	262	21	271	133	—	—	1	1	—	—	1	282	1,154	700	7
交通	—	—	—	36	5	35	9	—	—	—	—	—	—	38	184	87	1	
一般負傷	—	—	—	90	3	91	9	—	—	—	—	—	—	91	364	193	—	
その他	—	—	—	161	13	166	62	—	—	—	—	—	1	161	661	404	1	
計	0	0	0	549	42	563	213	0	1	1	0	0	2	572	2,363	1,384	9	

※ については、拡大された処置

※ 気道確保 A 経鼻エアウェイ使用

※ については、特定行為

B 喉頭鏡・鉗子を使用した異物除去

C ラリングアルマスク等使用

D 気管挿管

現場到着所要時間

	3分未満	3分～5分 未満	5分～10分 未満	10分～20分 未満	20分以上	計	現場到着 平均所要時間
急 病	3	9	93	115	73	293	14.4
交 通	1	1	11	9	17	39	19.4
一般負傷	－	4	23	44	26	97	18.3
その他	1	－	6	5	7	19	16.9
計	5	14	133	173	123	448	15.8
転 院	10	20	94	16	9	149	6.8
総 計	15	34	227	189	132	597	13.5

※出場途上辞退3件を除く

医療機関収容所要時間状況

	10分未満	10分～20分 未満	20分～30分 未満	30分～60分 未満	60分～120分 未満	120分以上	計	収容平均 所要時間
急 病	－	8	32	117	108	10	275	58.4
交 通	－	－	3	13	17	6	39	72.7
一般負傷	－	6	5	28	47	6	92	68.0
その他	－	－	2	5	10	－	17	52.4
計	0	14	42	163	182	22	423	61.6
転 院	－	3	－	113	33	－	149	53.9
総 計	0	17	42	276	215	22	572	59.6

平均出場時間

	令和6年度	令和5年度
総出場件数	600件	577件
総出場時間	1109時間44分	1046時間35分
全平均時間	1時間51分	1時間49分

ドクターヘリ及びドクターカーとの連携活動状況

＜ドクターヘリの運航状況一覧表＞

年次	件数 (No)	種別	傷病名または要因	程度	収容医療機関
平成21年	1	一般	出血性ショック	重症	救命救急センター
平成22年	1	一般	多発外傷	その他	救命救急センター
	2	急病	狭心症疑い	軽症	救命救急センター
	3	一般	左下腿開放骨折	重症	救命救急センター
	4	急病	AMI	その他	救命救急センター
	5	労災	頭部外傷	中等症	救命救急センター
平成23年	1	交通	自転車での転倒	重症	救命救急センター
	2	労災	木材運搬車の下敷	その他	高知医療センター
平成25年	1	交通	高エネルギー外傷	重症	救命救急センター
平成27年	1	一般	左下腿挫減創	重症	救命救急センター
	2	労災	多発外傷	中等症	救命救急センター
	3	交通	右前腕・踵骨骨折	重症	救命救急センター
	4	交通	CPA	死亡	救命救急センター
令和3年	1	転院	急性冠症候群	重症	救命救急センター

＜ドクターカー運行状況一覧表＞

年次	件数 (No)	種別	傷病名	程度	収容医療機関
平成22年	1	労災	急性硬膜外血腫	重症	救命救急センター
	2	一般	右大腿切創	中等症	救命救急センター
	3	一般	左前腕開放骨折	重症	救命救急センター
平成23年	1	一般	頸髄損傷	重症	救命救急センター
平成24年	1	交通	仙骨開放骨折	重症	救命救急センター
	2	労災	脳挫傷・外傷性SAH	重症	救命救急センター
	3	転院	痙攣重積	中等症	救命救急センター
	4	急病	ACS・CPA蘇生後	重症	救命救急センター
平成25年	1	一般	右脛骨・左大腿骨骨折	重症	救命救急センター
	2	交通	左膝蓋骨開放骨折	重症	救命救急センター
	3	交通	顔面複雑骨折	重篤	救命救急センター
	4	転院	骨盤骨折	重症	救命救急センター
	5	転院	くも膜下出血	重篤	救命救急センター
	6	転院	頸髄損傷	重篤	救命救急センター
	7	交通	左視床出血・全身打撲	重症	高知消防防災ヘリ
平成26年	1	交通	熱傷	重症	救命救急センター
平成27年	1	急病	急性心不全	重症	救命救急センター
	2	一般	胸髄損傷	重症	救命救急センター
	3	交通	多発骨折	重症	救命救急センター
	4	一般	熱傷	軽症	救命救急センター
	5	交通	腹腔内出血	重症	救命救急センター
	6	労災	脊髄損傷疑い	軽症	救命救急センター
平成28年	1	急病	てんかん重積状態	重症	救命救急センター
	2	一般	圧挫傷	中等症	救命救急センター
	3	交通	多発性外傷	重症	救命救急センター
	4	交通	多発性外傷	中等症	救命救急センター
平成29年	1	転院	急性呼吸不全	重症	救命救急センター
	2	急病	急性冠症候群	中等症	救命救急センター
	3	急病	急性心不全	重症	救命救急センター
平成30年	1	急病	急性冠症候群	重症	救命救急センター
令和5年	1	急病	心原性脳梗塞	重症	救命救急センター

※令和元年～4年については、ドクターカー要請0件。

<ドクターヘリ運航状況一覧表>

年次	件数 (No)	種別	傷病名	程度	収容医療機関
令和 6年	1	転 院	消化管出血	中等症	県立中央病院
	2	一般負傷	頸椎損傷	中等症	救命センター
	3	交 通	頭部外傷	中等症	愛媛大学医学部附属病院
	4	転 院	上部消化管出血	中等症	救命センター
	5	交 通	多発性外傷	重 症	救命センター
	6	急 病	脳幹部出血	重 症	松山赤十字病院
	7	一般負傷	頭部外傷	重 症	愛媛大学医学部附属病院
	8	一般負傷	外傷性くも膜下出血	重 症	済生会松山病院
	9	転 院	穿孔性腹膜炎	中等症	救命センター
	10	交 通	多発性外傷	重 症	愛媛大学医学部附属病院
	11	労 災	右下腿開放創	中等症	愛媛大学医学部附属病院
	12	急 病	痙攣重責	中等症	救命センター
	13	急 病	頸椎損傷	重 症	救命センター
	14	急 病	肺血栓塞栓症	重 症	愛媛大学医学部附属病院
	15	急 病	低血糖昏睡	重 症	愛媛大学医学部附属病院
	16	急 病	脳梗塞	重 症	救命センター
	17	転 院	蜂刺傷	重 症	救命センター
	18	急 病	被殻出血	重 症	愛媛大学医学部附属病院
	19	急 病	てんかん重責発作	中等症	梶浦病院

年次	ドクターヘリの運航総件数 (平成21年運用開始)	ドクターカー運行総件数 (平成22年運用開始)	ドクターヘリ運航総件数 (平成29年運航開始)
平成27年	4	6	
28年	—	4	
29年	—	3	16
30年	—	1	20
令和元年	—	—	14
2年	—	—	13
3年	1	—	9
4年	—	—	18
5年	—	1	12
6年	—	1	19
合計	5	16	121

救 助 編

救助出動及び活動状況

事故種別 区 分		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他						合 計
										高 所 転 落	搬 送 応 援	ヘ リ 支 援	捜 索 活 動	山 岳 事 故	そ の 他	
出 動 件 数		5	6	1	-	1	1	-	-	-	11	19	4	9	5	62
活 動 件 数		5	4	1	-	1	1	-	-	-	10	14	2	6	5	49
救 助 人 員		-	7	1	-	1	1	-	-	-	10	14	2	6	5	47
出 動 人 員	救 助 隊 員	36	11	2	-	2	1	-	-	-	19	35	30	29	9	174
	消 防 隊 員	83	11	-	-	4	-	-	-	-	9	16	38	5	10	176
	救 急 隊 員	3	27	3	-	3	3	-	-	-	33	57	6	18	12	165
	計 (人)	122	49	5	-	9	4	-	-	-	61	108	74	52	31	515
活 動 人 員	救 助 隊 員	36	7	2	-	2	1	-	-	-	17	28	27	17	9	146
	消 防 隊 員	83	10	-	-	4	-	-	-	-	9	13	35	2	10	166
	救 急 隊 員	3	27	3	-	3	3	-	-	-	33	57	3	9	12	153
	計 (人)	122	44	5	-	9	4	-	-	-	59	98	65	28	31	465
活 動 車 両 等	救 助 工 作 車	5	7	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	4	19
	ポ ン プ 車	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
	救 急 車	2	6	1	-	1	1	-	-	-	12	14	6	6	5	54
	そ の 他	19	2	1	-	2	1	-	-	-	14	7	21	12	1	80
	防 災 ヘ リ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	6	1	10
	計 (台)	31	18	2	-	4	2	-	-	-	29	21	29	24	11	171

(注) 山岳事故については、応援協定に基づき、管轄外での活動件数を含む。

過去 5 年間の救助活動状況の推移

区 分 年 別	救 助 出 動 件 数		救 助 活 動 件 数		救 助 人 員	
	件数	増減率(%)	件数	増減率(%)	人員	増減率(%)
R 2 年	39	△2.5	32	6.7	31	6.9
R 3 年	36	△7.7	26	△18.8	25	△19.4
R 4 年	59	63.9	54	107.7	48	92.0
R 5 年	45	△23.7	38	△29.6	38	△20.8
R 6 年	62	37.8	49	28.9	47	23.7

救助関係資器材の保有状況

名称		数量	名称		数量
一般救助用器具	かぎ付きはしご	2	隊員保護用器具	耐電手袋	2
	三連はしご	3		耐電衣	2
	空気式救助マット	1		耐電ズボン	2
	救命索発射銃	1		耐電長靴	2
	サバイバースリング 又は救助用縛帯	3		防毒マスク	5
	エバックハーネス	1		防塵マスク	10
	平坦架	2		化学防護服	5
	ガス測定器	2		肘プロテクター	11
	送排風機	1		膝プロテクター	11
	簡易画像探索機	1		空気呼吸器	17
	熱画像赤外線カメラ	1		酸素呼吸器	4
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	2	搬送用資機材	バスケット型担架	3
	油圧スプレッダー	3		減圧担架	1
	可搬ウィンチ	2		キャリングシート	1
	マット型空気ジャッキ	5		キャリングラック	1
	大型油圧スプレッダー	2		サーモソフト ストレッチャー	1
	チェーンブロック	1		バーティカル ストレッチャー	1
切断用器具	油圧切断機	2	その他	緩降機	1
	エンジンカッター	3		救命胴衣	10
	チェーンソー	4		救命ボート	2
	ガス溶断機	1		救命浮環	6
	鉄線カッター	2		流水救助器材	2
	空気切断機	1		エアテント	1
	大型油圧切断機	2		懸垂降下器	10
	空気鋸	1		登はん器具	4
破壊器具	万能斧	4		ハーネス	13
	ハンマー	3		携帯GPS	3
	削岩機	1			
	ハンマドリル	2			

ヘリコプター離着陸場一覧

久万地区						
1	A	上野尻	笛ヶ滝公園ラグビー場	久万高原町	教育委員会	芝 生
2	B (準)	上畑野川	畑野川小学校	久万高原町	教育委員会	真砂土転圧
3	B (準)	下畑野川	千本高原グラウンド	久万高原町	ふるさと創生課	真砂土転圧
4	A	菅生	久万公園グラウンド	久万高原町	教育委員会	真砂土転圧
5	A	菅生	久万高原ラグビー場	久万高原町	教育委員会	人 工 芝
6	C	菅生	榎谷分校跡	久万高原町	総務課	真砂土転圧
7	B (準)	直瀬	直瀬小学校	久万高原町	教育委員会	真砂土転圧
8	B (準)	東明神	明神小学校	久万高原町	教育委員会	真砂土転圧
9	B (適)	露峰	父二峰小学校	久万高原町	教育委員会	アスファルト
10	B (適)	下野尻	久万高原消防ヘリポート	久万高原町	消防本部	アスファルト
美川地区						
11	A	上黒岩	美川中学校	久万高原町	教育委員会	真砂土転圧
12	A	日野浦	美川スキー場駐車場	久万高原町	ふるさと創生課	アスファルト
13	B (準)	東川	仕七川小学校	久万高原町	教育委員会	真砂土転圧
14	B (準)	東川	山村広場	久万高原町	教育委員会	真砂土転圧
15	B (適)	日野浦	日野浦ヘリポート	久万高原町	教育委員会	アスファルト
16	B (適)	黒藤川	二箇ヘリポート	久万高原町	教育委員会	アスファルト
17	B (適)	黒藤川	黒藤川ヘリポート	久万高原町	教育委員会	アスファルト
面河地区						
18	C	大成	大成神社	久万高原町	総務課	砂 利 転 圧
19	A	笠方	面河ダム	久万高原町	ふるさと創生課	真砂土転圧
20	B (準)	渋草	面河小学校	久万高原町	教育委員会	真砂土転圧
21	B (適)	中組	面河ヘリポート	久万高原町	教育委員会	アスファルト
22	B (適)	相ノ峰	相ノ峰ヘリポート	久万高原町	総務課	アスファルト
柳谷地区						
23	A	柳井川	柳谷小学校	久万高原町	教育委員会	真砂土転圧
24	B (適)	西谷	姫鶴運動場	姫鶴荘		真砂土転圧
25	B (準)	西谷	四国電力ヘリポート	四国電力 (愛媛支店技術部面河水力センター)		アスファルト
26	B (適)	西谷	中久保ヘリポート	久万高原町	総務課	アスファルト
27	B (適)	西谷	川成ヘリポート	久万高原町	総務課	アスファルト
28	B (適)	中津	休場ヘリポート	久万高原町	総務課	アスファルト
石鎚山関係						
29	B (適)	石鎚山系	石鎚山土小屋第2駐車場	愛媛県自然保護課		アスファルト
30	B (準)	石鎚山系	石鎚スカイライン中間展望台	中予地方局 久万土木事務所		砂 利 転 圧

A: 地域拠点飛行場外離着陸場

航空法第 79 条ただし書きに基づき、国土交通大臣の許可を常時得た場外離着陸場で、平時の訓練及び緊急患者搬送や災害時などに即応して、直ちに使用できる状態を確保している場外離着陸場。

※一部、離着陸に際し散水の必要有り。

B: 緊急時離着陸場

事故若しくは災害発生時等緊急時に使用する離着陸場。

(適): 離着陸に関し散水の必要が無い場所

(準): 離着陸に関し散水が必要な場所

C: 孤立地区対策緊急時離着陸場

町が孤立地区対策として指定する離着陸場で、事故若しくは災害発生時等、緊急時に離着陸し、またはホイストにより吊り上げを行う緊急時の離着陸場。

消 防 団 編

消防団の沿革

平成 16 年 8 月 1 日、久万町、面河村、美川村、柳谷村の 4 町村が合併し、久万高原町が誕生しました。これに伴い、消防団も合併し、条例定数 717 名（平成 16 年 8 月 1 日実員 683 名）17 分団 31 部とし、旧町村の消防機材（消防ポンプ車 2 台、消防ポンプ積載車 47 台、小型動力ポンプ 71 台）を引き継ぎ、久万高原町消防団が発足しました。

合併初年度である平成 16 年度事業として、団員の士気の向上を図ることを目的に、活動服の統一を実施するとともに、更なる消防力の強化を目的として、耐用年数を大幅に経過した積載車 2 台（久万・美川各 1 台）を更新整備しました。

また、石油貯蔵施設立地対策等交付金事業及び電源立地地域対策交付金事業等を活用し、積載車等資機材を年次計画により更新しております。

しかしながら、労働人口の町外流出、住民の高齢化は消防団にとっても深刻な問題であり、地域によっては団員確保が困難な状況となっております。

そのため、分団の配置、出動態勢の見直し等、消防団の組織再編を検討し、令和 4 年 4 月 1 日、機構改革による再編成を行い、条例定数 600 名、10 分団 31 部としました。

平成 16 年	8 月	1 日	町村合併により久万高原町消防団となる
平成 17 年	2 月	21 日	久万第 3 分団第 4 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） 美川第 1 分団第 3 部積載車更新（日本損害保険協会寄贈）
	3 月	6 日	愛媛県消防協会長表彰（竿頭綬）を受章
	4 月	1 日	機構改革により 12 分団 36 部に再編成
	10 月	20 日	第 17 回全国女性消防操法大会出場（美川方面隊古味女性消防隊）
	11 月	25 日	久万第 2 分団第 2 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成 18 年	4 月	1 日	女性消防団員 21 名となる
	7 月	23 日	第 1 回久万高原町消防操法大会
平成 19 年	2 月	19 日	日本消防協会長表彰（竿頭綬）を受章
		27 日	久万第 4 分団第 2 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4 月	1 日	女性消防団員 24 名となる
	10 月	22 日	久万第 3 分団第 1 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	11 月	7 日	携帯用投光器 197 個配備（消防基金安全装備品助成事業）
	11 月	7 日	投光器一式 8 基配備（消防基金安全装備品助成事業）
平成 20 年	3 月	7 日	消防庁長官表彰（表彰旗）を受章
	4 月	1 日	消防団幹部（副分団長以上）3 年任期により役員改選
	6 月	29 日	第 2 回久万高原町消防操法大会
	12 月	6 日	携帯用投光器 270 個配備（消防基金安全装備品助成事業）
平成 21 年	2 月	20 日	久万第 4 分団第 3 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
		20 日	美川第 2 分団第 4 部積載車更新（電源立地地域対策交付金事業）
	7 月	11 日	小型動力ポンプ更新整備事業 6 台（地域活性化・生活対策臨時交付金事業）
	10 月	9 日	久万第 3 分団第 3 部積載車更新（石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	11 月	24 日	消防団管理積載車に搭載していない可搬ポンプ 22 台を地域移管
	12 月	20 日	携帯用投光器 250 個配備（消防基金安全装備品助成事業）

平成 22 年	3 月	2 日	美川第 2 分団第 2 部小型動力ポンプ付き積載車更新 (電源立地地域対策交付金事業)
		29 日	久万第 2 分団第 1 部ポンプ自動車更新 (電源立地地域対策交付金事業)
		31 日	消防団車庫 50 施設中 13 施設修繕工事实施 (町単独事業)
	4 月	30 日	消防団車庫 50 施設中 8 施設新築工事实施 (地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業)
	6 月	20 日	第 3 回久万高原町消防操法大会
	11 月	12 日	ケブラー手袋 230 双配備 (消防基金安全装備品助成事業)
		29 日	久万第 1 分団第 2 部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成 23 年	1 月	21 日	柳谷第 1 分団第 1 部多機能型車両受領 (日本消防協会)
	2 月	23 日	面河第 1 分団第 2 部及び第 3 部並びに美川第 1 分団第 2 部及び 第 3 分団第 3 部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新 (電源立地地域対策交付金事業)
	3 月	30 日	久万高原町消防団本部拠点施設新築工事竣工 (地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業)
	4 月	1 日	消防団幹部 (副分団長以上) 3 年任期により役員改選
		15 日	久万第 2 分団第 2 部詰所車庫改築工事竣工 (地域活性化・きめ細やかな臨時交付金事業)
平成 24 年	2 月	6 日	ケブラー手袋 230 双配備 (消防基金安全装備品助成事業)
	3 月	16 日	久万第 3 分団第 2 部積載車更新 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	6 月	24 日	第 4 回久万高原町消防操法大会
	6 月	28 日	バルーン式投光器 5 台配備 (消防団安全対策設備整備費補助事業)
	9 月	28 日	テント 3 張, パイプイス 30 台配備 (コミュニティ助成事業)
	11 月	29 日	ケブラー手袋 257 双配備 (消防基金安全装備品助成事業)
	12 月	21 日	久万第 2 分団第 3 部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成 25 年	1 月	18 日	雨衣 401 着配備 (町単独事業)
	2 月	26 日	日本消防協会長表彰 (竿頭綬) を受章
	4 月	1 日	女性消防団員 23 名となる
	7 月	1 日	女性消防団員 25 名となる
		29 日	雨衣 323 着配備 (町単独事業)
	10 月	31 日	久万第 4 分団第 1 部小型動力ポンプ付き軽四輪駆動積載車更新 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	11 月	25 日	消防団 120 年・自治体消防 65 周年記念大会参加
		26 日	及び東日本大震災被災地復興視察
	3 月	2 日	愛媛県消防協会長表彰 (竿頭綬) を受章
平成 26 年		21 日	面河第 1 分団第 1 部多機能型車両及び拠点資機材等受領 (総務省消防庁)
	4 月	1 日	消防団幹部 (副分団長以上) 3 年任期により役員改選 女性消防団員 26 名となる
	4 月	16 日	土居団長, 愛媛県消防協会長へ就任
	5 月	1 日	女性消防団員 24 名となる
	5 月	11 日	土居団長, 日本消防協会監事及び全日本消防人共済会総代へ就任
	6 月	22 日	第 5 回久万高原町消防操法大会

	6月	12日	救助用半長靴 700 足配備（消防基金安全装備品助成事業）
	2月	1日	全方面隊合同訓練（ふるさと旅行村）
	11月	1日	女性消防団員 25 名となる
平成 27 年	2月	13日	広島市土砂災害視察（幹部研修）（～14 日）
	5月	11日	新任団員研修会
	6月		消防団組織再編に向けた方面隊現状確認
	10月		〃
	12月		〃
平成 28 年	1月	1日	女性消防団員 24 名となる
	5月	17日	土居団長，愛媛県消防協会長を留任
	6月	17日	土居団長，日本消防協会理事へ就任
		19日	第 6 回久万高原町消防操法大会
	8月	24日	全国救助技術大会視察（幹部研修）
	11月	29日	団本部防災活動車（三菱デリカ）を受領（日本消防協会）
平成 29 年	3月	7日	日本消防協会特別表彰「まとい」を受章
	4月	1日	女性消防団員 23 名となる
	5月	10日	面河地区前組の火災出動範囲を変更（久万 3-1, 3-2 を加える）
		27日	特別表彰「まとい」受章祝賀会を開催
	6月	1日	役場本庁職員 15 人体制で団本部消防隊を結成
	11月	30日	面河第 2 分団第 1 部小型動力ポンプ付積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成 30 年	3月	7日	消防団 125 年・自治体消防 70 周年記念大会参加
	5月	18日	土居団長，愛媛県消防協会長を留任
	6月	1日	女性消防団員 26 名となる
		15日	土居団長，日本消防協会副会長へ就任
		17日	第 7 回久万高原町消防操法大会
	7月	1日	女性消防団員 25 名となる
	8月	28日	救助用半長靴兼防火用長靴を面河方面隊に配備（コミュニティ助成事業） ヘルメット更新配備 665 個（町単独事業）
	10月	17日	活動服更新配備 700 着（町単独事業）
		23日	アポロキャップ配備 700 個（町単独事業）
	12月	13日	防火衣（48 着）・防火帽（48 個）更新配備 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成 31 年	3月	5日	日本消防協会会長表彰（竿頭綬）を受章
令和元年	6月	8日	岡山県倉敷市真備町豪雨災害視察（幹部研修）（～9 日）
	9月	2日	第 1 回消防団再編検討委員会
	10月	20日	新任団員研修会
	10月	25日	第 2 回消防団再編検討委員会
	11月	8日	救助用半長靴兼防火用長靴を柳谷方面隊に配備 （消防団安全装備品整備事業）
	11月	27日	第 3 回消防団再編検討委員会
	12月	4日	団本部指令車（日産エクストレイル）を受領（日本消防協会）
	12月	19日	防火衣（50 着）・防火帽（50 個）更新整備 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）

令和 2 年	2 月	16 日	愛媛県消防協会会長表彰（竿頭綬）を受章
	4 月	1 日	消防団幹部（副分団長以上）3 年任期により役員改選 愛媛県消防団広域相互応援協定を締結
	5 月	1 日	美川地区の火災出動範囲を変更（方面隊管轄内出動）
	6 月	21 日	第 8 回久万高原町消防操法大会 （新型コロナウイルス感染防止のため延期）
	6 月	24 日	土居団長、日本消防協会副会長を退任
	8 月	6 日	土居団長、愛媛県消防協会会長を退任
	8 月	11 日	消防団移動系無線整備基本設計（町単独）
	9 月	13 日	土居団長、消防団長を退任
	9 月	14 日	立野副団長、消防団長へ就任
	9 月	30 日	救助用半長靴兼防火用長靴を美川方面隊第 3 分団に配備 （消防団安全装備品整備事業）
令和 3 年	2 月	21 日	令和 3 年久万高原町消防団出初式 （新型コロナウイルス感染防止のため中止）
	3 月	3 日	本部消防隊消防ポンプ自動車及び救助資機材受領（総務省消防庁）
	3 月	8 日	美川第 2 分団第 1 部小型動力ポンプ付積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	3 月	15 日	消防団移動系無線整備実施設計（町単独）
	3 月	16 日	携帯用デジタル簡易無線機 160 台購入 （消防団救助能力向上資機材緊急整備事業）
	4 月	1 日	女性消防団員 24 名となる
	7 月	1 日	美川地区の火災出動範囲を変更（分団管轄内出動）
	9 月	14 日	救助用半長靴兼防火用長靴を美川方面隊第 1 分団第 2 分団に配備 （消防団安全装備品整備事業）
令和 4 年	2 月	20 日	令和 4 年久万高原町消防団出初式 （新型コロナウイルス感染防止のため中止）
	3 月	16 日	久万第 4 分団第 4 部小型動力ポンプ付積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4 月	1 日	条例改定に伴い、定数及び報酬を 1 部変更
	8 月	7 日	第 33 回愛媛県消防操法大会（久万第 1 分団第 3 部）
	10 月	21 日	救助用半長靴兼防火用長靴を久万方面隊に配備（コミュニティ助成事業）
令和 5 年	2 月	19 日	令和 5 年久万高原町消防団出初式
	3 月	10 日	柳谷第 1 分団第 3 部小型動力ポンプ付積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4 月	1 日	女性消防団員 22 名となる
	4 月	29 日	土居敏夫元団長、春の叙勲、瑞宝双光章を受章
	5 月	30 日	久万広域森林組合、愛媛県消防団協力事業所知事表彰授賞
	8 月	31 日	立野団長、消防団長を退任
	9 月	1 日	瀧内副団長、消防団長へ就任
令和 6 年	2 月	18 日	令和 6 年久万高原町消防団出初式
	3 月	29 日	柳谷第 1 分団第 1 部小型動力ポンプ付積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4 月	1 日	女性消防団員 21 名となる
	6 月	23 日	第 8 回久万高原町消防操法大会

令和7年	7月	28日	第34回愛媛県消防操法大会（柳谷第1分団）
	2月	16日	令和7年度久万高原町消防団出初式
	2月	5日	久万第1分団第1部小型動力ポンプ付積載車更新 （石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	2月	5日	美川第3分団第1部小型動力ポンプ付積載車更新 （電源立地地域対策等交付金事業）

※旧町村別消防団の沿革については，平成24年度版年報以前を参照

階級別消防団員数・・・消防団員の高齢化対策が今後の課題

区 別	20歳 以下	21歳 ～ 25歳	26歳 ～ 30歳	31歳 ～ 35歳	36歳 ～ 40歳	41歳 ～ 45歳	46歳 ～ 50歳	51歳 ～ 55歳	56歳 ～ 60歳	61歳 ～ 64歳	65歳 以上	合 計
団 長	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1
副 団 長	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	3	4
分 団 長	－	－	－	－	－	－	－	2	3	1	4	10
副分団長	－	－	－	－	－	－	1	2	1	2	4	10
部 長	－	－	1	－	－	2	4	6	5	9	4	31
班 長	－	－	2	2	8	13	17	16	9	3	16	86
団 員	3	7	20	35	31	33	52	53	47	46	90	417
(うち女性団員)	－	－	2	2	－	－	4	5	2	－	6	21
合 計	3	7	23	37	39	48	74	79	65	62	122	559

消防団員の職業構成

職業構成別の 状況	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業
	63	61	1	1	75	14
	電気・ガス 熱供給・ 水道業	運輸 通信業	御売業 小売業 飲食店	金融業 保険業	不動産業	サービス業
	9	19	16	2	0	69
	公務・ 他に分類さ れないもの	分類不能 の産業	その他	合計		
	186 ※	0	43	559		

※ 内訳	国家公務員	日本郵政公社 職員	地方公務員	特殊法人等公務員に 準ずる職員
	0	6	120	60

就業形態別の 状況	雇用者	役員	雇用のある 業主	雇用のない 業主	家族従業者	家庭内職者
	383	6	19	30	22	15
	その他	合計				
	84	559				

年齢別消防団員数

区 別	20歳 以下	21歳 ～ 25歳	26歳 ～ 30歳	31歳 ～ 35歳	36歳 ～ 40歳	41歳 ～ 45歳	46歳 ～ 50歳	51歳 ～ 55歳	56歳 以上	合 計	平均 年齢
久万高原町消防団	3	7	23	37	39	48	74	79	249	559	52.6
内女性団員	—	—	2	2	—	—	4	5	8	21	52.0

在職年数別消防団員数

区 分	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
久万高原町消防団	62	78	70	87	52	59	151	559
内女性団員	1	5	5	9	1	—	—	21

消防団員の退職・新任状況

区 分	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
退職	2	5	2	3	2	1	21	36
区 分	25歳以下	26歳以上 30歳以下	31歳以上 35歳以下	36歳以上 40歳以下	41歳以上 45歳以下	46歳以上 50歳以下	51歳以上	合 計
新任	2	3	0	3	1	1	18	28

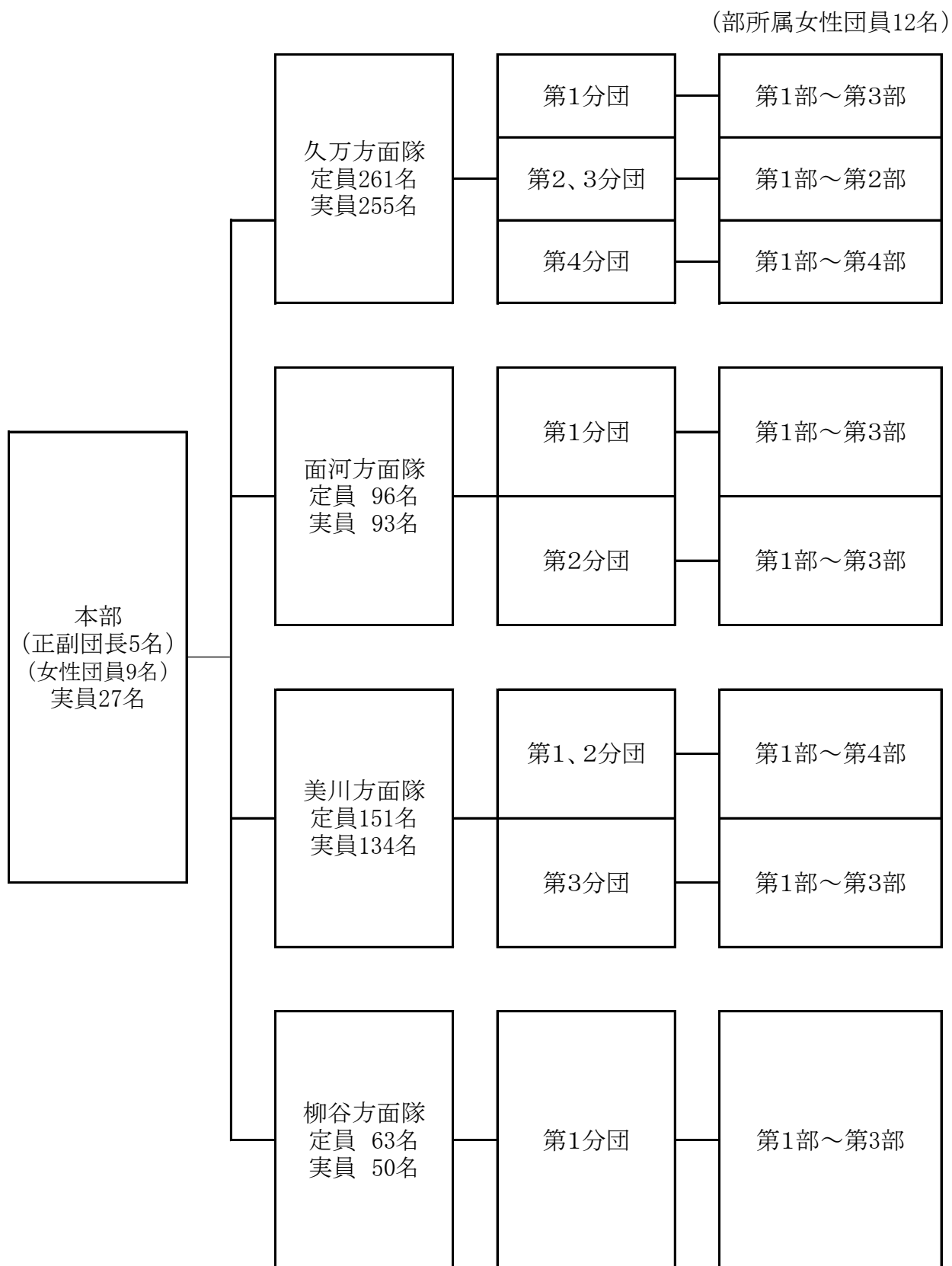
消防団年俸調べ

団 長	副団長 (本部付)	副団長 (方面隊長兼務)	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
134,500	107,500	87,500	65,500	54,500	51,500	39,500	36,500

消防団手当調べ

火災出動手当	風水害出動手当	警戒出動手当	教養訓練出動手当	その他の手当
4,000(4時間未満)	4,000(4時間未満)	4,000(4時間未満)		
8,000(4時間以上)	8,000(4時間以上)	8,000(4時間以上)	4,300	2,000

久万高原町消防団組織図



各方面隊別出動範囲

方面隊	分団	管轄		出動範囲
久万方面隊	第1分団	東明神	全域	第1分団・第2分団管轄内
		西明神		
		入野		
		久万	住安・本町・辻	
		菅生	槻之沢・北村・高野・東国(一部)	
	第2分団	久万	桂町・福井・曙・緑ヶ丘・旭ヶ丘	
		菅生	中組・中通・東国(一部)・中野村・槇谷	
		上野尻	全域	
		下野尻		
	第3分団	上畑野川	全域	第3分団管轄内 面河地区前組(第2部)
		下畑野川		
		直瀬		
	第4分団	露峰	全域	第4分団管轄内
父野川				
二名				
面河方面隊	第1分団	渋草		方面隊管轄内
		笠方		
		前組		
		相の峰		
		大成		
	第2分団	本組		
		中組		
		若山		
		河の子		
		相の木		
美川方面隊	第1分団	上黒岩		分団管轄内
		有枝		
		中黒岩		
		大川		
		沢渡		
	第2分団	七鳥		
		仕出		
		東川		
	第3分団	日野浦		
		黒藤川		
柳谷方面隊	第1分団	柳井川		方面隊管轄内
		西谷		
		中津		

本部消防隊

<消防ポンプ自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
本 部 消 防 隊	昼間(全町対応) 夜間(本部後方支援)	ト ヨ タ	LDF - KDY231改	2,980	4	2021 . 03	愛媛 800 す 94 - 23

久万方面隊

<消防ポンプ自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第3部	東明神・西明神 入野・久万・菅生	三菱	KK - FG52EC	5,240	25	2000 . 12	愛媛 800 さ 28 - 62
第2分団第1部	上野尻・下野尻	日 野	BDG - XZU378M	3,990	15	2010 . 03	愛媛 800 す 30 - 70

<消防積載自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	東明神・西明神 入野・久万・菅生 上野尻・下野尻	ダ イ ハ ツ	3BD - S710W	650	0	2025 . 02	愛媛 880 あ 31 - 74
第1分団第2部		ニ ッ サ ン	KG - SP6F23	2,660	22	2003 . 12	愛媛 800 さ 81 - 76
第1分団第2部		ダ イ ハ ツ 軽 四	EBD - S331W	658	15	2010 . 11	愛媛 800 あ 9 - 96
第2分団第2部		ニ ッ サ ン	KR - SR8F23	3,150	20	2005 . 11	愛媛 800 さ 99 - 02
第2分団第2部		ダ イ ハ ツ 軽 四	EBD - S331W	660	13	2012 . 12	愛媛 880 あ 12 - 89
第3分団第1部	上畑野川 下畑野川 直瀬 面河地区前組 (第2部)	ニ ッ サ ン	PDG - Z25F24	2,950	18	2007 . 10	愛媛 800 す 14 - 24
第3分団第2部		ト ヨ タ	LDF - KDY281	2,980	13	2012 . 03	愛媛 800 す 40 - 91
第3分団第2部		ニ ッ サ ン	PDG - SZ5F24	2,950	16	2009 . 10	愛媛 800 す 26 - 96
第3分団第1部		ト ヨ タ	KR - KDY270	2,490	20	2005 . 02	愛媛 800 さ 92 - 65
第4分団第1部	露峰 父野川 二名	ダ イ ハ ツ 軽 四	EBD - S331W	650	12	2013 . 10	愛媛 880 あ 14 - 38
第4分団第2部		ニ ッ サ ン	KR - SR8F23	3,150	18	2007 . 02	愛媛 800 す 9 - 61
第4分団第3部		ニ ッ サ ン	PDG - SZ5F24	2,950	16	2009 . 02	愛媛 800 す 22 - 86
第4分団第3部		ス バ ル 軽 四	GT - TT2	650	23	2002 . 02	愛媛 80 あ 18 - 79
第4分団第4部		ダ イ ハ ツ 軽 四	3BD - S710W	650	3	2022 . 03	愛媛 880 あ 27 - 86

<小型(可搬)ポンプ配置調査表>

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	東明神 中組 (明神公民館)	ト ー ハ ツ	VF53BS - 22kw	B - 3	2025	0
第1分団第2部	西明神 沖 (JA支所上)	ラ ビ ッ ト	P476 - 42kw	B - 3	2003	22
第1分団第2部	入野 (農業試験場前)	ト ー ハ ツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2010	15
第2分団第2部	野尻 (上野尻)	ト ー ハ ツ	V46BS - 28kw	B - 3	1998	27
第2分団第2部	中野村 (集会所下)	ト ー ハ ツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2012	13
第3分団第1部	下畑野川 (下畑野川公民館横)	ト ー ハ ツ	V46BS - 28kw	B - 3	1998	27
第3分団第2部	上直瀬 (公民館横)	ラ ビ ッ ト	P476 - 42kw	B - 3	2002	23
第3分団第2部	下直瀬 (中通)	シ バ ウ ラ	SF651M - 34kw	B - 3	1999	26
第3分団第1部	上畑野川 (上西之浦)	ト ー ハ ツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	16
第4分団第1部	二名 (富重)	ト ー ハ ツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2013	12
第4分団第2部	二名 (宮成)	ト ー ハ ツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	16
第4分団第3部	父野川 馬ノ地 (公民館横)	ト ー ハ ツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	16
第4分団第3部	露峰 (橋詰)	ト ー ハ ツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	16
第4分団第4部	露峰 (中村)	ト ー ハ ツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2022	3

面河方面隊

<消防積載自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	面河地区全域	いすゞ	TKG - NHS85AN	2,990	11	2014 . 03	愛媛 800 す 52 - 64
第1分団第1部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	23	2002 . 07	愛媛 800 さ 43 - 18
第1分団第2部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	658	14	2011 . 02	愛媛 880 あ 10 - 32
第1分団第3部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	658	14	2011 . 02	愛媛 880 あ 10 - 33
第2分団第1部		ニッサン	TKG - SZ5F24	2,950	8	2017 . 11	愛媛 800 す 73 - 74
第2分団第2部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	24	2001 . 05	愛媛 800 さ 34 - 50
第2分団第3部		ニッサン	U - SM6F23改	2,280	32	1993 . 11	愛媛 88 す 9 - 74

<小型（可搬）ポンプ配置調査表>

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	洪草 里成 （役場支所前）	トーハツ	VF63AS - 22kw	B - 2	2014	11
第1分団第1部	洪草 竹の谷 （J A 支所前）	トーハツ	V75GM - 52kw	B - 2	2002	23
第1分団第2部	笠方 （八社神社下）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2011	14
第1分団第3部	前組 （支援センター横）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2011	14
第2分団第1部	本組 （八幡神社横）	トーハツ	V46AS - 27kw	B - 3	1995	30
第2分団第2部	中組 （中組公民館横）	トーハツ	V40AS - 26kw	B - 3	1998	27
第2分団第3部	若山 （旧面河駐在所横）	トーハツ	V46AS - 27kw	B - 3	1995	30

美川方面隊

<消防積載自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	美川地区全域	ニッサン	KC - SN6F	2,490	28	1997 . 11	愛媛 88 す 43 - 14
第1分団第2部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	658	14	2011 . 02	愛媛 880 あ 10 - 34
第1分団第3部		三菱軽四	GBD - U62T	650	20	2005 . 02	愛媛 880 あ - 13
第1分団第4部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	24	2001 . 05	愛媛 800 さ 34 - 51
第2分団第1部		ニッサン	GC - SK82LN	1,780	24	2001 . 05	愛媛 800 さ 34 - 55
第2分団第1部		ダイハツ軽四	3BD - S331W	650	4	2021 . 03	愛媛 880 あ 26 - 51
第2分団第2部		ニッサン	PDG - SZ5F24	2,950	15	2010 . 02	愛媛 800 す 29 - 75
第2分団第3部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	23	2002 . 11	愛媛 800 さ 49 - 20
第2分団第4部		ニッサン	PDG - SZ5F24	2,950	16	2009 . 02	愛媛 800 す 22 - 85
第3分団第1部		ダイハツ	3BD - S710W	650	0	2025 . 02	愛媛 880 あ 31 - 73
第3分団第1部		スバル軽四	GD - TT2	659	23	2002 . 03	愛媛 80 あ 19 - 00
第3分団第2部		ニッサン	KG - SP6F23	2,660	24	2001 . 05	愛媛 800 さ 34 - 53
第3分団第3部		ダイハツ軽四	EBD - S331W	658	14	2011 . 02	愛媛 880 あ 10 - 31

<小型（可搬）ポンプ配置調査表>

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	大川（大川下中）	トーハツ	V46BS - 28kw	B - 3	1995	30
第1分団第2部	有枝（八幡神社前）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2011	14
第1分団第3部	上黒岩（上本組）	トーハツ	VC52A - 34kw	B - 3	1996	29
第1分団第4部	沢渡（集会所横）	トーハツ	V40AS - 26kw	B - 3	1999	26
第2分団第1部	仕出（筒城集会所横）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2009	16
第2分団第1部	東川（蓑川集会所横）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2021	4
第2分団第2部	七鳥（熊野神社上）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2010	15
第2分団第3部	西古味（集会所横）	トーハツ	VC52AS - 34kw	B - 3	2001	24
第2分団第4部	東川（中村堀田宅横）	トーハツ	V25AS - 13kw	B - 3	2002	23
第3分団第1部	日野浦（大谷集会所西）	トーハツ	VF53BS - 22kw	B - 3	2025	0
第3分団第1部	日野浦（成河藤社入口）	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2002	23
第3分団第2部	黒藤川（旧黒藤川小学校）	トーハツ	VC52AS - 34kw	B - 3	2001	24
第3分団第3部	黒藤川（旧二箇小学校下）	トーハツ	VF53AS - 22kw	B - 3	2011	14

柳谷方面隊

<消防積載自動車調査表>

分団名	守備範囲	車種	型式	排気量	車齢	初年度登録	登録番号
第1分団第1部	柳谷地区全域	いすゞ	CA - SE88MN	2,990	14	2011. 01	愛媛 800 す 34 - 78
第1分団第1部		ニッサン	TC - SK82LN	1,780	22	2003. 11	愛媛 800 さ 80 - 65
第1分団第1部		ダイハツ	3BD - S710W	650	1	2024. 03	愛媛 880 あ 30 - 59
第1分団第2部		ニッサン	GE - SK82LN	1,780	24	2001. 08	愛媛 800 さ 37 - 96
第1分団第2部		ニッサン	TC - SK82LN	1,780	22	2003. 11	愛媛 800 さ 80 - 64
第1分団第2部		ニッサン	TC - SK82LN	1,780	22	2003. 03	愛媛 800 さ 53 - 21
第1分団第2部		三菱	KK - FD70AB	2,830	22	2003. 03	愛媛 800 さ 52 - 31
第1分団第3部		ダイハツ	3BD - S710W	650	2	2023. 03	愛媛 880 あ 29 - 30
第1分団第3部		ニッサン	GE - SK82LN	1,780	23	2002. 11	愛媛 800 さ 49 - 23

<小型（可搬）ポンプ配置調査表>

分団名	配置場所	ポンプ名称	性能・馬力	級別	配置年	使用年数
第1分団第1部	柳井川落出（柳井川集会所）	トーハツ	VF63AS - 22kw	B - 2	2011	14
第1分団第1部	柳井川川前（川前集会所下）	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	22
第1分団第1部	柳井川永野（永野）	トーハツ	VF53BS - 22kw	B - 3	2024	1
第1分団第2部	西谷本谷（下四組集会所）	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	22
第1分団第2部	西谷名荷下（名荷下集会所）	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	22
第1分団第2部	西谷古味（沖田石油向）	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	22
第1分団第2部	西谷高野（旧高野集会所川向）	トーハツ	VC72AS - 46kw	B - 2	2003	22
第1分団第3部	中津旭（R 33 バス 停）	トーハツ	VF53BS - 22kw	B - 3	2023	2
第1分団第3部	中津窪田（升田宅横）	ラビット	P476A - 42kw	B - 3	2003	22

方面隊別消防団保有資機材

区分	装 備	久 万 (本部含む)	面 河	美 川	柳 谷	合 計
車 両	消防ポンプ自動車	3	-	-	-	3
	小型動力ポンプ付積載車	14	7	13	9	43
放 水 器 具	ホース 65mm	285	101	183	121	690
	吸水管	24	12	18	9	63
	管 槍 口	41	22	24	17	104
	双口接手(分岐金具)	22	7	14	9	52
	中継金具(65-70ネジ)	33	6	18	14	71
	消火栓開閉金具	50	11	21	13	95
	簡易布水槽	14	5	6	12	37
	スタンドパイプ	9	2	-	-	11
	消 火 水 囊	7	17	1	1	26
	防火衣	40	14	26	18	98
照 明	発 電 機	15	6	3	3	27
	携帯用投光器	32	14	16	8	70
無 線 機	携帯用無線機	39	17	20	9	85
	車載用無線機	17	7	13	9	46
そ の 他 防 災 用 資 機 材	鳶口	101	47	95	50	293
	チェーンソー	1	6	2	4	13
	警戒用ロープ	10	6	4	5	25
	スコップ	48	12	36	41	137
	エンジンカッター	4	1	2	4	11
	水中ポンプ	1	1	-	1	3
	携行缶(GS)	24	11	19	13	67
	ホースブリッジ	18	7	13	2	40
	コードリール	8	8	3	5	24
	懐中電灯(LED)	7	-	13	23	43
	救助用ジャッキ	1	-	-	-	1
	油圧切断機	1	1	-	1	3
	救命胴衣	-	5	-	-	5
	担架	4	6	2	4	16
	自動体外式除細動器(AED)	1	1	-	1	3
	拡声器	2	1	-	-	3
	土嚢袋	2,700	900	1,350	1,050	6,000
	ケブラー手袋	団員数	団員数	団員数	団員数	559
	雨衣	団員数	団員数	団員数	団員数	559
	救助用半長靴(安全ゴム長靴)	団員数	団員数	団員数	団員数	559

消防団幹部調べ

< 久万高原町消防団 >

令和6年4月1日 現在

階 級	氏 名	住 所
団 長	瀧 内 光 雄	大川

< 久 万 方 面 隊 >

階 級	氏 名	住 所
方 面 隊 長	山 本 英 二	久万
第 1 分団長	小 倉 重 生	東明神
第 1 副分団長	古 岡 剛	入野
第 2 分団長	水 谷 文 昭	久万
第 2 副分団長	土 居 憲 二	上野尻
第 3 分団長	竹 田 英 一	直瀬
第 3 副分団長	八 塚 勝 博	上畑野川
第 4 分団長	久 保 陽 生	二名
第 4 副分団長	河 野 勝 利	露峰

< 面 河 方 面 隊 >

階 級	氏 名	住 所
方 面 隊 長	十 亀 直 彦	洪草
第 1 分団長	木 下 正	洪草
第 1 副分団長	菅 貴 義	洪草
第 2 分団長	菅 明 義	洪草
第 2 副分団長	高 岡 公 明	中組

< 美 川 方 面 隊 >

階 級	氏 名	住 所
方 面 隊 長	倉 橋 正	上黒岩
第 1 分団長	岡 林 幸 治	上黒岩
第 1 副分団長	佐 々 山 幹 彦	大川
第 2 分団長	木 岡 加 寿 樹	東川
第 2 副分団長	山 崎 剛	七鳥
第 3 分団長	中 岡 正 行	日野浦
第 3 副分団長	猪 野 勉	上野尻

< 柳 谷 方 面 隊 >

階 級	氏 名	住 所
方 面 隊 長	橋 本 福 幸	柳井川
第 1 分団長	舘 野 勉	西谷
第 1 副分団長	佐 賀 幸 一	中津

久万高原町消防団長

初 代	大 野 健 二	H16.8.1 ～ H20.3.31
二 代	土 居 敏 夫	H20.4.1 ～ R2.9.13
三 代	立 野 好 仁	R2.9.14 ～ R5.8.31
四 代	瀧 内 光 雄	R5.9.1 ～

久万高原町消防操法大会成績表

※令和4年度以降の地区大会は県の操法大会種目とした。
 ※ポンプ車操法については地区大会を行わず、久万方面隊第1分団・第2分団が交互に県大会へ出場する。

＜小型動力ポンプの部＞

大会回数	開催年月日	出場数	優 勝	準優勝	3位	4位	5位
第1回	平成18年7月23日	11	柳谷方面隊 第2分団	面河方面隊 第1分団	久万方面隊 第4分団	柳谷方面隊 第1分団	久万方面隊 第3分団
第2回	平成20年6月29日	10	美川方面隊 第2分団	面河方面隊 第2分団	久万方面隊 第3分団	柳谷方面隊 第3分団	久万方面隊 第1分団
第3回	平成22年6月20日	11	美川方面隊 第3分団	柳谷方面隊 第2分団	柳谷方面隊 第3分団	美川方面隊 第1分団	久万方面隊 第4分団
第4回	平成24年6月24日	11	美川方面隊 第3分団	柳谷方面隊 第3分団	久万方面隊 第1分団	面河方面隊 第1分団	美川方面隊 第1分団
第5回	平成26年6月22日	10	美川方面隊 第3分団	面河方面隊 第1分団	柳谷方面隊 第2分団	面河方面隊 第2分団	久万方面隊 第1分団
第6回	平成28年6月19日	11	美川方面隊 第3分団	面河方面隊 第2分団	柳谷方面隊 第3分団	面河方面隊 第1分団	柳谷方面隊 第1分団
第7回	平成30年6月17日	10	面河方面隊 第2分団	柳谷方面隊 第3分団	柳谷方面隊 第3分団	久万方面隊 第2分団	面河方面隊 第1分団
第8回	令和2年6月21日	-	新型コロナウイルス感染症防止のため延期				
第8回	令和3年-月-日	-	新型コロナウイルス感染症防止のため延期				
第8回	令和6年6月23日	6	柳谷方面隊 第1分団	美川方面隊 第1分団	面河方面隊	久万方面隊 第4分団	久万方面隊 第3分団

＜ポンプ自動車の部＞

大会回数	開催年月日	出場数	優 勝	勝
第1回	平成18年7月23日	1	久万方面隊 第2分団	勝
第2回	平成20年6月29日	1	久万方面隊 第1分団	勝
第3回	平成22年6月20日	1	久万方面隊 第2分団	勝
第4回	平成24年6月24日	1	久万方面隊 第1分団	勝
第5回	平成26年6月22日	1	久万方面隊 第2分団	勝
第6回	平成28年6月19日	1	久万方面隊 第1分団	勝
第7回	平成30年6月17日	1	久万方面隊 第2分団	勝
第8回	令和2年6月21日	-	新型コロナウイルス感染症防止のため延期	
第8回	令和3年-月-日	-	新型コロナウイルス感染症防止のため延期	
第8回	令和4年-月-日	-	久万方面隊第1分団が出場	

※町村合併以前の操法大会成績表については、令和2年度版年報以前を参照

愛媛県消防操法大会成績表

※出場種目については、直近の全国大会出場種目に限定する。
(令和3年12月 愛媛県消防操法大会に係る会議の審議結果より)

<小型ポンプの部>

大会回数	開 催 年 月 日	参加数	出 場 分 団	成績
第 24 回	平成 18 年 9 月 17 日	17	久万高原町消防団 柳谷方面隊第2分団	
第 25 回	平成 20 年 7 月 27 日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第2分団	
第 26 回	平成 22 年 7 月 25 日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第 27 回	平成 24 年 7 月 29 日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第 28 回	大会日、予備日とも警報発令により中止		久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第 29 回	平成 28 年 7 月 31 日	17	久万高原町消防団 美川方面隊第3分団	
第 30 回	平成30年7月豪雨の影響により中止		久万高原町消防団 面河方面隊第2分団	
第 31 回	新型コロナウイルス感染防止のため延期			
第 32 回	新型コロナウイルス感染防止のため中止			
第 34 回	令和 6 年 7 月 28 日	16	久万高原町消防団 柳谷方面隊第1分団	

<ポンプ自動車の部>

大会回数	開 催 年 月 日	参加数	出 場 分 団	成績
第 23 回	平成 16 年 9 月 5 日	16	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第 24 回	平成 18 年 9 月 17 日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第 25 回	平成 20 年 7 月 27 日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第 26 回	平成 22 年 7 月 25 日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第 27 回	平成 24 年 7 月 29 日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第 28 回	大会日、予備日とも警報発令により中止		久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第 29 回	平成 28 年 7 月 31 日	15	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	
第 30 回	平成30年7月豪雨の影響により中止		久万高原町消防団 久万方面隊第2分団	
第 31 回	新型コロナウイルス感染防止のため延期			
第 32 回	新型コロナウイルス感染防止のため中止			
第 33 回	令和 4 年 8 月 7 日	13	久万高原町消防団 久万方面隊第1分団	10位

※町村合併以前の操法大会成績表については、令和2年度版年報以前を参照

消 防 年 報

令和 6 年度版

発行日 令和 7 年 9 月 1 日

発 行 久万高原町消防本部
〒791-1207

上浮穴郡久万高原町下野尻甲 33 番地

TEL (0892) 21-2411

FAX (0892) 21-2656

久万高原町
イメージキャラクター

ゆいぼう

